

平成10年度

神戸市立博物館年報

No.15



☆目 次☆

沿 革	3
事業概要（平成10年度）	5
1. 特別展示	
(1) 第61回特別展 大英科学博物館展	6
(2) 第62回特別展 MOA美術館名品展	10
(3) 第63回特別展 「コメはじめ物語」展	17
(4) 第64回特別展 「有馬の名宝」展	21
(5) 第65回特別展 唐の女帝・則天武后とその時代展	32
2. 企画展示	
(1) 企画展 神戸・淡路・鳴門 近世の画家たち	46
(2) 南蛮紅毛美術企画展示	49
(3) 古地図企画展示	55
(4) ギャラリー	59
(5) デュオこうべ	62
3. 学習室・図書室	63
4. 普及事業	64
収蔵資料	
1. 新収蔵資料	
(1) 受贈資料	68
(2) 購入資料	69
2. 指定文化財等一覧	71
3. 資料補修	71
4. 資料の特別利用	
(1) 館外貸出	72
(2) 特別利用	80
入館者数	
1. 経 年	81
2. 年齢・階層別	82
3. 特別展	83
日 誌	84
予 算	85
博物館協議会	85
組織・職員	86

沿 革

- 昭和 48. 9 神戸市立図書館・博物館等調査委員会設置（52.3までに博物館部会を19回開催、視察調査を6回実施）
50. 3 同委員会博物館部会が「神戸における博物館の基本構想」を答申
52. 3 東京銀行と同行神戸支店建物の博物館転用計画について合意
53. 4 教育委員会事務局社会教育部内に新中央図書館・博物館創設準備室を設置
- 7 博物館資料収集協力員を委嘱（各区1名、計9名）
- 8 神戸市立博物館創設準備会議を設置（以降7回開催）
54. 6 博物館展示計画検討会を設置（以降15回開催）
55. 3 東京銀行より同行神戸支店建物を受贈及び土地を買収
- 4 博物館創設準備室と改称。博物館創設担当参与に渡辺昭三就任
- 12 改造及び新築工事、着工
57. 3 竣工
- 4 神戸市立博物館条例公布。博物館組織発足。館長に井尻昌一前助役就任
- 7 神戸市立博物館規則公布
- 11 神戸市立博物館条例及び規則施行。開館記念式典、一般公開。南蛮美術館、考古館閉館
- 11～12 開館記念特別展「海のシルクロード」開催
58. 1～2 受贈記念特別展「南波松太郎収集 古地図の世界」開催
- 2 神戸市立博物館規則一部改正（博物館協議会）。神戸市立博物館協議会を設置
- 2 副館長に檀上重光就任
- 4～5 第3回特別展「神戸の文化財」開催
- 8～9 第4回特別展「びいどろ・ぎやまん」開催
- 10～11 第5回特別展「古地図にみる世界と日本」開催
59. 4～5 第6回特別展「眼鏡絵と東海道五拾三次展」開催
- 8～9 第7回特別展「中国蘇州年画展」開催
- 10～11 第8回特別展「更紗の世界展」開催
- 12 第9回特別展「ヨーロッパのジュエリー展」開催
60. 6～8 第10回特別展「中国五千年の秘宝展」開催
- 8～9 第11回特別展「秘蔵の至宝を一堂に展」開催
- 11～12 第12回特別展「高句麗文化展」開催
61. 1～2 第13回特別展「桃山時代の祭礼と遊楽」開催
- 4～5 第14回特別展「ワーダベ写真展」開催
- 6～7 第15回特別展「西洋の風景展」開催
- 7～8 第16回特別展「狩人の夢」開催
62. 1～2 第17回特別展「甦る幕末写真展」開催
- 4～5 第18回特別展「日本絵画名作展」開催
- 6～7 第19回特別展「神戸はじめ物語展」開催
- 8～9 第20回特別展「ジョルジュ・ビゴー展」開催
- 10～11 第21回特別展「明治のガラス展」開催
63. 4～5 第22回特別展「ジャワ更紗展」「江戸城障壁画の下絵」開催
- 6～7 第23回特別展「中世を旅する聖たち展」開催
- 10～12 第24回特別展「アイルランド・チェスター・ビーティー・コレクション日本絵画名作展」開催
- 平成 1. 2～3 第25回特別展「神戸ゆかりの巨匠たち展」開催
- 4～5 第26回特別展「桂林百景展」開催
- 7～9 第27回特別展「大三彩展」開催
- 9～11 第28回特別展「松方コレクション展」開催
- 11 井尻昌一館長退任
- 12～2 受贈記念特別展「秋岡古地図コレクション名品展」開催

- 平成 2. 2～3 受贈記念特別展「小磯良平展」開催
 4 名誉館長に宮崎辰雄前市長就任。船田史郎事務局長、副館長を兼務
 7～9 第31回特別展「THEびいどろ展—江戸時代のガラス・粋と美—」開催
 10～11 第32回特別展「手塚治虫展」開催
 11～12 第33回特別展「没後100年記念 チャールズ・ワーグマン展」開催
 3. 2～3 第34回特別展「隠元禅師生誕400年記念 隠元禅師と黄檗宗の絵画展」開催
 4～5 第35回特別展「ルイス・C・ティファニー展」開催
 7～9 第36回特別展「ポスター芸術100年展」開催
 9～10 第37回特別展「神戸市立博物館名品100選」開催
 10～11 第38回特別展「ジャンニ・ベルサーチ衣裳文化展」開催
 4. 2～3 第39回特別展「南蛮見聞録」開催
 3 檀上重光副館長・船田史郎副館長兼事務局長退任
 4 副館長兼事務局長に林伸次郎就任
 4～5 第40回特別展「中国明清名画展」開催
 5 副館長に崎山昌廣就任
 6～7 第41回特別展「正倉院の故郷—中国の金・銀・ガラス展」開催
 10～12 第42回特別展「森英恵とパリオートクチュール」開催
 5. 1～3 第43回特別展「銅鐸の世界」開催
 2.20 開館10周年記念講演会（講師 陳舜臣氏）開催
 3～5 第44回特別展「ルーヴル美術館200年展」開催
 5～6 第45回特別展「花と鳥たちのパラダイス展」開催
 アーバンリゾートフェア'93「トーマス・マックナイト展」開催
 7～9 第46回特別展「栄光のオランダ絵画と日本展」開催
 アーバンリゾートフェア'93「アーキテクチュア・フェアKOBE タイムトンネル神戸展」開催
 9～10 アーバンリゾートフェア'93「印象—神戸絵画展」開催
 11～12 第47回特別展「太山寺の名宝展」開催
 6. 2～4 第48回特別展「アイルランド国立美術館展」開催
 6～7 第49回特別展「装飾古墳の世界」開催
 7～9 第50回特別展「鎖国・長崎貿易の華」開催
 10～11 第51回特別展「横山大観・菱田春草展」開催
 7. 1.17 阪神・淡路大震災により休館（再開までの間、館外企画展を6回開催）
 4 林伸次郎副館長兼事務局長退任、三輪忠副館長兼事務局長就任
 8. 1.17 再開
 4～6 第52回特別展「オルセー美術館展」開催
 7～9 第53回特別展「マリー・ローランサン展」開催
 9～10 第54回特別展「柳原義達展」開催
 11～12 第55回特別展「司馬江漢 百科事展」開催
 9. 2～4 第56回特別展「砂漠の美術館 永遠なる敦煌」開催
 4 三輪忠副館長兼事務局長退任、藤村邦夫副館長兼事務局長就任
 5～7 第57回特別展「デイル・チーフリ展」開催
 8～9 第58回特別展「日中歴史海道2000年」開催
 11 第59回特別展「発掘された日本列島'97」開催
 10. 1～3 第60回特別展「日蘭交流のかけ橋」開催
 3～5 第61回特別展「大英科学博物館展」開催
 5～6 第62回特別展「MOA美術館名品展」開催
 7～8 第63回特別展「夏休み子ども博物館 コメはじめ物語」開催
 9 博物館建物（旧横浜正金銀行神戸支店）が登録文化財になる
 9～11 第64回特別展「有馬の名宝」開催
 11. 1～3 第65回特別展「唐の女帝・則天武后とその時代展」開催

事業概要

平成10年度の事業報告として、神戸市立博物館年報第15号を発行する運びとなりました。神戸市立博物館は、「国際文化交流－東西文化の接触と変容－」を基本テーマとして、以前からあった神戸市立南蛮美術館と考古館を統合し、昭和57年（1982）11月に、人文系の博物館として開館しました。

以来、常設展をはじめ、年4～5回の特別展、企画展を開催し、講演会など各種の催しを企画して来ました。平成7年（1995）年1月17日の阪神・淡路大震災により建物などに被害を受け、休館を余儀なくされましたが、翌年1月17日に一年ぶりに再開し、平成8年度以降は従前通りの活動を行って来ました。

平成10年度は、特別展として「大英科学博物館展」「MOA美術館名品展」「夏休み子ども博物館－コメはじめ物語－」「有馬の名宝－蘇生と遊興の文化－」「宮廷の栄華 唐の女帝・則天武后とその時代展」の5回、企画展として「神戸・淡路・鳴門 近世の画家たち」、南蛮紅毛美術企画展として「南蛮美術名品展」「エキゾチック EDOアート－絵画と工芸の名品－」、古地図企画展として「古地図と絵解き展」「日本地図名品展」を開催しました。またギャラリーでは「神戸ゆかりの芸術家たち展」などを開催しています。館外ですが、デュオこうべアートインフォメーションでは「地図皿の世界」などのテーマで館蔵資料を展示しました。

学習室では、考えるコーナーが、コンピューター方式に一新され、これまでのヘッドフォンからスピーカーシステムに代わり使いやすく、より多くの人数で楽しめるようになりました。

普及事業として、夏休み土器づくり教室、ミュージアム講座、歴史たんけん隊を昨年に引き続いて開催したほか、今年度からは博物館たんけん隊を開催し好評をえました。また学校団体の来館は163校園にのぼりました。博物館の刊行物としては、展覧会図録・館蔵品目録・研究紀要・年報・博物館だよりを発行しています。これらの独自事業以外に、共催事業として音楽会などの各種の催しを開催して来ました。

当博物館は建築家桜井小太郎が設計し、1935（昭和10）年に建築された旧横浜正金銀行神戸支店を増改築したもので、建物が平成10年度に登録文化財になりました。平成10年度の新収蔵資料として、西田真人氏の本画及び下絵計8点などの寄贈をうけ、「司馬江漢筆 播州舞子浜図」「黄地形附草花文様羅紗陣羽織」などの資料を収集しています。また資料の特別利用では、館外貸出が45件1,136点、それ以外の特別利用が950件2,637点にのぼります。

平成10年度の入館者数は、特別展206,298人、常設展13,052人、普及事業4,570人、計223,920人で、開館日数は290日となります。

この年報によって、平成10年度の博物館事業について、すこしでも現状をご理解いただければ幸いです。

1 特別展示

(1) 第61回特別展

「英国祭98」記念イベント 明石海峡大橋開通記念

大英科学博物館展

・内 容／

「日英修好通商条約」締結140周年にちなみ、英国の芸術・社会・文化・産業などを紹介する『英国祭98』の記念イベントとして、また本年完成の世界最大の架け橋「明石海峡大橋」の開通を記念しての開催。

英国は世界に先駆けて産業革命を成し遂げた。本展はその産業革命の博物館として有名な大英科学博物館の膨大なコレクションの中から、代表的な約60点を選び、近代の産業・科学に一時代を画した偉大な成果を紹介。また、ギャラリーでは明石海峡大橋が完成するまでの工事過程を写真パネルで展示。人類の偉業の足跡をたどるだけでなく、21世紀を展望するよい機会となった。

この期間中の毎週日曜日、第2・4土曜日などの午後1時と3時から約30分程度、「サイエンスショー」を開催。毎回立見の人が出るほどの大変な人気であった。

- ・会 期／98年3月21日（土・祝）～5月17日（日）
- ・会 場／特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2、ギャラリー、ホール
- ・主 催／神戸市、神戸市教育委員会、神戸市立博物館、神戸市立青少年科学館、読売新聞大阪本社、NHK神戸放送局、英国大使館、ブリティッシュ・カウンシル
- ・共 催／大英科学博物館、国立科学博物館
- ・後 援／外務省、文部省、通産省、科学技術庁、日本機械学会、近畿2府4県、徳島県、大阪市、京都市と各教育委員会、(財)夢の架け橋記念事業協会
- ・特別協賛／BT、NEC、大成建設、東芝、富士通、トヨタ自動車、松下電器産業、川崎重工業、ソニー、本多技研工業、日本精工
- ・協 賛／JR西日本、三和銀行、関西電力、教育総研、和宗総本山四天王寺
- ・協 力／日本航空、日本通運、住友海上火災保険
- ・入 館 料／（当日、一般）1,200円
- ・開館日数／51日
- ・入館者数／76,252人（1,495人／日）
- ・出品点数／53件
- ・記念講演会
 - ①日時：4月4日（土）午後2時～3時30分
会場：当館地階講堂
演題：「イギリス産業革命」
講師：角山榮氏（堺市立博物館長）
 - ②日時：4月18日（土）午後2時～3時30分
会場：当館地階講堂
演題：「明石海峡大橋ができるまで」
講師：北川信氏（本州四国連絡橋公団 第一建設局 垂水工事事務所 所長）
- ・サイエンスショー
 - 日時：会期中の第2、第4土曜と全ての日曜、及びゴールデンウィーク中の祝祭日（4/29と5/2～5/5）会期末の5/16（土）
：各日とも午後1時～と午後3時～の2回
 - 会場：当館地階講堂
 - 内容：超低温の世界（マイナス196度の液体窒素を使った様々な実験）
びっくり静電気（大型静電気発生装置を使った放電実験など）

夢を追い続けた天才たちの汗と創造の結晶。
現代を築いた科学技術の粋約60点を出品。

SciM
SCIENCE
MUSEUM

大英科学博物館展

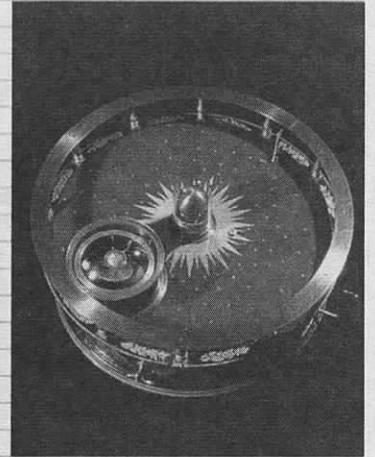
新幹線、高速道路、コンピューターや家庭電化製品……。現代の私たちの社会は、人類が苦闘しながら積み重ねてきた発見と発明の恩恵の上に成り立っています。その発明と技術の進歩の急激な高まりが1760年代、イギリスに始まった産業革命です。それ以来、イギリスはあらゆる産業で世界をリードし続けてきました。

本展は「英国祭98」を機に、「産業革命の博物館」として世界的に有名なロンドンの大英科学博物館が所蔵する膨大なコレクションの中から、特に貴重な科学技術史の資料約60点を選んで展示、人類の偉業の足跡をたどります。世界最長の吊り橋・明石海峡大橋につながる貴重な鉄橋の模型も含まれています。

同博物館の改修にあわせて実現したもので、これらのコレクションが一括して英国国外で公開されるのは、これが初めて最後となります。

ウェールズとの境にあるシュロップシャー州の丘陵をつらぬく、セバーン川に沿った地域が産業革命を支えた製鉄業の中心地である。この地域一帯は、アイアン・ブリッジ地区ともいわれ、現在も野外の博物館として、たくさんの産業革命の遺産が残されている。アブラハム・ダービー1世が1709年に世界で初めて石炭を燃料とする製鉄をここで開始し、コークス高炉を稼働させた。鉄は産業革命を一気に押し進めた。

1801 「コールブルックデールの夜景」
製鉄業の繁栄で、夜も明るいコールブルックデール谷が描かれている。多くの画家は、かつてなかった風景——煙突からわきあがる煙や溶鉱炉の炎——のある景色に創作意欲をかきたてられた。

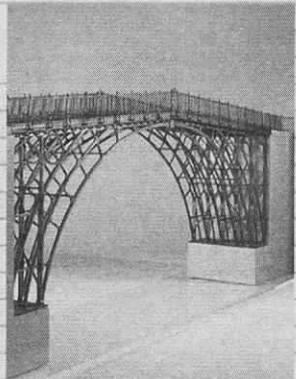


1712 「最初のオーラリ」
太陽や地球・月の動きを示す初期の惑星儀。ジョン・ローリーがオーラリ伯チャールズ・ボイルのために製作したもので、それ以降このような惑星儀は「オーラリ」と呼ばれるようになった。

1779

「アイアン・ブリッジ模型」

現在もバーミンガム近郊のアイアン・ブリッジ地区に残る。アブラハム・ダービー3世が建造した世界最初の鉄橋の模型。



1922

「オースチン・セブン自動車」

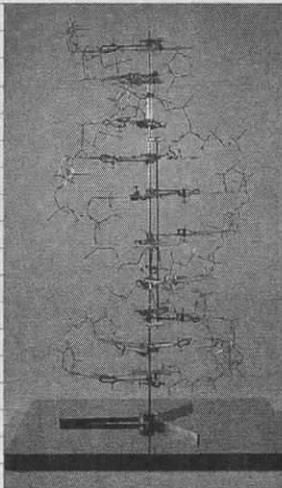
自動車の大衆化に貢献した小型車。最高時速50マイル(約80km)。1923年で165ポンド。自動車工場の労働者の46週間分の賃金に相当する価格だった。1938年までに29万台が生産され、オートバイとはほぼ同数の自動車が街にあふれた。



1878

「ベルのオズボーン電話」

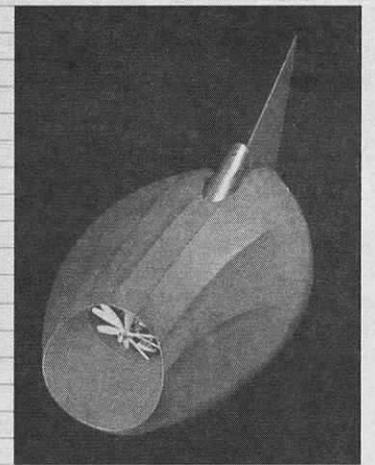
アレキサンダー・グラハム・ベルが1876年にアメリカ・フィラデルフィアで実演に成功し、電話機発明の第1歩を記した。この電話機は、2年後にビクトリア女王へのデモンストレーションに使われたものである。



1953

「DNA模型」(レプリカ)

フランシス・クリック(英)とジェームス・ワトソン(米)が生物の遺伝情報を伝えるDNAが2重らせん構造をしていることを明らかにした際に作った分子模型。



1955

「世界最初のホーバークラフト」(レプリカ)

初のホーバークラフト実験に使われた模型。19世紀、船が水中に進むのに費やすエネルギーのほとんどは、船体表面がうける水の摩擦のために消耗すると考えられていた。クリストファー・コックレルは分厚い空気のカッションを作り、船体を浮かすことが水の摩擦から逃れる最良の方法と考えた。船体は、バルサ材で作られ、表面はナイロンでコーティングされている。

©SCIENCE MUSEUM/SCIENCE & SOCIETY PIC LIB



■交通案内

- 新幹線「新神戸」から南へ車で約10分
- JR「三ノ宮」、地下鉄、阪急、阪神「三宮」から南西へ徒歩約10分
- JR、阪神「元町」から南東へ徒歩約10分

神戸市立博物館

〒650-0034 神戸市中央区京町24番地
☎ 078-391-0035

■入場料

	当日	前売り	団体
一般	1,200円	1,000円	900円
高・大生	850円	750円	650円
小・中生	450円	350円	300円

- 神戸市すこやか福祉手帳(老人福祉手帳)の交付を受けている方は半額となります。(手帳が必要です。)
- 団体30名以上より適用されます。

■お問い合わせ

神戸市立博物館 ☎078(391)0035
読売新聞大阪本社 ☎06(366)1847

■前売り券取扱所

- JR西日本(京阪神地区)の主な駅のみどりの窓口・Tis(旅行センター)
- 神戸市立博物館券売所
- 近畿日本ツーリスト
- ツーリストサービス
- 近鉄テレメイトセンター
- JTBB
- 日本旅行
- 名鉄観光サービス
- チケットぴあ
- チケットセンソ
- 阪急プレイガイド
- ファミリーマート
- ローソンチケット(056294)
- am/pm近鉄
- CNプレイガイド など

■団体鑑賞のお問い合わせは

☎06-223-9398
近畿日本ツーリストまで

出展品一覧表 List of objects

[1. 科学：自然の仕組みを探る]

- 1 最初のオーラリー(惑星儀)
Original orrery 1712
Original orrery, Inv.1952-73, 850 (diameter) x 500 (h) mm
- 2 ハーシェル7フィート反射望遠鏡
Herschel's seven-foot telescope 1781
Newtonian reflecting telescope by Herschel, Inv.1876-1000, 1650 (l) x 500 (w) x 1750 (h) mm
- 3 ニュートンの望遠鏡
Newton's telescope 1668
Replica of Newton's first reflecting telescope, Inv.1924-209, 290 (l) x 160 (w) x 260 (h) mm
- 4 フックの顕微鏡
Hooke's microscope 1665
Replica of Hooke's original compound microscope, Inv.1927-437 & 1965-460, 300 (l) x 400 (w) x 550 (h)
- 5 ジュールの熱仕事当量測定装置
Joule's paddle wheel apparatus 1845
Replica of Joule's paddle wheel apparatus, Inv.1931-256, 220 (diameter) x 640 (h) mm
- 6 クルックスのラジオメーター
Crookes' radiometer 1877
A Crookes' radiometer on a stand, Inv.1919-382, 85 (diameter) x 210 (h) mm
- 7 G.P.トムソンの電子回折カメラ
G P Thomson's electron diffraction camera 1926
Original electron diffraction camera, Inv.1948-24, 670 (l) x 105 (w) x 460 (h) mm. Presented by the family of G P Thomson
- 8 ウィムズハーストの静電気発生機
Wimshurst's electrostatic machine 1882
Wimshurst's influence machine, Inv.1926-1029, 535 (l) x 280 (w) x 635 (h) mm
- 9 グレイとミルンの地震計
Gray-Milne seismograph 1885
Gray-Milne seismograph by James White, Inv.1885-115, 580 (l) x 490 (w) x 760 (h) mm
- 10 リスターの顕微鏡
Lister's microscope 1826
The first achromatic microscope by James Smith, Inv. A54204, 290 (l) x 290 (w) x 500 (h) mm
- 11 ワトソンとクリックのDNA模型
Crick and Watson's DNA model 1953
Replica of Crick and Watson's DNA model, 1300 (l) x 1300 (w) x 1950 (h) mm
One pair of plates from original DNA model, Inv.1977-300 pts 1 & 2

[2. 英国の技術と産業革命]

- 12 アークライトの紡績機
Arkwright's original spinning machine 1769
Original spinning machine by Arkwright, Inv.1860-4, 780 (l) x 385 (w) x 850 (h) mm
- 13 トラウトンの目盛り機械
Troughton's circular dividing engine c.1778
Circular dividing engine by John Troughton, Inv.1923-302, 1300 (l) x 1400 (w) x 1150 (h) mm
- 14 モーズリーのねじ切り旋盤
Maudslay's screw-cutting lathe c.1800
Model of screw-cutting lathe by Maudslay, Inv.1900-19, 257 (l) x 225 (w) x 261 (h) mm, scale approx. 1:8
- 15 デイビーの安全灯
Davy's safety lamp 1815
Safety lamp by Davy, Inv.1857-208, 65 (diameter) x 220 (h) mm
- 16 コールブルックデールの夜景 フィリップ・ジャック・ド・ルーテルブル画
Coalbrookdale by Night, by Philippe Jacques de Loutherbourg 1801
Coalbrookdale by Night, painting by Philippe Jacques de Loutherbourg, Inv.1952-452, 1240 (w) x 900 (h) mm
- 17 ベッセマー転炉
Bessemer Converter 1865
Original pilot Bessemer Converter, Inv.1959-186, 2640 (max. w) x 1510 (min. w) x 2400 (h)
Sample of Bessemer steel, Inv.1869-41, 500 (l) x 150 (w) x 135 (h) mm
- 18 サイミンソンの船舶用蒸気機関
Symington's marine engine 1788
Original marine steam engine by Symington, Inv.1857-52, 700 (l) x 2500 (w) x 2000 (h) mm
- 19 ワット式回転蒸気機関
Rotative steam engine of Watt's type c.1800
Model of rotative steam engine of Watt's type, Inv.1869-64, 893 (l) x 408 (w) x 940 (h) mm, scale approx. 1:12

[3. 世界に先駆けた技術]

- 20 スティーブンソンのロケット号
Stephenson's Rocket 1829
Rocket locomotive by Robert Stephenson, Inv.1862-5, 4300 (l) x 2340 (w) x 4110 (h) mm

- 21 北へ、キングズクロス駅 ジョージ・アール画
Going North, King's Cross, by George Earl c.1890
Going North, King's Cross, painting by George Earl, Inv.1995-7843, 1765 (w) x 978 (h) mm
- 22 アイアンブリッジ模型
Iron Bridge model 1779
Model of first cast iron bridge at Coalbrookdale, Inv.1882-29, 2000 (l) x 570 (w) x 930 (h) mm, scale 1:24
- 23 フォース鉄道橋 模型
Forth Railway Bridge model 1882
Silver-plated model of Forth Railway Bridge, Inv.1934-497, 3560 (l) x 380 (w) x 330 (h) mm, scale approx. 1:480
- 24 船体模型「スワン」と「レイバン」
'Swan' and 'Raven' models 1867
Swan and Raven models, Inv.1941-4, each 1830 (l) x 830 (w) x 300 (h) mm
- 25 戦艦「富士」の進水式 ジェラルド・モーリス・バーン画
Launch of the Fuji at Blackwall, by Gerald Maurice Burn 1896
Launch of the Fuji at Blackwall, painting by Gerald Maurice Burn, Inv.1913-372, 3180 (w) x 1910 (h) mm
- 26 世界最初のホバークラフト
The world's first hovercraft model 1955
Replica of world's first hovercraft model, Inv.1969-357, 1040 (l) x 560 (w) x 320 (h) mm
- 27 ホームズのアーク灯
Holmes' arc lamp 1867
Arc lamp by Holmes from South Foreland lighthouse, Inv.1923-169, 1010 (l) x 360 (w) x 180 (h) mm
Lighthouse reflector, Inv.1958-101, 970 (diameter) x 140 (depth) mm
- 28 ローバー安全自転車
Rover safety bicycle 1885
Rover safety bicycle, Inv.1901-6, 1880 (l) x 660 (w) x 1100 (h) mm
- 29 オースティン・セブン自動車
Austin Seven motor car 1922
Austin Seven motor car, Inv.1953-75, 3500 (l) x 1600 (w) x 1500 (h) mm
- 30 ロールス・ロイス航空機エンジン「マーリン」
Rolls-Royce Merlin engine 1940
Rolls-Royce Merlin engine, Inv.1954-659, 2000 (l) x 760 (w) x 1120 (h) mm
- 31 コンコルドの風洞実験用機体模型
Concorde wind tunnel model c.1964
High speed wind tunnel model of early Concorde shape, Inv.1993-2152, 1750 (l) x 730 (w) x 325 (h) mm
- 32 英国法定原器
The Standards of the Realm 1497-1601
Bronze bushel measure, Inv.1931-1011, 600 (diameter) x 255 (h) mm
Seven bell-shaped weights, Inv.1931-946, 52 (diameter) x 70 (h) mm;
59 (diameter) x 90 (h) mm; 77 (diameter) x 112 (h) mm;
90 (diameter) x 130 (h) mm; 124 (diameter) x 160 (h) mm;
148 (diameter) x 202 (h) mm; 182 (diameter) x 265 (h) mm;
Thirteen cup-shaped weights, Inv.1931-948, 70 (diameter) x 46 (h) mm,
9 parts; 85 (diameter) x 64 (h) mm; 106 (diameter) x 81 (h) mm;
130 (diameter) x 103 (h) mm; 154 (diameter) x 126 (h) mm
Bronze gallon, Inv.1931-1016, 225 (diameter) x 255 (h) mm
- 33 ベインの電気時計
Bain electric clock c.1850
Electric wall clock by Bain, Inv.1962-131, 550 (l) x 300 (w) x 1500 (h) mm
- 34 バベッジの計算ホイール
Babbage's calculating wheels 1879
Babbage's calculating wheels, Inv.1967-70, 370 (l) x 330 (w) x 300 (h) mm
Babbage DE2 trial piece, 440 (l) x 300 (w) x 340 (h) mm
- 35 コンピューター用記憶装置各種
Computer memory storage devices 1950s
Williams tube, Inv.1990-669, 80 (diameter) x 380 (l) mm
Two wire delay lines, Inv.1983-1440, 300 (l) x 150 (w) x 40 (h) mm
Mercury delay line, 845 (l) x 70 (w) x 110 (h) mm
Booth magnetic drum, 300 (l) x 500 (w) x 140 (h) mm
- 36 パーソンズの最初の蒸気タービン発電機
Parsons' original steam turbine and dynamo 1884
Original steam turbine and dynamo by Parsons, Inv.1890-59, 1730 (l) x 400 (w) x 800 (h) mm. Presented by Siemens PLC
- 37 クックとホイートストンの電信機
Cooke and Wheatstone's telegraph 1837
Cooke and Wheatstone's earliest needle telegraph, Inv.1876-1272, 700 (l) x 420 (w) x 780 (h) mm
- 38 トムソンの反照検流計
Thomson's mirror galvanometer 1858
Mirror galvanometer, Inv.1876-68, 200 (l) x 200 (w) x 100 (h) mm
- 39 ベルのオズボーン電話
Bell's Osborne telephone 1878
Bell telephone and terminal panel, Inv.1967-431, 240 (l) x 240 (w) x 80 (h) mm

40 マルコーニのコヒーラとコヒーラ機能回復装置

Marconi coherer and tapper 1900

Marconi coherer and Admiralty pattern tapper, Inv.1923-396,
160 (l) x 110 (w) x 135 (h) mm
Demonstration wireless receiver by Richard Kerr, Inv.1944-3,
365 (l) x 145 (w) x 180 (h) mm

41 フレミングの熱陰極真空管

Fleming's original thermionic valve 1904

An original Fleming thermionic valve, Inv.1925-814,
100 (l) x 100 (w) x 230 (h) mm

42 ベアードのテレビジョン装置

Baird's television apparatus 1926

Transmitting portion of original experimental Baird television apparatus,
Inv.1926-1040, 1300 (l) x 620 (w) x 720 (h) mm

43 ランドールとブートの空洞マグネトロン

Randall and boot's cavity magnetron 1940

Randall and boot's original cavity magnetron, Inv.1946-107,
280 (l) x 240 (w) x 115 (h) mm

44 最初の合成染料「モーブ」

Original mauve dye 1856

Mauveine dye in stoppered glass bottle, Inv.1952-175,
25 (diameter) x 80 (h) mm
Mauve dyed shawl, Inv.1947-333, 1650 (l) x 3200 (w) mm (unfolded)

45 最初のポリエチレン合成装置

The discovery of polyethylene 1933

Equipment used for discovery of polyethylene, Inv.1983-408,
gas bottle 310 (diameter) x 1220 (h) mm, tripod 800 (diameter) x 1220 (h) mm,
element 500 (diameter) x 640 (h) mm, temp gauge 670 (diameter) x 800 (h) mm

46 最初の芝刈り機

First lawn mower 1832

Lawn mower built by Ransomes, Inv.1926-808,
600 (l) x 1100 (w) x 950 (h) mm. Presented by Ransomes, PLC

47 アイベル・トラクター

Ivel tractor 1902

Ivel agricultural tractor, Inv. 2600 (l) x 1530 (w) x 1400 (h) mm

[4. 現代英国の科学技術]

48 オゾン層観測装置

Ozonesonde 1991

Ozonesonde, Inv.1992-690,
130 (l) x 100 (w) x 100 (h) mm

49 手回し発電ラジオ

Baygen 'Freeplay' wind-up radio 1995

Baygen clockwork radio, 400 (l) x 170 (w) x 260 (h) mm

50 携帯用爆発物検知装置

Explosives detector 1986

Exfinder 150 portable explosives detector, Inv.1997-1833,
500 (l) x 330 (w) x 100 (h) mm

51 最新競技用自転車「ロータス・スポーツ」

LotusSport bicycle 1992

LotusSport bicycle, Inv.1993-76, 1630 (l) x 420 (w) x 1100 (h) mm

52 ロールス・ロイス社製「トレント」エンジン

Rolls-Royce Trent engine 1995

Rolls-Royce Trent engine fan blade assembly replica,
1780 (l) x 2477 (w) x 3639 (h) mm

53 学校教育用DNAゲル電気泳動キット

DNA gel electrophoresis kit 1993

DNA gel electrophoresis kit for schools, Inv.1997-1027,
340 (l) x 400 (w) x 90 (h) mm



図 録



ポスター

(2) 第62回特別展

MOA美術館名品展・近世日本の美 ^{みやび} 黄金と雅

・内 容／

本展は、神戸新聞社創刊100周年・第51回世界新聞大会神戸開催・明石海峡大橋開通を記念し、特別展「MOA美術館名品展 近世日本の美—黄金と雅—」と題して開催された。

MOA美術館は、紺青の海を一望する熱海の山の頂上に建てられ、さながら美の桃源郷という趣をもつ美術館。昭和32年に熱海美術館として誕生し、57年に創立者の名を冠してMOA美術館とあらため現在に至っている。コレクションは門外不出とされている尾形光琳筆「紅白梅図屏風（国宝）」、野々村仁清作「色絵藤花文茶壺（国宝）」、「湯女図（重文）」など国宝3点、重要文化財62点、重要美術品47点を含む約三千数百点。その内容は絵画、書跡、彫刻、工芸など、日本、中国をはじめとする東洋美術、ヨーロッパ絵画にまで及んでいる。

このたびの展覧会では、同館の全面協力を得て、重要文化財3件を初めとする89件の厳選された美術品と秀吉がつくらせた「黄金の茶室」の復元を展示した。出品作品は「南蛮美術と輸出磁器」、「茶の湯」、「琳派」「初期風俗画と浮世絵」の四つのテーマに分けて展観され、桃山から江戸時代にかけて約300年におよぶ多彩な日本の美の系譜を名品で概観した。

- ・会 期／平成10年5月30日（土）～6月28日（日）
- ・会 場／特別展示室1、南蛮美術館室
- ・主 催／神戸市立博物館・神戸新聞社
- ・後 援／兵庫県・兵庫県教育委員会・神戸市・神戸市教育委員会・サンテレビジョン・AM神戸
- ・協 力／MOA美術館・（財）エム・オー・エー美術・文化財団兵庫支部
- ・入 館 料／（当日・一般）1,000円
- ・開催日数／26日
- ・入館者数／38,807人（1,493人／日）
- ・出品点数／89点（うち浮世絵版画の展示替を含む）
- ・記念講演会／会場 当館地階講堂
6月4日（日）午後2時～
藤浦 正行氏（MOA美術館学芸課長）「黄金と雅」

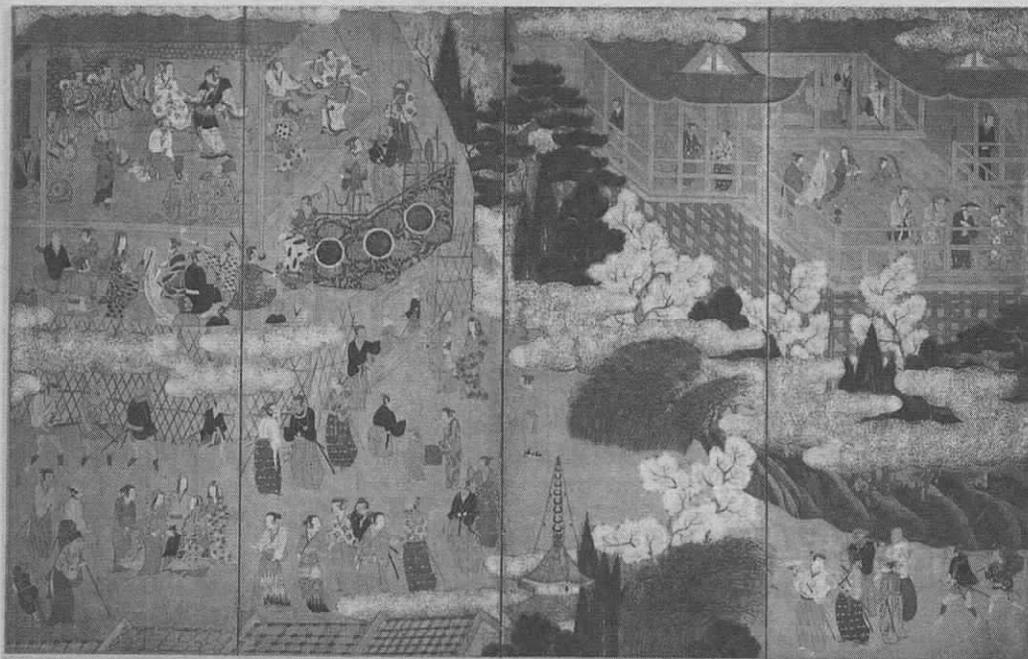


図 録



ポスター





「清水寺図屏風」(部分)



葛飾北斎「鶴飼図」



「色絵五艘船文大平鉢」



「花唐草七曜卍花クルス文螺鈿箱」(重文)



酒井抱一「藤連楓図」

MOA美術館は、紺青の海を一望する熱海の山の頂に建てられ、さながら美の桃源郷という趣をもつ美術館です。昭和32年に熱海美術館として誕生し、昭和57年、創立者の名を冠してMOA美術館とあらため、現在に至っています。コレクションは門外不出とされる尾形光琳「紅白梅図屏風(国宝)」野々村仁清「色絵藤花文茶壺(国宝)」「湯女図(重文)」など国宝3点、重要文化財62点、重要美術品47点を含む約三千数百点。その内容は絵画、書跡、彫刻、工芸など、日本、中国をはじめ東洋美術の各分野に及んでいます。

このたびの展覧会では、同館の全面協力を得て、「近世日本の美—黄金と雅—」というテーマで重要文化財3件をはじめとする74件の厳選された美術品と、秀吉がつくらせた「黄金の茶室」の復元を展示いたします。主な出品作は「洋人奏楽図屏風」「花唐草七曜卍花クルス文螺鈿箱」、野々村仁清「色絵金銀菱重茶碗」(以上重文)をはじめ酒井抱一「藤連楓図」葛飾北斎「鶴飼図」など絵画、工芸品の名品の数々。本展は「茶の湯」「風俗画」「浮世絵」といった、日本文化を語る上で欠くことのできない美の世界が創造された近世という時代を、たどろうとする試みです。名品の数々をぜひご鑑賞下さい。

MOA美術館名品展

近世日本の美 黄金と雅

MOA Museum of Art collection The Japanese beauty, 17th-19th century-Glory and Elegance

神戸市立博物館

入館料

- 一般…1,000円 (850円/750円)
 - 高・大生……700円 (600円/550円)
 - 小・中生……300円 (250円/200円)
- ※カッパ内は前売り料金 / 30人以上の団体料金

講演会

6月14日(日)
午後2時～
地階講堂
「黄金と雅」
MOA美術館学芸課長
藤浦正行氏



出品目録

番号	指定	作品名	作者・窯・様式	時代	材質	員数	落款・印章	その他	法量(cm)
1	重要 文化財	洋人奏楽図屏風		桃山時代 16世紀	紙本著色	六曲 一双			縦93.0 横301.0
2		南蛮人渡来図屏風		江戸時代 17世紀	紙本金地 著色	六曲 一双			縦150.3 横315.4
3		楓橘椿時絵螺鈿洋櫃		桃山時代 17世紀		一合			縦18.5 横34.3 高23.1
4		花鳥時絵螺鈿筆筒		桃山～江戸 時代初期 17世紀		一棹			縦34.2 横59.0 高35.1
5		草花時絵螺鈿角德利		桃山時代 17世紀		一口			胴径12.0 高31.2
6	重要 文化財	花唐草七曜卍花クル ス文螺鈿箱		桃山時代 17世紀		一合			縦41.0 横31.2 高11.8
7		ウンスンカルタ時絵香 炉		江戸時代 17世紀		一合			口径22.1 底径25.7 高10.0
8		色絵花鳥文蓋物	伊万里 柿右衛門様式	江戸時代 17世紀		一合			胴径30.2 蓋径31.6 総高36.7
9		色絵梅樹文水注	伊万里 柿右衛門様式	江戸時代 17世紀		一口			胴径9.3 総高9.0 長14.5
10		色絵栗鶉文八角鉢	伊万里 柿右衛門様式	江戸時代 17世紀		一口			口径24.2 台径12.7 高7.6
11		色絵五艘船文大平鉢	伊万里	江戸時代 17世紀末～ 18世紀初		一口			口径36.5 高台径 20.5 高9.0
12		無学祖元墨跡法語		鎌倉時代 13世紀	紙本墨書	一幅	「無学」朱文方印		縦31.4 横84.7
13		和歌色紙	近衛信尹	江戸時代 16世紀後期 ～17世紀初 期	彩箋墨書	一幅			20.2×16.8 表装132. 6×41.1 軸長45.4
14		書状	千少庵	桃山時代 16～17世紀	紙本墨書	一幅			縦17.2 横30.6
15		備前耳付花生		桃山時代 16世紀		一口			口径9.7 胴径14.2 底径123. 6 高27.6
16		独楽香合		東南アジア 17世紀		一合			径8.2 高3.6
17		交趾鹿香合		中国 明時代 16-17世 紀		一合			径6.0 高4.7
18		黄瀬戸香合		桃山時代 16世紀		一合			口径6.2 高3.2

番号	指定	作品名	作者・窯・様式	時代	材質	員数	落款・印章	その他	法量(cm)
19		古瀬戸肩衝茶入 銘入佐山		室町時代 15世紀		一口		小堀権十郎箱書	口径3.3 高6.3
20		黒楽菊押茶碗	長次郎	桃山時代 16世紀		一口		宗旦・了入箱書	口径11.1 高
21	重要 文化財	色絵金銀菱重茶碗	野々村仁清	江戸時代17 世紀		二口	「仁清」在印	伝来 東福門院、土 井相模守、山澄力 蔵、平瀬亀之助、益 田家	金 口径 9.1 高8.1 銀 口径 10.1 高9. 2
22		黒釉金彩浜千鳥文肩 衝茶入	野々村仁清	江戸時代 17世紀		一口			口径3.0 高9.0
23		色絵牡丹文茶碗	野々村仁清	江戸時代 17世紀		一口	「仁清」在印		口径12.3 高7.8
24		御所丸茶碗		李朝時代 17世紀		一口		尾州徳川家伝来 徳川斉荘箱書	径12.7 高7.2
25		御本半使茶碗 銘霜夜		李朝時代 17世紀		一口		関戸家伝来	径12.1 高9.0
26		奥高麗茶碗 銘蓬壺	唐津	桃山時代 16世紀後期 ～17世紀初 期		一口		小堀大膳箱書	口径13.9 高9.0
27		萩筆洗形茶碗 銘籬		江戸時代		一口			口径14.7 高9.2
28		絵唐津芦文水指		桃山時代 16世紀後期		一口			口径9.5 胴径19.7 高17.5
29		色絵萆葉文水指	デルフト窯	オランダ17 世紀		一口			口径11.0 胴径13.2 高22.2
30		呉須赤絵玉取獅子文 鉢	景德鎮窯	中国 明時 代末期 17 世紀		一口			口径20.6 高9.4
31		祥瑞捻鉢	景德鎮窯	中国 明時 代末期 17 世紀		一口			口径19.5 高10.2
32		鼠志野草文角鉢	美濃	桃山時代 16世紀後期 ～17世紀初 期		一口			口径16.0 高5.8
33		蒟醬食籠		東南アジア 16～17世紀		一合			胴径21.0 高17.3
34		竹茶杓 共筒	千利休	桃山時代 16世紀後期		一本			長17.1 筒長21.6
35		竹茶杓 共筒	千 道安	江戸時代 16世紀後期		一本		如心斎・碌々斎箱 書	長18.0 筒長20.7
36		朝顔図 扇面	伝俵屋宗達	江戸時代 17世紀	絹本著色	一幅			縦17.1 横56.6
37		草紙洗小町図	尾形光琳	江戸時代 17世紀	絹本著色	一幅	「道崇」朱文方印		縦29.0 横31.8

番号 指定	作品名	作者・窯・様式	時代	材質	員数	落款・印章	その他	法量(cm)
38	黄山谷愛蘭図	尾形光琳 伊藤東涯賛	江戸時代 18世紀	紙本墨画	一幅	「法橋光琳」 「寂明」朱文方印		縦30.5 横43.8
39	藤蓮楓図	酒井抱一	江戸時代 19世紀	絹本著色	三幅 対	「抱一筆」(左右)「傲 空中齋之図抱一暉 真筆」(中) 「抱一」朱文方印 (中・左・右)		各110.4 ×35.3
40	杜鵑画賛	酒井抱一	江戸時代 19世紀	紙本墨画 淡彩	一幅	「抱一画題」 「文詮」朱文瓢形印		縦31.2 横48.2
41	絵替盆	伝尾形光琳	江戸時代 18世紀		五枚			各径22.9 高2.2
42	色絵菊文向付	尾形乾山	江戸時代 18世紀		五客	「乾山」在銘		長径16.1 短径7.9 高3.5
43	重要 美術品	色絵桜楓文鉢	仁阿弥道八	江戸時代 19世紀	一口			口径22.1 高8.9
44	清水寺図屏風		桃山時代 17世紀初期	紙本著色	六曲 一隻			縦152.0 横363.0
45	誰ヶ袖図屏風		江戸時代 17世紀	紙本金銀 地著色	六曲 一隻			縦146.2 横363.0
46	立美人図	懐月堂	江戸時代 18世紀	紙本著色	一幅			縦120.0 横48.0
47	立美人図	松野親信	江戸時代 18世紀	紙本著色	一幅	「拍笑軒畫恣野親信 圖之」 「印文未詳」		縦86.0 横36.4
48	見立小倉山図(旗亭 美人図)	宮川長春	江戸時代 18世紀	絹本著色	一幅	「日本絵宮川長春 図」 「長春之印」白文方 印		縦95.6 横38.5
49	廓の遊楽図	宮川長亀	江戸時代 18世紀	紙本著色	一幅	「日本繪宮川長亀 書」 「印文未詳」		縦53.7 横80.8
50	井手の玉川図	鈴木春信	江戸時代 18世紀	絹本著色	一幅	「鈴木春信画」 「春信」白文方印		縦37.2 横57.3
51	見立寒山拾得図	石川豊信	江戸時代 18世紀	絹本著色	一幅	「石川秀葩豊信圖」 「石川氏」朱文方印 「豊信」白文方印		縦84.3 横52.7
52	二美人と供図	磯田湖龍齋	江戸時代 18世紀	絹本著色	一幅	「湖龍齋画」 「正勝之印」白文方 印		縦95.2 横34.9
53	男女納涼図	歌川豊広	江戸時代 18世紀	絹本著色	一幅	「豊廣画」 「一柳齋」朱文方印		縦102.5 横38.5
54	勝浦図	司馬江漢	江戸時代 18世紀	紙本著色	一幅	「江漢司馬峻寫」	堀田家伝来	55.2× 86.1
55	鶴飼図	葛飾北斎	江戸時代 19世紀初	絹本著色	一幅	「葛飾戴斗筆」 「よしのやま」朱文方印		縦96.8 横36.1
56	渡船図	蹄齋北馬	江戸時代 19世紀	紙本著色	一幅	「蹄齋」 「蹄齋」朱文長方印		縦53.0 横81.6
57	浮絵・市村座場内	奥村政信	江戸時代 寛保四年 (1744)頃	大判漆絵	一枚	「芝居狂言浮絵根元 通塩町印奥村屋 源六版元」	奥村屋源六版	縦28.7 横42.2

番号 指定	作品名	作者・窯・様式	時代	材質	員数	落款・印章	その他	法量(cm)
58	七夕祭	奥村政信	江戸時代 享保年間 (1716～ 1736)頃	大々判丹 絵	一枚	「奥村政信図」 「政信」「湯島天神女 板之下小松や」黒文 方印		縦55.3 横29.8
59	新版風流四季の花 春	鈴木春信	江戸時代 明和六年 (1769)頃	中判錦絵	四枚 の内	「春信画」	讃岐屋藤兵衛版	縦28.7 横21.4
60	新版風流四季の花 夏	鈴木春信	江戸時代 明和六年 (1769)頃	中判錦絵	四枚 の内		讃岐屋藤兵衛版	縦28.1 横20.4
61	坐舖八景手拭掛け帰 帆(新版風流四季の 花 秋)	鈴木春信	江戸時代 明和四～五 年(1767～ 1768)頃	中判錦絵	四枚 の内			縦28.1 横20.6
62	坐舖八景塗桶の暮雪 (新版風流四季の花 冬)	鈴木春信	江戸時代 明和四～五 年(1767～ 1768)頃	中判錦絵	四枚 の内			縦28.1 横20.6
62.1	新版風流四季の花 袋	鈴木春信	江戸時代 明和六年 (1769)頃	中判錦絵	一袋			縦33.3 横46.5
63	三世大谷広次の大星 由良之助	勝川春章	江戸時代 安永三年 (1774)	細判錦絵	一枚	「春章画」		縦32.6 横15.0
64	初世瀬川雄次郎のお 軽	勝川春章	江戸時代 安永三年 (1774)	細判錦絵	一枚	「春章画」		縦33.5 横14.7
65	四世松本幸四郎の山 谷の肴屋五郎兵衛	東洲齋写楽	江戸時代 寛政六年 (1794)	大判錦絵	一枚	「東洲齋寫楽画」	蔦屋重三郎版	縦36.0 横24.1
66	名所腰掛八景	喜多川歌麿	江戸時代 寛政八年 (1796)頃	大判錦絵	一枚	「哥麿筆」	江崎屋版	縦37.6 横24.2
67	婦人相学拾鉢 白を ひく女	喜多川歌麿	江戸時代 享和元年 (1801)頃	大判錦絵	一枚	観相歌麿 此の相い たっっておとなしきうまれ つきにて人さうよく万事 かいかいしき事娘にま れなり	山城屋藤右衛門版	縦38.4 横25.9
68	七世市川團十郎の三 浦荒男之助	歌川豊国	江戸時代 文化九年 (1812)	大判錦絵	一枚	「豊国画」		縦37.0 横25.8
69	諸国名橋奇覧 飛越 の堺つりはし	葛飾北斎	江戸時代 天保四～五 年(1833～ 34)	大判錦絵	一枚	「前北斎為一筆」	西村屋与八版	縦25.9 横38.4
70	岐阻街道奈良井宿名 産店之図 三十五	溪斎英泉	江戸時代 天保中期頃	大判錦絵	一枚	「英泉画」	保永堂竹内孫八版	縦21.7 横34.4
71	東海道五十三次之内 (保永堂版)箱根 湖 水圖	歌川広重	江戸時代 天保三～四 年(1832～ 33)	大判錦絵	一枚	「廣重画」 「保永」「堂」印	保永堂竹内孫八版	縦22.7 横35.3
72	東海道五十三次之内 (保永堂版)蒲原 夜 之雪	歌川広重	江戸時代 天保三～四 年(1832～ 33)	大判錦絵	一枚	「広重画」 「竹内」朱文円印	保永堂竹内孫八版	縦22.5 横35.2

番号 指定	作品名	作者・窯・様式	時代	材質	員数	落款・印章	その他	法量(cm)
73	東海道五十三次之内 (保永堂版)四日市 三重川	歌川広重	江戸時代 天保三～四年(1832～ 33)	大判錦絵	一枚	「広重画」 「保永堂」印	保永堂竹内孫八版	縦22.6 横34.9
74	東海道五十三次之内 (保永堂版)庄野 白雨	歌川広重	江戸時代 天保三～四年(1832～ 33)	大判錦絵	一枚	「広重画」 「保永堂」印	保永堂竹内孫八版	縦22.4 横34.6
75	東海道五十三次之内 (行書版)沼津	歌川広重	江戸時代 天保後期 (1830～ 1844)	大判錦絵	一枚	「広重画」 「一立斎」白文方印	江崎屋辰蔵・江崎 屋吉兵衛版	縦20.1 横31.9
76	東海道五十三次之内 (行書版)御油	歌川広重	江戸時代 天保後期 (1830～ 1844)	大判錦絵	一枚	「広重画」	江崎屋辰蔵・江崎 屋吉兵衛版	縦19.8 横31.6
77	東海道五十三次之内 (行書版)石薬師	歌川広重	江戸時代 天保後期 (1830～ 1844)	大判錦絵	一枚	「広重画」	江崎屋辰蔵・江崎 屋吉兵衛版	縦19.7 横31.8
78	東海道五十三次之内 (行書版)亀山	歌川広重	江戸時代 天保後期 (1830～ 1844)	大判錦絵	一枚	「広重画」	江崎屋辰蔵・江崎 屋吉兵衛版	縦19.5 横31.6
79	東海道(隸書版)五十 三次 藤沢	歌川広重	江戸時代 嘉永初期 (1848～54)	大判錦絵	一枚	「広重画」	丸屋清次郎版	縦21.5 横34.5
80	東海道 十四(隸書 版)五十三次 原	歌川広重	江戸時代 嘉永初期 (1848～54)	大判錦絵	一枚	「広重画」	丸屋清次郎版	縦21.5 横34.5
81	東海道 二十(隸書 版)五十三次 府中	歌川広重	江戸時代 嘉永初期 (1848～54)	大判錦絵	一枚	「広重画」	丸屋清次郎版	縦21.4 横34.4
82	東海道 五十五(隸書 版)五十三次 大尾 京	歌川広重	江戸時代 嘉永初期 (1848～54)	大判錦絵	一枚	「広重画」	丸屋清次郎版	縦21.6 横34.4
83	五十三次名所図会 一 日本橋 東雲の景	歌川広重	安政二年 (1855)	大判錦絵	一枚	「広重筆」	蔦屋吉蔵版	縦34.2 横22.5
84	五十三次名所図会 十一 はこね 山中夜 行の図	歌川広重	安政二年 (1855)	大判錦絵	一枚	「広重筆」	蔦屋吉蔵版	縦34.3 横22.7
85	五十三次名所図会 十二 三嶋 三嶋大明 神一の鳥居	歌川広重	安政二年 (1855)	大判錦絵	一枚	「広重筆」	蔦屋吉蔵版	縦34.4 横22.7
86	五十三次名所図会 十四 原 阿し鷹山不 二眺望	歌川広重	安政二年 (1855)	大判錦絵	一枚	「広重筆」	蔦屋吉蔵版	縦35.0 横22.6
87	名所江戸百景 亀戸 梅屋舗	歌川広重	江戸時代 安政三～五 年(1856～ 58)	大判錦絵	一枚	廣重畫 百十八枚 揃の内	魚屋栄吉版	縦30.6 横20.5
88	名所江戸百景 利根 川バラバラ松	歌川広重	江戸時代 安政三～五 年(1856～ 58)	大判錦絵	一枚	「広重画」 百十八枚 揃の内	魚屋栄吉版	縦30.4 横20.4
89	六十余州名所図会 播磨舞子浜	歌川広重	江戸時代 安政三年 (1856)三月	大判錦絵	一枚	「広重筆」	越村屋平助版	縦34.1 横22.8

(3) 第63回特別展

夏休み子ども博物館

コメはじめ物語

・内 容／

日本においてコメつくりの始まる前後（縄文時代から弥生時代）において、生活や社会の仕組みがどのように変化して、現在の生活に引き継がれているのかを紹介するとともに、最新の自然科学的な調査からえられたデータなども紹介した。また、はぎ取り資料や、出土品をもとに復元した木製品や石器などを利用した体験コーナーを設けることにより、臨場感のある弥生時代のくらしを復元し、児童・生徒を対象とした親しみやすい内容の企画とした。

テーマは3部で構成し、各コーナーにビデオや体験コーナーを設けて、歴史を身近に感じることができるよう展示とした。

・会 期／平成10年7月11日（土）～平成10年8月30日（日）

・会 場／南蛮美術館室

・主 催／神戸市立博物館・朝日新聞社

・後 援／神戸市北農業協同組合・神戸市西農業協同組合

・協 賛／(財)伊藤文化財団

・入 館 料／(当日・一般)600円

・開催日数／44日間

・入館者数／9,503人

・出品点数／約450点

・関連イベント

① 7月25日（土）

「博物館たんけん隊」：小学校3・4年生を対象として、博物館の舞台裏を探検する。

② 7月29日（水）・8月6日（木）

「歴史たんけん隊」：小学校5・6年生と中学生を対象として、博物館や市内の遺跡を探検する。(助) 神戸市スポーツ教育公社との共催)

③ 7月31日（金）・8月1日（土）〔成形〕、8月8日（土）〔焼成〕

「土器つくり教室」：小学校5・6年生と中学生を対象として、土器つくりから土器焼きまでを体験。

④ 夏休み中の土曜日

「なぜなぜコーナー」：小学校5・6年生と中学生を対象にして、歴史に関する質問を受け付ける。

・同時開催／

古地図と絵解き展

神戸・淡路・鳴門 近世の画家たち

いずれも平成10年7月11日（土）～平成10年8月30日（日）



図 録



ポスター



特別展 コメはじめ物語

—きょうは みんなで 弥生人!!—

縄文時代から弥生時代への最も大きな変化は、コメが水田で作られるようになったことです。2000年以上たった現在でも、食事の基本がコメであることから、その影響の大きさを知ることができます。このようなコメ作りの歴史を、次の3つのコーナーから構成してみたいことにします。

- ①コメを作るまえ(縄文時代)の暮らし
- ②コメを作りはじめてから(弥生時代)の暮らし
- ③コメを作りはじめてかわったこと

◆みて、きいて、やってみて、君もわたしも弥生人

- ・カラーガイドブック……写真やイラストがいっぱいの楽しいガイドブックを用意しています。〔無料〕
- ・なぜなぜコーナー……みなさんの質問にお答えします。展示会の展示を通して、歴史や古地図について考えてみましょう。(夏休み中の全土曜日 午前11時~12時、午後2時~3時)
- ・体験コーナー……復元された道具を使って、弥生人の気分を味わってください。

関連イベント!

1. 博物館たんけん隊

- 7月25日(土) 午前10時~午前11時30分
博物館の舞台裏を探索!
・小学校3、4年生(30名)を募集
・参加費200円

2. 歴史たんけん隊

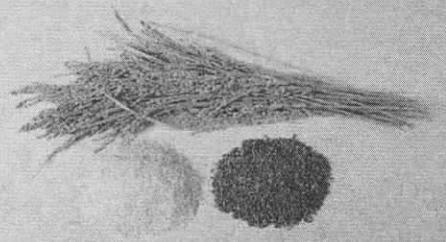
- A-7月29日(水) 午後1時30分~午後5時
- B-8月6日(木) 午後1時30分~午後5時
博物館や市内の遺跡を探索!
・小学校5、6年生・中学生(A・Bとも30名)を募集
・参加費500円

3. 土器つくり教室

- 成形:A-7月31日(金) 午後1時30分~午後4時
- B-8月1日(土) 午後1時30分~午後4時
土器つくりから土器焼きまでを体験!
土器焼きのときに赤米の試食会もあり!
・小学校5、6年生・中学生(A・Bとも30名)を募集
・参加費2500円

申し込み方法

いずれも往復はがきで、お申し込みください。住所、氏名、電話番号、学校名、学年、イベント名、希望日(A・B)を必ず記入の上、神戸市立博物館内、各イベント係まで。しめ切りは、いずれも7月15日(水)まで。



稲穂と今食べているおコメ・白米と弥生人が食べていたおコメ・赤米



ある日の卑弥呼の食事(大阪府立弥生文化博物館蔵) 結構グルメですね



女王「卑弥呼」像(大阪府立弥生文化博物館蔵) 卑弥呼のファッションは今見てもおしゃれだよ

企画展 古地図と絵解き展



オルテリウス 世界地図 1587年
400年前の探検の成果がいっぱい。南に広がる陸地は何だろう?



黒田泊庵(淡路) 白鶴青松図 個人蔵

同時開催 神戸・淡路・鳴門 近世の画家たち

主な出品画家

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 斎藤雀亭(神戸) | 岡田東虎(明石) | 酒井抱一(姫路) |
| 黒田泊庵(淡路) | 三谷東亭(尼崎) | 島 琴陵(姫路) |
| 僧 黙庵(淡路) | 鈴木芙蓉(徳島) | 千葉龍ト(赤穂) |
| 白川芝山(淡路) | 酒井宗雅(姫路) | 長安義信(赤穂) |

あなたのふるさとで活躍していた江戸時代の画家たちを発掘します。郷土の美術史にふれる企画展です。(会期中、展示替があります。)



●入館料

	当日	前売	団体
一般	600円	500円	450円
高大生	400円	350円	300円
小中生	150円	100円	100円

- *団体は30名以上です。
- *前売券は、当館券売所、チケットぴあなどでお求めになれます。
- *神戸市のすこやか福祉手帳(老人福祉手帳)をお持ちの方は、シルバー料金(半額)でご利用になれます。(手帳が必要です。)

☎078-332-7810

神戸市立博物館
〒650-0034
神戸市中央区京町24番地
TEL 078-391-0035

特別展 夏休み子ども博物館 コメはじめ物語

【出品目録】

資 料 名	員数	時 代	所蔵機関
1. コメをつくる前（縄文時代）のくらし			
滋賀県粟津湖底遺跡貝層はぎ取りパネル	3点	縄文時代中期	滋賀県教育委員会
滋賀県粟津湖底遺跡出土貝類	一括	縄文時代中期	滋賀県教育委員会
滋賀県粟津湖底遺跡出土獣骨類	一括	縄文時代中期	滋賀県教育委員会
滋賀県粟津湖底遺跡出土糞石	3点	縄文時代中期	滋賀県教育委員会
滋賀県粟津湖底遺跡出土土器（深鉢）	3点	縄文時代中期	滋賀県教育委員会
滋賀県粟津湖底遺跡出土石鏃・石錘・石匙	19点	縄文時代中期	滋賀県教育委員会
滋賀県粟津湖底遺跡出土骨製品（刺突具・ヤス）	7点	縄文時代中期	滋賀県教育委員会
兵庫県佃遺跡出土土器（石皿・磨石）	2点	縄文時代後期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
神戸市本庄町遺跡ドングリピットはぎ取り	1点	縄文時代後期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
岡山県南溝手遺跡出土靫痕土器	1点	縄文時代後期	岡山県古代吉備文化財センター
岡山県南溝手遺跡出土打製石鏃・石包丁状石器	5点	縄文時代後期	岡山県古代吉備文化財センター
2. コメをつくりはじめてから（弥生時代）のくらし			
赤米・白米・黒米・インディカ	一括		神戸市立博物館
稲穂・粃（赤米・白米・黒米）	一括		神戸市教育委員会
大阪市長原遺跡出土土器（壺・深鉢・浅鉢・鉢）	1点	縄文時代晩期	大阪市教育委員会
大阪市長原遺跡出土土器（靫痕土器）	2点	縄文時代晩期	大阪市教育委員会
大阪市長原遺跡出土土器（土偶）	2点	縄文時代晩期	大阪市教育委員会
木製鋤・鍬・三又鍬（復元）	3点		大阪府立弥生文化博物館
木製鋤・鍬（複製）	2点		神戸市立博物館
木製臼・杵（復元）	2点		大阪府立弥生文化博物館
木製臼・杵（復元）	5点		神戸市教育委員会
木製杵（復元）	1点		神戸市立博物館
神戸市玉津田中遺跡出土鋤・鍬・又鍬・泥除	4点	弥生時代中期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
神戸市玉津田中遺跡出土鋤・鍬・柄	3点	弥生時代後期	神戸市教育委員会
神戸市新方遺跡出土鋤	1点	弥生時代中期	神戸市教育委員会
岡山県百間川原尾島遺跡出土鉄製鋤先	1点	弥生時代後期	岡山県古代吉備文化財センター
神戸市郡家遺跡稲株はぎ取り〔参考出品〕	1点	古墳時代中期	神戸市教育委員会
神戸市玉津田中遺跡出土石包丁	5点	弥生時代中期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
神戸市居住・小山遺跡出土大型石包丁	1点	弥生時代中期	神戸市教育委員会
神戸市玉津田中遺跡出土木包丁	2点	弥生時代中期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
神戸市玉津田中遺跡出土臼	1点	弥生時代中期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
神戸市玉津田中遺跡出土杵	2点	弥生時代中期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
神戸市宅原遺跡出土臼	1点	弥生時代後期	神戸市教育委員会
奈良県唐古・鍵遺跡出土炭化米	一括	弥生時代中期	田原本町教育委員会
奈良県唐古・鍵遺跡出土炭化粃	3点	弥生時代中期	田原本町教育委員会
奈良県唐古・鍵遺跡出土稲束	一括	弥生時代中期	田原本町教育委員会
神戸市桜ヶ丘4号銅鐸〔国宝〕	1点	弥生時代中期	神戸市立博物館
神戸市桜ヶ丘5号銅鐸〔国宝〕	1点	弥生時代中期	神戸市立博物館
伝香川県出土銅鐸（複製）	1点	弥生時代中期	神戸市立博物館
谷文晁旧蔵銅鐸（復元）	1点	弥生時代中期	銅鐸博物館
岡山県上東遺跡出土甕	2点	弥生時代後期	岡山県古代吉備文化財センター
神戸市大開遺跡出土甕・蓋	4点	弥生時代前期	神戸市教育委員会
弥生土器復元甕	1点		神戸市教育委員会
神戸市玉津田中遺跡出土木製杓子・木製匙・容器	5点	弥生時代中期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
神戸市宅原遺跡出土ヘラ	1点	弥生時代後期	神戸市教育委員会
大阪府高宮八丁遺跡ドングリピット（切り取り）	1点	弥生時代前期	寝屋川市教育委員会
大阪府高宮八丁遺跡ドングリ	一括	弥生時代前期	寝屋川市教育委員会
神戸市戎町遺跡出土トチの実	一括	弥生時代前期	神戸市教育委員会
奈良県唐古・鍵遺跡出土動物遺体	一括	弥生時代中期	田原本町教育委員会
奈良県唐古・鍵遺跡出土植物遺体	一括	弥生時代中期	田原本町教育委員会
岡山県上東遺跡出土甕	1点	弥生時代後期	岡山県古代吉備文化財センター
奈良県唐古・鍵遺跡出土壺	1点	弥生時代中期	田原本町教育委員会
岡山県南溝手遺跡出土エゴマ	1点	弥生時代中期	岡山県古代吉備文化財センター
岡山県南溝手遺跡出土エゴマ	一括	弥生時代中期	岡山県古代吉備文化財センター
神戸市玉津田中遺跡出土イイダコ壺	3点	弥生時代中期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
卑弥呼の食事（復元）	一式		大阪府立弥生文化博物館

3. コメ作りを始めてかわったこと

石鏃	5点	縄文時代	神戸市立博物館
神戸市伯母野山遺跡出土石鏃	5点	弥生時代中期	神戸市立博物館
神戸市伯母野山遺跡出土鉄鏃	1点	弥生時代中期	神戸市立博物館
神戸市新方遺跡出土銅鏃	1点	弥生時代中期	神戸市教育委員会
石斧	2点	縄文時代	神戸市立博物館
神戸市伯母野山遺跡出土石斧	2点	弥生時代中期	神戸市立博物館
神戸市伯母野山遺跡出土板状鉄斧	2点	弥生時代中期	神戸市立博物館
神戸市伯母野山遺跡出土柱状片刃石斧	1点	弥生時代中期	神戸市立博物館
神戸市新方遺跡出土袋状鉄斧	1点	弥生時代中期	神戸市教育委員会
石斧・板状鉄斧(復元)	2点		大阪府立弥生文化博物館
神戸市桜ヶ丘1号銅戈〔国宝〕	1点	弥生時代中期	神戸市立博物館
神戸市青谷遺跡出土石戈	1点	弥生時代中期	個人蔵
神戸市玉津田中遺跡出土木戈	1点	弥生時代中期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
兵庫県古津路遺跡出土銅剣(複製)	1点	弥生時代中期	神戸市立博物館
伝垂水出土石剣(複製)	1点	弥生時代中期	神戸市立博物館
神戸市玉津田中遺跡出土木剣	2点	弥生時代中期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所
卑弥呼像・侍女像(復元)	2点		大阪府立弥生文化博物館
栄永大治良作「女王卑弥呼」	1点		大阪府立弥生文化博物館
大開遺跡復元模型	1点		神戸市立兵庫大開小学校
福岡県「漢委奴國王」金印(複製)	1点	弥生時代後期	名古屋博物館
「三国志」(魏志倭人伝)	2冊		神戸市立中央図書館
兵庫県田能遺跡出土碧玉製管玉	300点	弥生時代中期	尼崎市教育委員会
神戸市西求女塚古墳出土三角縁神獸鏡(9号鏡)	1点	古墳時代前期	神戸市教育委員会
三角縁神獸鏡(復元)	1点		個人蔵

〔写真資料〕

1. コメを作る前(縄文時代)のくらし

縄文ムラのくらしー秋の1日ー	1点	縄文時代中期	十日町市博物館提供
滋賀県粟津湖底遺跡遠景	1点	縄文時代中期	滋賀県教育委員会提供
滋賀県粟津湖底遺跡貝塚	1点	縄文時代中期	滋賀県教育委員会提供
兵庫県佃遺跡ドングリビット	1点	縄文時代後期	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所提供
青森県三内丸山遺跡全景	1点	縄文時代前期	青森県教育庁提供
三内丸山遺跡復元集落	1点	縄文時代前期	青森県教育庁提供
青森県縄文ポシェットとクルミ	1点	縄文時代前期	青森県教育庁提供
青森県三内丸山遺跡クルミ出土状況	1点	縄文時代前期	青森県教育庁提供
青森県三内丸山遺跡クリのDNA	1点	縄文時代前期	佐藤洋一郎氏提供
岡山県南溝手遺跡出土稲のプラント・オパール	1点	縄文時代後期	岡山県古代吉備文化財センター提供
岡山県南溝手遺跡出土の穀物プラント・オパール	4点	縄文時代後期	岡山県古代吉備文化財センター提供

2. コメを作りはじめてから(弥生時代)のくらし

いろいろな米	1点		佐藤洋一郎氏提供
佐賀県菜畑遺跡出土水田	1点	弥生時代前期	唐津市教育委員会提供
佐賀県菜畑遺跡復元ジオラマ	1点		唐津市教育委員会提供
青森県垂柳遺跡出土水田	1点	弥生時代中期	青森県埋蔵文化財調査センター提供
神戸市戎町遺跡出土水田	1点	弥生時代前期	神戸市教育委員会提供
神戸市玉津田中遺跡集落復元ジオラマ	1点	弥生時代中期	兵庫県立歴史博物館提供
春の水田風景	1点		大阪府立弥生文化博物館提供
秋の水田風景	1点		大阪府立弥生文化博物館提供
春の水田風景(部分)	4点		大阪府立弥生文化博物館提供
秋の水田風景(部分)	4点		大阪府立弥生文化博物館提供
岡山県百間川原尾島遺跡出土水田稲株	1点	弥生時代後期	岡山県古代吉備文化財センター提供
雑穀をいれた壺	1点	弥生時代中期	田原本町教育委員会提供
岡山県南溝手遺跡エゴマを入れた甕出土状況	1点	弥生時代中期	岡山県古代吉備文化財センター提供
安芸早穂子作「銅鐸の祭場(復元)」(金関恕監修)	1点		大阪府立弥生文化博物館提供

3. コメ作りを始めてかわったこと

田能遺跡16号木棺墓管玉出土状況	1点	弥生時代中期	尼崎市教育委員会提供
神戸市大開遺跡環濠集落航空写真	1点	弥生時代前期	神戸市教育委員会提供
福岡市板付遺跡環濠集落復元・集落	2点	弥生時代前期	福岡市教育委員会提供
佐賀県吉野ヶ里遺跡環濠集落・復元集落	2点	弥生時代中期	佐賀県教育委員会提供
卑弥呼の館(復元)	1点		大阪府立弥生文化博物館提供

(4) 第64回特別展

有馬の名宝

—蘇生と遊興の文化—

・内 容／

日本最古の歴史を誇る有馬温泉には、古来から多くの人々が訪れ、豊かな文化が育まれてきた。古代・中世では行基・仁西などの高僧が温泉の発展に尽力し、それとともに縁起・蘇生譚などが生まれ、信仰と結びついて温泉の効能が広がった。

近年の発掘調査では有馬と太閤秀吉との強い結びつきが注目されている。秀吉は有馬温泉に何度も足を運び、千利休とともに茶会を催し、また慶長大地震で被災した有馬温泉の復興事業にも着手している。江戸時代以降、文人墨客をはじめ多彩な湯治客が訪れ、有馬に関する多くの案内書などが出版された。

本展では有馬の歴史と文化を、秀吉と有馬とのつながりを中心に、里帰りの資料、有馬を訪れた人々の資料なども交えて紹介した。

- ・会 期／平成10年9月26日（土）～11月8日（日）
- ・会 場／南蛮美術館室・特別展示室2
- ・主 催／神戸市立博物館・文化庁・神戸新聞社・サンテレビジョン・AM神戸
- ・後 援／NHK神戸放送局・(財)神戸国際観光協会
- ・協 賛／(財)みどり銀行文化振興財団・有馬温泉協観光会・有馬温泉旅館組合・神戸電鉄(株)
(社)神戸市老人クラブ連合会・神戸市北区連合自治協議会
- ・入 館 料／(当日・一般) 800円
- ・開催日数／38日
- ・入館者数／10,986人
- ・出品点数／162点
- ・講演会／会場 当館地階講堂
10月17日（土）午後2時～
渡辺 武（大阪城天守閣館長）「秀吉と有馬」
- ・関連事業／有馬デー 10月11日（日）・10月25日（日）
有馬籠の製作実演や有馬温泉の食事ご招待券の抽選会など
- ・同時開催／企画展 南蛮美術名品展 9月26日（土）～11月8日（日）
ギャラリー 山下摩起展 9月26日（土）～11月19日（木）



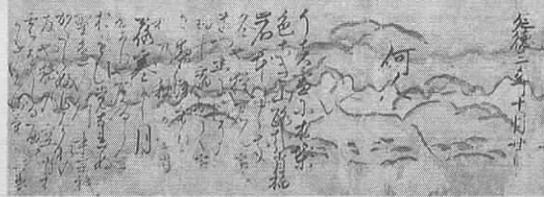
図 録



ポスター



葉師如来坐像及台座【重要文化財】 福源寺



湯山三吟懐紙 兵衛向陽閣



豊臣秀吉画稿【重要文化財】 逸翁美術館



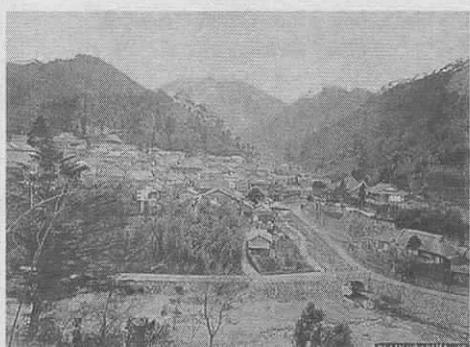
南山寿図 森琴石筆 中之坊



釈迦十六善神図(部分) 龍雲院



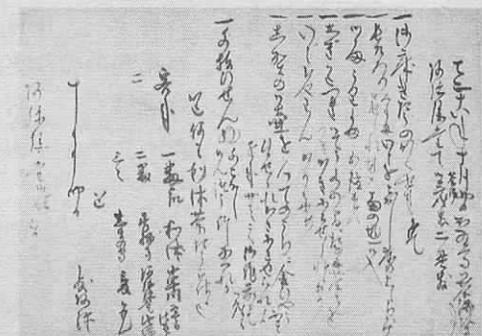
高台院像【重要文化財】 高台寺



明治時代の有馬市街「日本名所写真帳1」 神戸市立博物館



山海見立相摸撰津有馬山 二代 歌川広重画 神戸市立博物館



有馬茶会記 五島美術館

日本最古の歴史を誇る有馬温泉には、古来から多くの人々が訪れ、豊かな文化が育まれてきました。古代・中世では、行基・仁西などの高僧が温泉の発展に尽力しました。近年の発掘調査で、有馬と太閤秀吉との強い結びつきが注目されています。秀吉は有馬温泉に何度も足を運び、千利休とともに茶会を催し、また慶長大地震で被災した有馬温泉の復興事業にも着手しています。本展では、有馬の歴史と文化を、秀吉と有馬とのつながりを中心に、里帰りの資料、有馬を訪れた人々の資料なども交えて紹介します。

講演会 10月17日(土) 午後2時～ 地階講堂
大阪城天守閣 館長 渡辺 武 『秀吉と有馬』

有馬デー 10月11日(日)・10月25日(日)
有馬籠の製作実演や、有馬温泉の食事ご招待券の抽選会など

入館料	当日	前売	団体
一般	800円	700円	600円
高大生	550円	450円	400円
小中生	300円	200円	150円

*団体は30名以上です。
*前売券は、当館券売所、チケットぴあなどでお求めになれます。
*神戸市のすこやか福祉手帳(老人福祉手帳)をお持ちの方は、シルバー料金(半額)でご利用になれます。(手帳が必要です。)



神戸市立博物館
〒650-0034
神戸市中央区京町24番地
TEL 078-391-0035

同時開催 南蛮美術名品展 **テレホンサービス**
山下摩起展 078-332-7810

特別展 有馬の名宝 手引草
—蘇生と遊興の文化—



No118 有馬名所及旅舎一覧表 関西大学総合図書館蔵

1998年9月26日(土)~11月8日(日)

◆ 神戸市立博物館

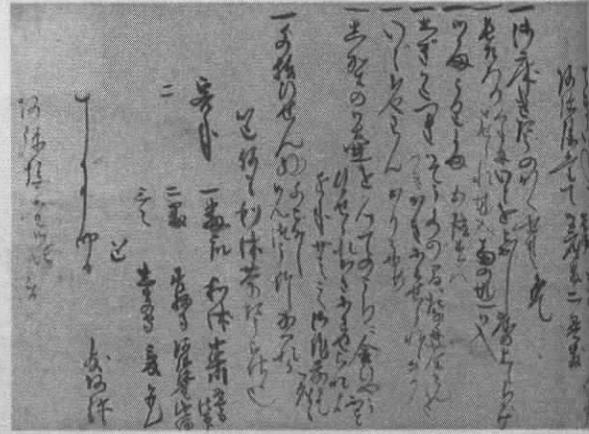
2 天下人の風流

(1) 秀吉の有馬再興

豊臣秀吉は有馬温泉に何度も訪れ、くつろいだ時間を楽しみ、温泉の改修や街の改造にあたりました。近年、秀吉の御殿ではないかという遺跡が注目されています。



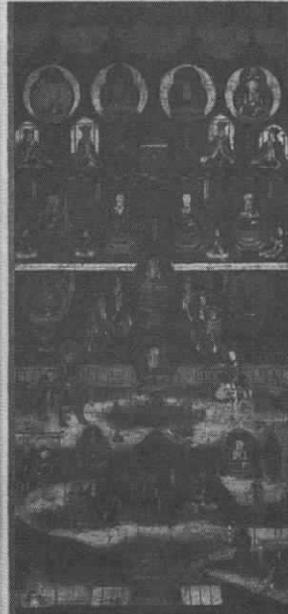
No.32 豊臣秀吉像画稿 重文 逸翁美術館蔵



No.46 有馬茶会記 五島美術館蔵



No.17 聖徳太子立像 重文 善福寺蔵



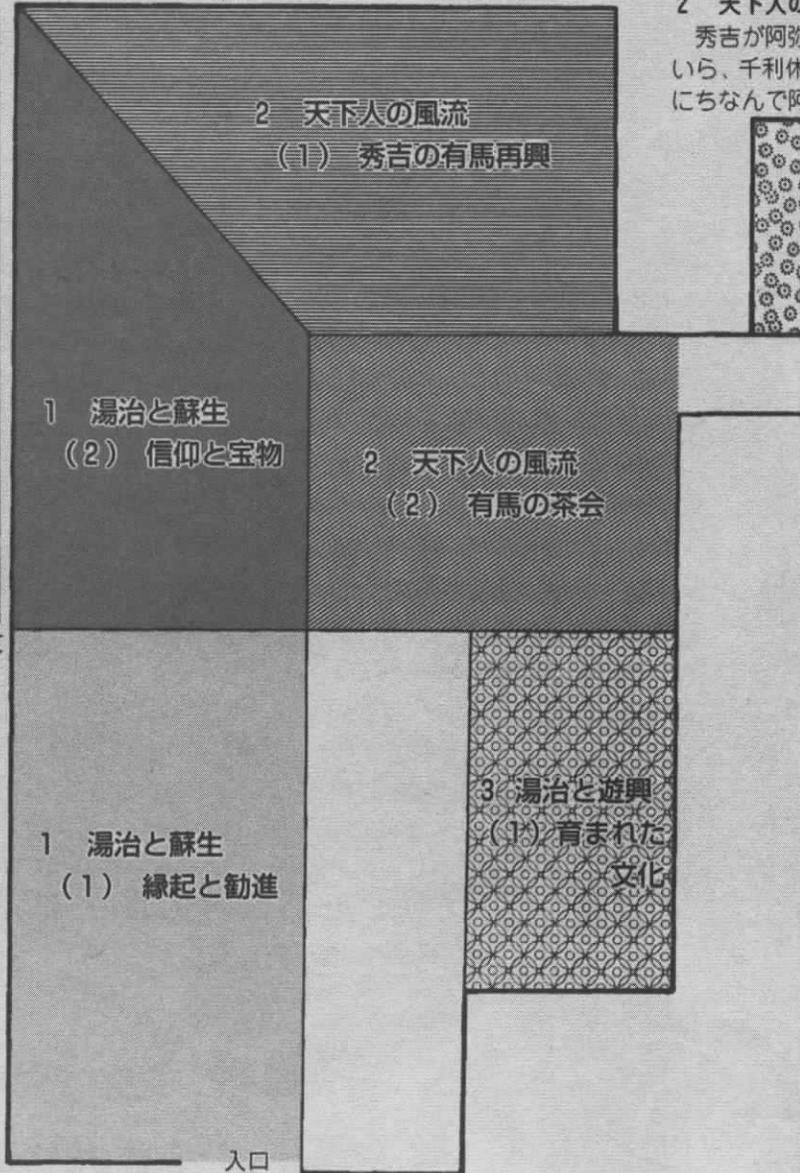
No.19 熊野曼荼羅 重文 湯泉神社

1 湯治と蘇生 (2) 信仰と宝物

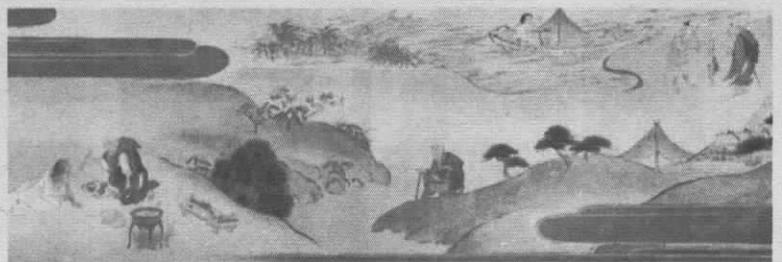
高僧の活動やさまざまな靈験の話にもとづいて多くの宝物が生まれました。地元に伝わる宝物はもちろん、かつて伝来していたものも里帰りしています。



No.7 薬師如来坐像 重文 福源寺蔵



2 天下人の
秀吉が阿弥
いら、千利休
にちなんで阿



No.2 温泉寺縁起絵巻 兵庫県立歴史博物館蔵

1 湯治と蘇生 (1) 縁起と勸進

古代・中世では、温泉の始まりや効能は、行基や仁西など高僧の活動や、さまざまな靈験の話を通して語られました。



Na49 阿弥陀堂釜 個人蔵

(2) 有馬の茶会

で開いた「有馬茶会」は、秀吉所持の逸品が用
の有力者が列席し、盛大なものでした。これ
堂の名を冠した茶釜などがつくられています。

3 湯治と遊興 (1) 育まれた文化

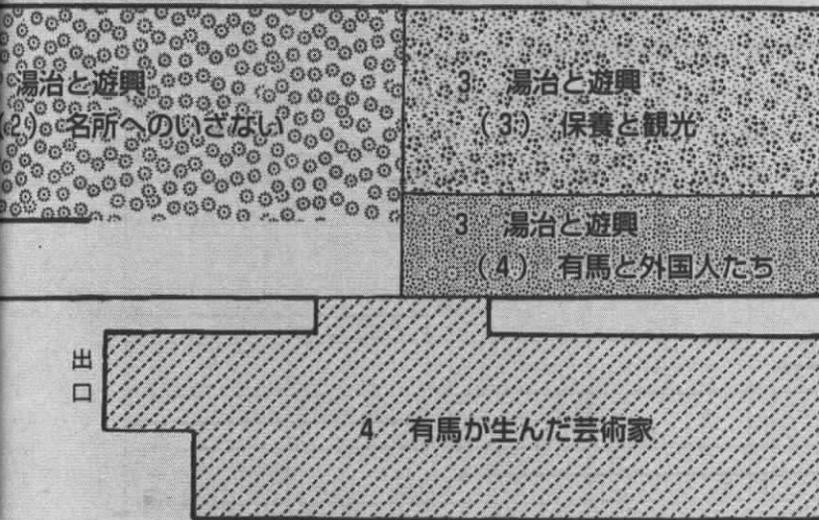
有馬では、湯治場のくつろいだ雰囲気やを反映した文化
が生まれました。和歌・連歌を中心に文化サロンの土壌
を育み、その伝統は江戸時代の俳諧や狂歌などに受け継
がれます。



Na60 湯山三吟懐紙 兵衛向陽閣蔵

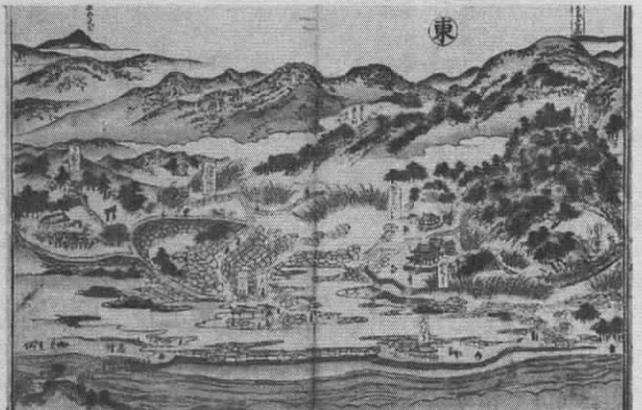


Na86 摂州有馬湯女
神戸市立博物館蔵



3 湯治と遊興 (2) 名所へのいざない

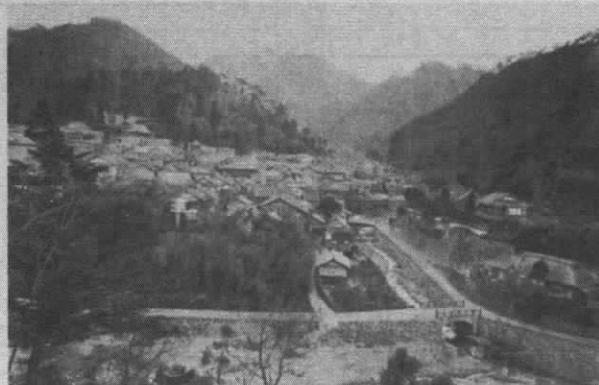
多数出版された有馬の本にいざなわれて湯治客が増えま
す。また、有馬でもこれらを編集しなおしてたくさんの案内
書が出来ました。湯女の浮世絵も人気を集めていました。



Na89 有馬景勝図 神戸市立博物館蔵



Na158 南山寿図 森琴石筆
中の坊蔵



有馬市街 (『日本名所写真帳1』) 神戸市立博物館蔵

3 湯治と遊興 (3) 保養と観光

明治になると、洋館が出来、各旅
館の宣伝も活発となりました。交通
機関の発達とともに保養や観光で有
馬を訪れる人々が増えて来ます。

4 有馬が生んだ芸術家

中の坊出身の森琴石は、幼くして有馬を離
れましたが、関西西南画壇の重鎮となりまし
た。また下大坊出身の山下摩起は、「異色の
日本画」と評される創作活動を続けました。

3 湯治と遊興 (3) 保養と観光

明治になると、洋館が出来、各旅
館の宣伝も活発となりました。交通
機関の発達とともに保養や観光で有
馬を訪れる人々が増えて来ます。



Na131 有馬にて(聖公会フォス主教個人アルバム)
横浜開港資料館蔵

特別展

有馬の名宝 —蘇生と遊興の文化—

出品目録

No.	資料名	作者	時代	所蔵
1. 湯治と蘇生				
(1) 縁起と勸進				
1	温泉寺縁起		室町時代	京都国立博物館蔵
2	有馬温泉寺縁起絵巻		江戸時代	兵庫県立歴史博物館蔵
3	冥土蘇生記		室町時代	清澄寺蔵
4	冥土蘇生記		江戸時代	龍雲院蔵
5	温泉山住僧葉能記		弘安2年(1279)写	宮内庁書陵部蔵
6	金銅板製経箱		文永8年(1271)銘	個人蔵
(参考図版)●黒漆厨子				
7	●葉師如来坐像		応徳2年(1085)	福源寺蔵
8	○善慧上人絵伝 巻第4		享禄4年(1531)	浄橋寺蔵
9	夢中顯現太子曼荼羅図		室町時代	西照寺蔵
10	温泉寺勸進帳		享禄2年(1529)編	温泉寺蔵
11	温泉寺勸進帳		享禄2年編 天正14年(1586)写	善福寺蔵
12	本堂再建葉師化縁万人講募集録		元禄9年(1696)	温泉寺蔵
13	摂州有馬常喜山温泉寺火後記	月潭道澄	元禄10年(1697)	温泉寺蔵
14	有馬温泉寺之絵図		江戸時代	温泉寺蔵
15	有馬温泉寺絵図		江戸時代	神戸市立博物館蔵
(2) 信仰と宝物				
16	観音菩薩立像(伝有馬清水観音堂)		白鳳~天平時代	個人蔵
17	●聖徳太子立像(南無仏太子像)		鎌倉時代後期	善福寺蔵
18	●波夷羅大将立像		室町時代	温泉寺蔵
19	●熊野曼荼羅		鎌倉時代	湯泉神社蔵
20	○釈迦十六善神図		鎌倉時代	龍雲院蔵
21	黄檗版大般若経 巻第28・巻第212・巻第235		江戸時代	龍雲院蔵
22	親鸞聖人絵伝		貞享5年(1688)	林溪寺蔵
23	三輪神社図	狩野永納筆	江戸時代前期	湯泉神社蔵
24	隠元隆琦像	木村徳翁筆 隠元自賛	江戸時代前期	兵庫県立歴史博物館蔵
25	悦山道宗像	元高筆 悦峯道章賛	江戸時代前期	個人蔵
26	心月元昇像	独文方炳賛	江戸時代前期	兵庫県立歴史博物館蔵
27	慈心坊尊恵像	木村徳翁筆 慧林性機賛	江戸時代前期	兵庫県立歴史博物館蔵
28	雨宝童真・聖徳太子像	梅嶺道雪賛	江戸時代前期	善福寺蔵

2. 天下人の風流

(1) 秀吉の有馬再興

29	池田一族等連署書状		元龜元年(1570)カ	中の坊蔵
30	●織田信長像	古溪宗陳賛	天正11年(1583)	神戸市立博物館蔵
31	織田信長禁制(湯山宛)		天正8年(1580)	大阪城天守閣蔵
32	●豊臣秀吉像画稿		桃山時代	逸翁美術館蔵
33	●豊臣秀吉像	南化玄興賛	慶長3年(1598)	高台寺蔵
34	豊臣秀吉像		桃山時代	誓願寺蔵
35	●高台院像		桃山時代	高台寺蔵
36	松の丸殿像		江戸時代初期	誓願寺蔵
37	豊臣秀吉像		江戸時代初期	禅林寺蔵
38	羽柴秀吉書状案(湯山惣中宛)		天正11年(1583)	余田家蔵
39	顯如上人像		文禄4年(1595)	大阪城天守閣蔵
40	貝塚御座所日記		天正11~14年(1583~86)	東本願寺蔵
41	豊臣秀吉室杉原氏寄進状案		天正13年(1585)	善福寺蔵
42	豊臣秀吉自筆書状(ね宛)		文禄3年(1594)カ	MOA美術館蔵
(参考図版)	豊臣秀吉自筆書状 (西の丸五もじ宛)		文禄3年(1594)カ	京都大学総合博物館蔵
43	豊臣秀吉地子免許帳		文禄3年(1594)	余田家蔵
44	豊臣秀吉下げ渡米割帳		文禄3年(1594)	余田家蔵
45	有馬湯山算用状		文禄3年(1594)	余田家蔵

(2) 有馬の茶会

46	有馬茶会記		天正18年(1590)	五島美術館蔵
47	有馬茶会記		天正18年(1590)	善福寺蔵
48	千利休像	土佐光芳筆 吽翁宗佐賛	江戸時代中期	大阪城天守閣蔵
(参考図版)	有馬則頼像	春屋宗園賛	慶長7年(1602)	京都大学総合博物館蔵
49	阿弥陀堂釜	辻与次郎作	桃山時代	個人蔵
50	阿弥陀堂釜	釜師庄兵衛作	文化5年(1808)銘	善福寺蔵
51	阿弥陀堂釜		江戸時代	善福寺蔵
52	小堀遠州像	春屋宗園賛	慶長14年(1609)	孤篷庵蔵
53	小堀遠州像	松花堂照乗筆 江雲賛	江戸時代前期	孤篷庵蔵
54	竹茶杓 銘有馬山	小堀遠州作	江戸時代前期	孤篷庵蔵
55	竹花筒		文禄3年(1594)銘	個人蔵
56	日本山海名物図会	平瀬徹齋	寛政9年(1797)版	尼崎市歴史博物館準備室蔵

3. 湯治と遊興

(1) 育まれた文化

57	藤原定家像	土佐光芳筆	江戸時代中期	個人蔵
58	●明月記 巻第27	藤原定家筆	承元2年(1208)	冷泉家時雨亭文庫蔵
59	湯山三吟百韻	宗祇・肖伯・宗長	室町時代	柿衛文庫蔵
60	湯山三吟懐紙	宗祇・肖伯・宗長	江戸時代	兵衛向陽閣蔵

61	湯山千句	景除周麟 寿春妙永	明応9年(1500)跋	神戸市立博物館蔵
62	宗祇像	祖白賛	江戸時代	柿衛文庫蔵
63	牡丹花肖柏像	土佐光茂筆	天文20年(1551)	大廣寺蔵
64	温湯記	林羅山	江戸時代	善福寺蔵
65	撰州有馬温泉記	堀正意	江戸時代	善福寺蔵
66	撰州有馬温湯記	林羅山 堀正意	寛文11年(1671)版	神戸市立中央図書館蔵
67	有馬湯治日記	八条宮智忠親王筆	正保3年(1646)	宮内庁書陵部蔵
68	有馬湯治日記	八条宮智忠親王筆	慶安2年(1649)	宮内庁書陵部蔵
69	有馬湯治日記	八条宮智忠親王筆	慶安3年(1650)	宮内庁書陵部蔵
70	温泉遊草	深草元政	寛文8年(1668)版	神戸市立中央図書館蔵
71	有馬之日記	井上布門	元文3年(1738)版	柿衛文庫蔵
72	有馬紀行たたひ越	三宅嘯山	安永8年(1779)版	神戸市立中央図書館蔵
73	有馬の日記	本居大平	天明元年(1781)	東京大学国文学研究室蔵
74	温泉紀遊	若霖	文政6年(1823)版	神戸市立中央図書館蔵
75	有馬温泉紀行	西沢一鳳軒	嘉永3年(1850)	西尾市岩瀬文庫蔵

(2) 名所へのいざない

76	有馬地誌	黒川道祐	寛文4年(1664)版	神戸市立中央図書館蔵
77	有馬私雨	平子政長	寛文12年(1672)版	神戸市立中央図書館蔵
78	迎湯有馬名所鑑	生白堂行風	江戸時代(影写本)	神戸市立中央図書館蔵
79	有馬小鑑		延宝3年(1675)版	神戸市立中央図書館蔵
80	稲野笹有馬小鑑		貞享2年(1685)版	神戸市立博物館蔵
81	有馬湯の山記	貝原益軒 河合章堯	享保元年(1716)版	神戸市立中央図書館蔵
82	増補有馬手引草		享保2年(1717)版	神戸市立博物館蔵
83	有馬山温泉古由来		享保13年(1728)版	神戸市立博物館蔵
84	撰津名所図会	秋里籬島著	寛政10年(1798)版	神戸市立博物館蔵
85	滑稽有馬紀行	大根土成筆 福智白瑛画	文政10年(1827)版	神戸市立博物館蔵
86	撰州有馬湯女	春芝画	江戸時代後期	神戸市立博物館蔵
87	百人女郎品定	西川祐信画	享保8年(1723)版	兵庫県立歴史博物館蔵
88	有馬山絵図		宝永7年(1710)版	神戸市立中央図書館蔵
(参考図版)	撰州有馬細見図独案内	江阿弥筆	元文2年(1737)版	神戸市立博物館蔵
89	有馬景勝図	橘守国筆	寛延2年(1749)版	神戸市立博物館蔵
90	有馬六景手鑑	祐常筆	明和7年(1770)	湯泉神社蔵
91	有馬六景	狩野永良画	明和7年(1770)版	神戸市立博物館蔵
92	有馬阿弥陀坊園中灰形山眺望図	白雲筆	江戸時代後期	神戸市立博物館蔵
93	山海見立相撲 撰津有馬山	二代歌川広重画	安政5年(1858)	神戸市立博物館蔵
94	◎京・姫路間宿駅絵図		江戸時代後期	浄橋寺蔵
95	六甲山越間道絵図		江戸時代後期	浄橋寺蔵
(参考図版)	撰津国絵図		江戸時代後期	個人蔵
96	有馬絵図扇子		江戸時代	神戸市立博物館蔵
97	奉納一万句集	陽布門	享保10年(1725)版	神戸市立博物館蔵
98	津国遊覧狂歌集	鶴廻屋梅好	江戸時代	神戸市立博物館蔵

99	有馬筆すさみ	壺中庵梅千丸	文政10年(1827)版	個人蔵
100	新板増補ありまふし		寛政7年(1795)版	神戸市立中央図書館蔵
101	新板ありまふし		文政9年(1826)版	神戸市立中央図書館蔵
102	温泉湯治養生記		江戸時代	温泉寺蔵
103	温泉略考		正徳3年(1713)	神戸市立博物館蔵
104	湯治身持かがみ		延宝3年(1675)版	神戸市立博物館蔵
105	和漢三才図会	寺島良安	正徳3年(1713)版	神戸市立博物館蔵
106	温泉論	柘植竜州	文化6年(1809)版	神戸市立中央図書館蔵
107	有馬温泉功能略記	宇津木益夫	天保9年(1838)版	個人蔵
108	諸国温泉効能鑑		江戸時代後期	神戸市立博物館蔵
109	諸国温泉効能鑑		江戸時代後期	神戸市立博物館蔵
110	明治大見立改正新版 大日本温泉一覽		明治時代	神戸市立博物館蔵
111	内務省大坂司薬場分析表写		明治9年(1876)	温泉寺蔵
112	有馬温泉温冷両泉分析表 全		明治時代	神戸市立博物館蔵

(3) 保養と観光

113	有馬湯山駅札	有馬湯山駅	明治元年(1868)	神戸市立博物館蔵
114	有馬温泉炭酸水改良建築並市街 写真絵図		明治16年(1883)	神戸市立博物館蔵
115	兵庫県下有馬武庫菟原 豪商名 所獨案内の魁	垣貫與祐 熊谷久栄堂	明治17年(1884)	神戸市立博物館蔵
116	入湯御宿・二階坊七三郎引札		明治中期	兵庫県立歴史博物館蔵
117	有馬市街・鼓ヶ滝(『日本名所写 真帳1』)		明治中期	神戸市立博物館蔵
118	有馬名所及旅舎一覽表	千枳源蔵	明治29年(1896)	関西大学総合図書館蔵
119	旅の家土産 有馬の巻	光村写真部	明治33年(1900)	神戸市立博物館蔵
120	有馬炭酸水の瓶	有馬鉦泉株式会社	明治後期~大正期	神戸市立博物館蔵
121	有馬名所案内	兵衛旅館	明治後期~大正期	神戸市立博物館蔵
122	有馬名所及愛宕山遊園地設備図	杉本栄松堂	明治後期~大正	神戸市立博物館蔵
123	有馬町付近地図	大阪市小学校共同 研究会	大正期~昭和初期	神戸市立博物館蔵
124	有馬風景絵葉書	摂津有馬温泉場 鼓ヶ滝茶店	大正~昭和初期	神戸市立博物館蔵
125	説明入 有馬名勝絵葉書 最新版		大正~昭和初期	神戸市立博物館蔵
126	有馬名所絵葉書		大正~昭和初期	神戸市立博物館蔵
127	神戸有馬電鉄沿線名所図	吉田初三郎著	昭和3年(1828)	神戸市立博物館蔵
128	有馬温泉入湯遊覧電車往復券・ 日帰り券	神戸有馬電気鉄道 株式会社	昭和初期	神戸市立博物館蔵

(4) 有馬と外国人たち

129	レイ夫人の世界周遊日記		明治14~15年(1881-1882)	横浜開港資料館蔵
130	THE TOURIST'S GUIDE TO KOBE AND ITS SURROUNDINGS, ALSO A TRIP TO ASO SAN, IN KIUSHU.	ジョージ J. ペニー編	明治24年(1891)	神戸市立博物館蔵

131	有馬にて（『聖公会フォス主教 個人アルバム』）		明治末期～大正初期	横浜開港資料館蔵
132	湯泉神社にて（聖公会宣教師C. Tワレンら）		明治中期～後期	桃山学院年史資料室蔵
133	杉本ホテルにて（聖公会の宣教 師たち）		明治中期～後期	桃山学院年史資料室蔵
134	有馬へ運ばれるC. Tワレン家の 荷物		明治中期～後期	桃山学院年史資料室蔵
135	鼓ヶ滝とモラエス		明治末期～大正初期	神戸市立博物館蔵
136	杉本ホテル		大正期カ	個人蔵
137	杉本ホテルの庭		大正期カ	個人蔵
138	杉本ホテルの室内		大正期カ	個人蔵

4. 有馬が生んだ芸術家

139	山水図（西尾武陵収集書画帖の うち）	梶木錦城筆	江戸時代後期	個人蔵
140	森琴石肖像ガラス写真		江戸末期～明治初期	個人蔵
141	森琴石家族・画室写真		大正2年（1913）頃	個人蔵
142	諸国名所	森琴石画	明治前期	神戸市立博物館蔵
143	大阪名所	森琴石画	明治前期	神戸市立博物館蔵
144	掌中 大日本地図 全	森琴石画	明治9年（1876）刊	神戸市立博物館蔵
145	改正 大阪区分細見図 全	森琴石編	明治10年（1877）刊	神戸市立博物館蔵
146	改正銅鑄 大日本国図 全	森琴石編	明治10年（1877）刊	神戸市立博物館蔵
147	新鑄 大日本海陸全図 附朝鮮 琉球全図 全	森琴石編	明治10年（1877）刊	神戸市立博物館蔵
148	大日本四国一覽之図 附淡路之 国 全	森琴石編	明治10年（1877）刊	神戸市立博物館蔵
149	奈良名所独案内 全	森琴石編	明治12年（1879）刊	神戸市立博物館蔵
150	南画独学 揮毫自在	森琴石編	明治13年（1880）刊	個人蔵
151	墨香画譜	森琴石編	明治13年（1880）刊	個人蔵
152	(1) 九十七時二十分間 月世界旅行	森琴石画	明治13年（1880）刊	神戸市立博物館蔵
	(2) 九十七時二十分間 月世界旅行	森琴石画	明治21年（1888）版	神戸市立博物館蔵
153	康熙御製 耕織図	森琴石画	明治16年（1883）刊	神戸市立博物館蔵
154	新撰梅溪 月瀬勝景新図 全	森琴石編	明治20年（1887）刊	神戸市立博物館蔵
155	寒林行旅図	森琴石筆	明治29年（1896）	個人蔵
156	山水図	森琴石筆	明治32年（1899）	神戸市立博物館蔵
157	雲龍図	森琴石筆	明治36年（1903）	中の坊蔵
158	南山寿図	森琴石筆	明治42年（1909）	中の坊蔵
159	山水花卉雜画帖	森琴石筆	明治42年（1909）	個人蔵
160	陸羽烹茶図	森琴石筆	大正4年（1915）	中の坊蔵
161	萩	山下摩起筆	大正7年（1918）	個人蔵
162	芍薬	山下摩起筆	昭和前期	個人蔵

註：資料名の前に付した記号は●重要文化財、○県指定文化財、◎市指定文化財の指定を受けていることをあらわす。

(5) 第65回特別展

宮廷の栄華

唐の女帝・則天武后とその時代展

・内 容／

中国の歴史の中で、唯一の女帝であった則天武后は、唐の国号を周に改めるなど、専横で暴虐的な印象が持たれてきた。しかし、彼女の治世の間は、政治的には安定した時代で、政治・経済・文化・宗教の各方面で優れた業績を残すことにもなった。その唐の都の長安のあった陝西省と洛陽のあった河南省、そして則天武后ゆかりの山西省の3省から、当時の華麗な宮廷文化を物語る資料を紹介する展覧会である。当時の日本があこがれた、唐の文化の粋を、祈り・宮廷生活・則天武后の3部で構成し、好評をえた。

・会 期／平成11年1月23日(土)～平成11年3月22日(月)

・会 場／特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2

・主 催／神戸市立博物館・NHK神戸放送局、NHKきんきメディアプラン、中国陝西省文物事業管理局、河南省文物管理局、山西省文物局

・後 援／外務省、文化庁、中国大使館、中華人民共和国文化部、中国国家文物局、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会

・協 賛／中国西北航空公司

・入 館 料／(当日・一般)1,100円

・開催日数／51日間

・入館者数／81,905人

・出品点数／154点

・関連事業／

上海・長江交易促進プロジェクト協賛

講演会「唐の歴史と文化」

主催：日中 上海・長江－神戸・阪神交易促進日本委員会、神戸市立博物館、NHK神戸放送局

日時：①3月12日〔金〕：於 神戸市立博物館地階 講堂

一海 知義(神戸大学名誉教授)「唐詩の世界」－黄河と長江－

井波 律子(国際日本文化研究センター教授)「唐の女性たち」

－則天武后と楊貴妃－

②3月13日〔土〕：於 神戸市立博物館地階 講堂

菅谷 文則(滋賀県立大学教授)「唐と日本の金銀器」

－唐墓壁画・正倉院・出土金銀器－

井上 隆史(NHK教養番組部チーフ・プロデューサー)「中国・その文明と風土」

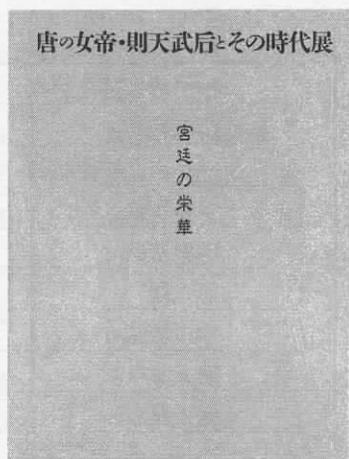


図 録

ポスター

講演会

「唐の歴史と文化」

唐の時代は、中国の政治と文化が頂点に達した時代です。その国家制度は、日本などの周辺諸国の模範となり、仏教も唐王朝の保護を受け中国国内に広まっていくことになりました。李白・杜甫の詩などの文学も、後世まで広範な影響を及ぼしていきます。また、経済的にも長江流域の開発がいっそう進展した時代でもあります。

今回、展覧会「宮廷の栄華 唐の女帝・則天武后とその時代展」が神戸市立博物館で開催されるにあたり、中国文化の原型をつくった唐代に焦点をあて、日本の文化の形成にも大きな影響を与えた中国の歴史と文化を考える講演会を開催いたします。

プログラム

●平成11年3月12日(金) 午後1時30分～4時

「唐詩の世界」－黄河と長江－

一海 知義 氏 (神戸大学名誉教授)

奈良市生まれ、1953年京都大学文学部(中国文学専攻)を卒業。『陶淵明』『陸游』『河上肇詩注』(岩波書店)をはじめ多数の著書がある。

「唐の女性たち」－則天武后と楊貴妃－

井波 律子 氏 (国際日本文化研究センター教授)

富山県生まれ、京都大学大学院文学研究科(中国文学専攻)博士課程を終了。『中国人の機智』(中公新書)、『三国志演義』(岩波新書)などの著書多数。

●平成11年3月13日(土) 午後1時30分～4時

「唐と日本の金銀器」

－唐墓壁画・正倉院・出土金銀器－

菅谷 文則 氏 (滋賀県立大学教授)

奈良県生まれ、関西大学大学院文学研究科(考古学専攻)修士課程修了。『日本人と鏡』(同朋舎)や日本と中国に関する多数の論文で知られる。

「中国・その文明と風土」

井上 隆史 氏 (NHK教養番組部チーフ・プロデューサー)

香川県生まれ、早稲田大学法学部卒業。NHKでは、『歴史への招待』など、歴史・美術に関する特集番組を手がけ、『大黄河』でもディレクターを務める。

◆会場 神戸市立博物館 地階 講堂

◆募集定員 200名(応募者多数の場合は抽選)

◆申込方法 往復はがきに住所・氏名と3月12日
あるいは3月13日いずれか希望の日と、
返信用はがきにあて名を記入の上、お
申し込みください。(3月7日必着)

◆受講料 無料(ただし、展覧会をごらんになる場合は、別途入館料が必要になります。)

◆申込先 〒650-0034 神戸市中央区京町24番地
神戸市立博物館「唐の歴史と文化」
講演会係 TEL(078)391-0035



女子（陝西歴史博物館）唐八世紀

宮廷の栄華 唐の女帝・則天武后とその時代展

平成11年1月23日（土）—3月22日（月）

神戸市立博物館、NHK神戸放送局、NHKきんきメディアプラン
中国陝西省文物事業管理局・河南省文物管理局・山西省文物局

神戸市立博物館

中国史上唯一の女帝・則天武后そくてんぶこうの君臨。

長大な中国の歴史上、唯一の女帝として君臨した則天武后<=武則天>(624?-705年、在位690-705年)は、唐の国号を周と改変し、政敵を次々と葬るなど、専横で暴虐的な人物とされてきました。

しかし一方では、有能な官僚の登用や屯田の奨励をはじめ、シルクロードを整備して諸外国との活発な交流を促進させたほか、詩文や書をはじめとする文化の振興、仏教や道教に対する深い信仰など、政治・経済・文化・宗教の諸方面において優れた業績も残しました。近年、中国では、彼女の生涯が映像化されたり、展覧会も開催されるなど、にわかに脚光を浴びています。

本展は、則天武后の本籍地山西省(さんせいしょう)と、繁栄を極めた唐の都・長安の置かれた陝西省(せんせいしょう)、洛陽の置かれた河南省(かなんしょう)の三省に焦点をあて、則天武后ゆかりの地域に伝わる当時の貴重な芸術品を通して、かつての華麗な宮廷文化とその時代の特色を展観するものです。

王侯貴族が願いを託した仏教彫刻、宮廷とその周辺で用いられたまばゆいばかりの金銀器、斬新なデザインが施された陶磁器など、多岐にわたる分野の第一級の名品155点を公開します。

これらの中には、近年の中国考古学の大発見といわれる法門寺の出土品(銀器・陶磁器・ガラス器)や壮大な遺跡として名高い龍門石窟の仏像、さらには則天文字を刻む則天武后勅願の金製願文など日本初公開の作品も97点含まれます。

往時の日本が範とした唐王朝の高度な芸術文化の粋をご覧いただくとともに、中国と日本との古来からの深い繋がりをうかがい知る、格好の機会になるでしょう。

第1部 祈り

古代から中世にあつては、洋の東西や貴賤の別を問わず、生活の隅々まで信仰心が息づいていました。唐王朝にあつてもそれは例外ではありません。さまざまな願いを託して造立された仏教彫刻や、死後の生活の安寧を願って作られた墳墓の副葬品の数々には、当時の人々の切実な祈りが凝縮されています。ときに重厚、ときに繊細華麗な作品によって、祈りの形を見ていきます。

鳳凰
(西安市文物保護考古所)



菩薩比丘像
(臨潼縣博物館)

菩薩立像
(西安碑林博物館)



観音菩薩坐像
(西安碑林博物館)



そこに華開く仏教彫刻、金銀器、陶磁器の粹。

第

2

部

宮廷生活

皇帝を頂点とする中国の宮廷では、贅を尽くし金・銀・玉(ぎよく)・貴石といった珍奇な素材を匠の鏡、副葬品ながら鮮やかな色彩にあふれた中国ならではの造形を示す品々に加え、西方文化を紹介します。

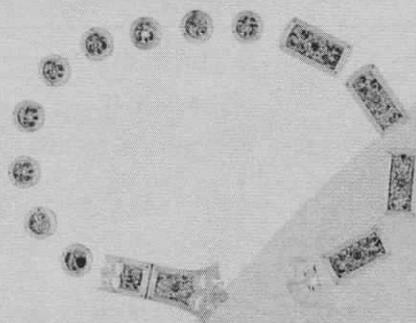
騎馬笠帽女子 (陝西歴史博物館)



獅子唐草文鐙 (陝西歴史博物館)



花文帯飾 (陝西省考古研究所)



第

3

部

則天武后

芸術文化の方面でも見る源流ともいわれる華麗な壁(とく)太子墓からの出土品文化の息吹をよく伝えてい寺の出土品などにより、則



鴛鴦宝相華文双耳四花形盆 (法門寺博物館)



花葉文盤 (法門寺博物館)



盤口瓶 (法門寺博物館)

文化が咲き誇りました。
 に用いた器や装身具を筆頭に、奇抜な意
 器や躍動感に富んだ俑(陶製人形)など、
 他濃く伝える作品も交え、当時の輝かしい文



騎馬奏楽人物 (西安市文物 保護考古所)



女子 (陝西歴史博物館)



天王文灯 (洛陽市文物考古工作隊)



八掛文亀形盒 (忻州地区博物館)

腕をふるった則天武后ゆかりの品々を展示します。高松塚古墳の
 見された永泰(えいたい)公主墓や則天武后の血縁に連なる懿徳(い
 則天武后自身の祈りを記した金の板などは、当時の
 また、則天武后が帰依した龍門石窟の仏像や法門
 の知られざる人物像に迫ります。



獸足提梁籠 (法門寺博物館)



則天武后除罪簡 (河南博物院)

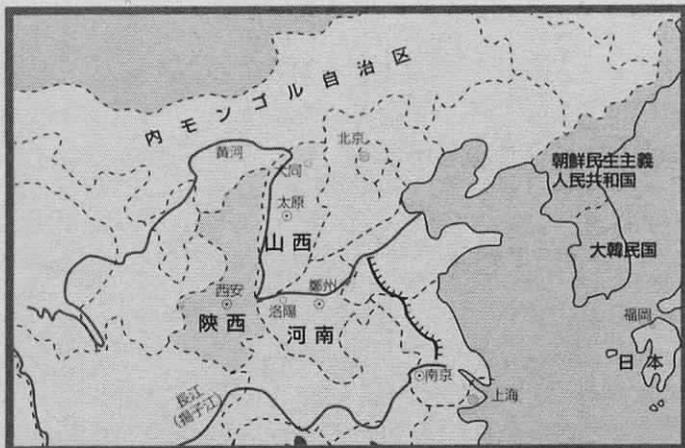


成熟する政治・経済・文化。

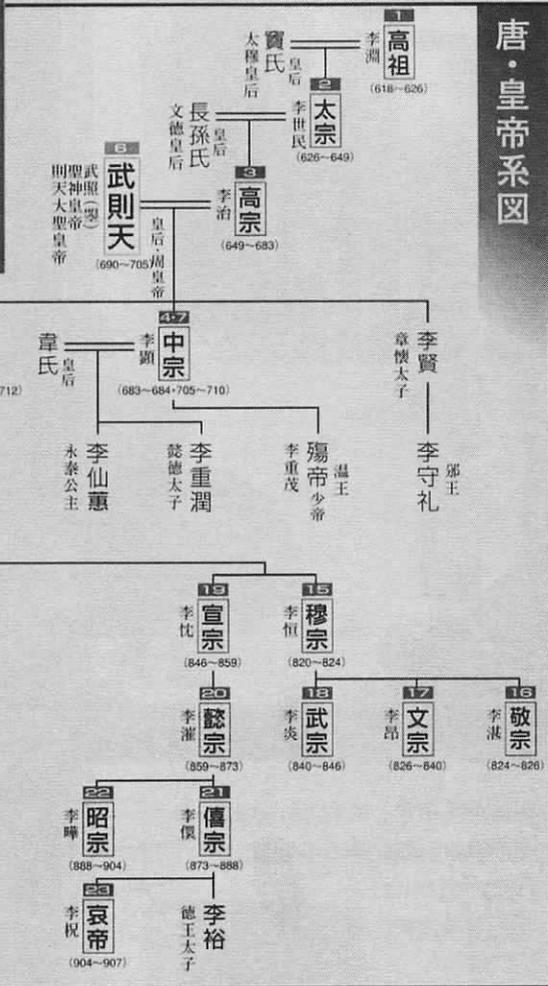
高高山門復金簡通元三宮九府除武聖罪為



乾陵



唐・皇帝系図



法門寺

則天武后とその時代

西暦	中国(唐)	日本
六八八	隋滅び、李淵、即位して唐を建国。	推古二六推古
六三二	この頃、武照(則天武后)生まれる。	三〇
六四〇	この頃、武照(則天武后)後宮へ入る。	三三
六三七	玄奘三蔵、インドから帰国。	三〇
六四五	武照(則天武后)再び後宮へ入る。	三三
六五一	武照(則天武后)、皇后となる。	三七
六五〇	法門寺の舍利を長安と洛陽で供養。	三六
六四八	高句麗を滅ぼし、安東都護府を置く。	三五
六四六	則天武后「天后」と称す。	三五
六四三	奉先寺洞(龍門石窟)落成。	三三
六四二	高宗崩御。	三〇
六四一	則天武后、政権を掌握。	二九
六三九	則天武后、長安南部に明堂を建立。	二八
六三九	則天文字制定。	二七
六三三	則天武后、「臣執」完成。	二四
六三二	マ教伝来。	二四
六三〇	則天武后、崇山にて封禪を行う。	二二
六二八	この頃、則天武后、光宅寺七宝台建立。	二〇
六二七	則天武后、法門寺の舍利を洛陽で供養。	一九
六二五	則天武后退位。国号を唐に戻す。	一八
六二四	則天武后没。	一七
六二二	則天武后、乾陵に合葬される。	一六
七〇六		三

聖徳太子没。
大化の改新。
白村江の戦い。
近江令制定。
浄御原令制定。
藤原京へ遷都。
大宝律令完成。



あなたの声を大切にします。受信料でつくられる公共放送だから...

宮廷の栄華「唐の女帝・則天武后とその時代展」

平成11年1月23日(土)―3月22日(月)

開館時間／午前10時―午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日／月曜日(3月22日は開館)
 主催／神戸市立博物館、**NHK**神戸放送局、**NHK**きんきメディアプラン
 中国陝西省文物事業管理局・河南省文物管理局・山西省文物局
 後援／外務省、文化庁、中国大使館、中華人民共和国文化部、
 中国国家文物局、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会
 協力／中国西北航空公司 企画監修／東京国立博物館

入場料金／一 般：当日1,100円、前売1,000円、団体900円
 高・大生：当日 800円、前売 700円、団体600円
 小・中生：当日 400円、前売 300円、団体200円

※団体は30名以上

※神戸市のすこやか福祉手帳(老人福祉手帳)をお持ちの方は、シルバー料金(550円)でご利用になれます(手帳が必要です)

前売券発売中 チケットぴあ、チケットセゾン、ローソンチケット、神戸市立博物館券売などで、お求めになれます。

神戸市立博物館
 Kobe City Museum
 〒650-0034 神戸市中央区京町24番地 TEL (078) 391-0035(代表)



■交通のご案内

- 新幹線「新神戸」駅から南へ車で約10分
- JR「三ノ宮」駅、地下鉄、阪急、阪神「三宮」駅から南西へ徒歩約10分
- JR、阪神「元町」駅から南東へ徒歩約10分

■付近の有料駐車場

- デビスパーキング (TEL 331-1257) 普通車
- 神戸市立三宮第2駐車場 (TEL 391-5513) 普通車
- 元町東駐車場 (TEL 333-3388) 普通車
- 京町オリエンタルモータープール (TEL 393-3584) 普通車・大型車
- ポートタワー南バス駐車場 (TEL 391-6751) 大型車

「ムンク版画展」 "EDVARD MUNCH-Prints from the Epstein Family Collection"
 平成11年2月2日(火)―3月22日(月) 会場：京都国立近代美術館
 京都国立近代美術館、**NHK**京都放送局、**NHK**きんきメディアプラン

「京の雅・和歌のこころ 冷泉家の至宝展」
 平成11年4月3日(土)―5月16日(日) 会場：京都文化博物館
 京都府、京都文化博物館、(財)冷泉家時雨亭文庫、
NHK京都放送局、**NHK**きんきメディアプラン

出品目録

番号 作品名称

出土地・採集地

員数 時代・年代

省名 所蔵

1 祈り

1	(1) 奏楽天人龍虎蓮華唐草文柱座 (2) 龍虎蓮華唐草文柱座	山西省大同市城東石家寨司馬金龍墓(太和八年(四八四))出土	二基	北魏・五世紀後半	山西省	大同市博物館
2	四面仏像龕	陝西省長安縣查家寨出土	一基	北魏・景明二年(五〇一)銘	陝西省	西安碑林博物館
3	弥勒如来交脚坐像及び両脇侍立像	陝西省西安市收集	一基	北魏・六世紀初	陝西省	西安碑林博物館
4	釈迦如来坐像及び両脇侍立像	陝西省城固県出土	一基	北魏・孝昌三年(五二七)銘	陝西省	陝西歴史博物館
5	仏像碑	陝西省西安市西郊潘家村出土	一基	西魏・大統三年(五三七)銘	陝西省	西安市文物保護考古所
6	(1) 如来三尊及び二天王立像龕 (2) 如来坐像及び両脇侍立像龕 (3) 如来坐像及び二弟子立像龕	陝西省西安市北郊草灘(寺院址)出土	三基	北周・六世紀後半	陝西省	西安市文物保護考古所
7	如来立像	陝西省西安市二府庄東出土	一軀	北周・六世紀後半	陝西省	西安市文物保護考古所
8	観音菩薩立像	陝西省西安市北郊漢城郷西查村出土	一軀	北周・六世紀後半	陝西省	西安市文物保護考古所
9	観音菩薩立像	陝西省西安市北郊漢城郷西查村出土	一軀	北周・六世紀後半	陝西省	西安市文物保護考古所
10	菩薩立像	陝西省潼關縣老虎村出土	一軀	隋・六世紀末～七世紀初	陝西省	西安碑林博物館
11	釈迦如来坐像	山西省芮城縣風陵渡東章出土	一軀	唐・長安三年(七〇三)銘	山西省	芮城縣博物館
12	如来坐像	山西省芮城縣風陵渡東章出土	一軀	唐・景龍四年(七一〇)銘	山西省	芮城縣博物館
13	如来坐像	山西省芮城縣風陵渡東章出土	一軀	唐・八世紀前半	山西省	芮城縣博物館
14	阿弥陀如来坐像及び観音・勢至菩薩立像龕	河南省偃師縣机埭廠出土	一基	唐・神龍元年(七〇五)銘	河南省	洛陽博物館
15	阿弥陀如来坐像	山西省運城夏県收集	一軀	唐・開元一四年(七二六)銘	山西省	山西省博物館
16	弥勒如来倚像	山西省運城稷山県收集	一軀	唐・天寶四年(七四五)銘	山西省	山西省博物館
17	如来倚像	河南省鄭州市北園收集	一軀	唐・八～九世紀	河南省	鄭州市博物館
18	如来立像	陝西省沙坪沱村出土	一軀	唐・八世紀中頃	陝西省	西安碑林博物館
19	観音菩薩坐像	陝西省西安市東関景龍池廟宇伝来	一軀	唐・八世紀中頃	陝西省	西安碑林博物館
20	馬頭観音菩薩坐像	陝西省西安市電廠路安国寺址出土	一軀	唐・八世紀中頃	陝西省	西安碑林博物館
21	降三世明王坐像	陝西省西安市電廠路安国寺址出土	一軀	唐・八世紀中頃	陝西省	西安碑林博物館

番号	作品名称	出土地・採集地	員数	時代・年代	省名	所蔵
22	不動明王坐像	陕西省西安市電廠路安国寺址出土	一軀	唐・八世紀後半	陕西省	西安碑林博物館
23	明王坐像	陕西省西安市電廠路安国寺址出土	一軀	唐・八世紀後半	陕西省	西安碑林博物館
24	二天王立像	陕西省西安市南郊西安公路学院内出土	二軀	唐・八世紀前半	陕西省	西安市文物保護考古所
25	天王立像	陕西省宝鸡市采集 宝鸡市博物館旧蔵	一軀	唐・八、九世紀	陕西省	陕西歴史博物館
26	釈迦牟尼降伏外道立像	陕西省西安市采集	一基	唐・八世紀中頃	陕西省	西安碑林博物館
27	弥勒菩薩立像	河南省滎陽県大海寺址出土	一軀	唐・九世紀前半	河南省	鄭州市博物館
28	弁積菩薩立像	河南省滎陽県大海寺址出土	一軀	唐・九世紀前半	河南省	鄭州市博物館
29	金髻菩薩立像	河南省滎陽県大海寺址出土	一軀	唐・九世紀前半	河南省	鄭州市博物館
30	菩薩立像	河南省滎陽県大海寺址出土	一軀	唐・九世紀前半	河南省	鄭州市博物館
31	菩薩立像	河南省滎陽県大海寺址出土	一軀	唐・九世紀前半	河南省	鄭州市博物館
32	菩薩像頭部	河南省滎陽県大海寺址出土	一個	唐・八世紀後半	河南省	鄭州市博物館
33	(1) 二天王立像 (2) 二天王立像 (3) 二力士立像 (4) 二力士立像	河南省鄭州市開元寺塔基出土	各二基	北宋・一〇世紀後半	河南省	鄭州市博物館
34	舍利容器	陕西省藍田県蔡拐村法池寺址出土	一口	唐・七、八世紀	陕西省	藍田県文管所
35	慶山寺舍利塔記碑	陕西省臨潼県新豊鎮慶山寺址(開元二九年(七四二)出土	一基	唐(開元二九年(七四二)銘	陕西省	臨潼県博物館
36	二天王閼門扉	陕西省臨潼県新豊鎮慶山寺址(開元二九年(七四二)出土	一具	唐・八世紀前半	陕西省	臨潼県博物館
37	舍利宝帳	陕西省臨潼県新豊鎮慶山寺址(開元二九年(七四二)出土	一基	唐・八世紀前半	陕西省	臨潼県博物館
38	(1) 花文棺 (2) 菩薩比丘像棚及び須弥座	陕西省臨潼県新豊鎮慶山寺址(開元二九年(七四二)出土	一具	唐・八世紀前半	陕西省	臨潼県博物館
39	舍利瓶及び舍利	陕西省臨潼県新豊鎮慶山寺址(開元二九年(七四二)出土	一具	唐・八世紀前半	陕西省	臨潼県博物館
40	香炉	陕西省臨潼県新豊鎮慶山寺址(開元二九年(七四二)出土	一口	唐・八世紀前半	陕西省	臨潼県博物館
41	錫杖	陕西省臨潼県新豊鎮慶山寺址(開元二九年(七四二)出土	一柄	唐・八世紀前半	陕西省	臨潼県博物館
42	人面飾胡瓶	陕西省臨潼県新豊鎮慶山寺址(開元二九年(七四二)出土	一口	唐(ヒザンチン)七、八世紀?	陕西省	臨潼県博物館
43	水瓶	陕西省臨潼県新豊鎮慶山寺址(開元二九年(七四二)出土	一口	唐・八世紀前半	陕西省	臨潼県博物館
44	(1) 鉢 (2) 盒 (3) 宝相華文長頸瓶	陕西省臨潼県新豊鎮慶山寺址(開元二九年(七四二)出土	(1) 一口 (2) 一口 (3) 一口	唐・八世紀前半	陕西省	臨潼県博物館
45	獅子	陕西省西安市王家墳村九〇号唐墓出土	一軀	唐・八世紀前半	陕西省	陕西歴史博物館
46	獅子鎮柄香炉	河南省洛陽市龍門西山神会和尚墓(永泰元年(七六五)出土	一柄	唐・八世紀中頃	河南省	洛陽博物館

69	多足硯	陝西省長安原收集	一面	唐・八世紀	陝西省	西安碑林博物館
68	鳳首瓶	陝西省西安市西郊三橋關家村出土	一口	唐・八世紀	陝西省	西安市文物保護考古所
67	錢櫃	陝西省西安市東郊王家墳村九〇号唐墓出土	一個	唐・八世紀	陝西省	陝西歷史博物館
66	鴛鴦文枕	河南省洛陽市北邙山前李村唐墓出土	一個	唐・八世紀	河南省	洛陽博物館
65	台付壺	陝西省西安市中堡村唐墓出土	一口	唐・八世紀	陝西省	陝西歷史博物館
64	天王文灯	河南省洛陽市吉利区出土	一基	唐・八世紀	河南省	洛陽市文物考古工作队
63	鳳首杯	陝西省西安市韓森寨出土	一口	唐・八世紀	陝西省	陝西歷史博物館
62	人物飾り盤及び杯	河南省洛陽市孟津朝陽鄉周寨村出土	一具	唐・八世紀	河南省	洛陽博物館
61	象形座付壺	陝西省西安市西郊製藥廠出土	一口	唐・八世紀	陝西省	陝西歷史博物館
60	皮袋形壺(酒尊)	陝西省西安市東郊沙坡塋廠出土	一口	唐・八世紀	陝西省	西安市文物保護考古所
59	花文高脚鉢	陝西省西安市東郊韓森寨段伯陽墓(乾封二年(六六七))出土	一口	唐・七世紀後半	陝西省	陝西歷史博物館
58	女子	陝西省西安市中堡村唐墓出土	一軀	唐・八世紀	陝西省	陝西歷史博物館
57	女子	陝西省西安市東郊王家墳村九〇号唐墓出土	一軀	唐・八世紀前半	陝西省	陝西歷史博物館
56	騾馬	陝西省西安市西郊製藥廠出土	一軀	唐・八世紀前半	陝西省	西安市文物保護考古所
55	騎馬狩獵人物	陝西省西安市東郊豁口唐墓出土	五軀	唐・八世紀前半	陝西省	西安市文物保護考古所
54	騎馬奏樂人物	陝西省西安市東郊豁口唐墓出土	五軀	唐・八世紀前半	陝西省	西安市文物保護考古所
53	駱駝及び牽駝男子	河南省洛陽市閔林二一〇号墓出土	一組	唐・八世紀前半	河南省	洛陽博物館
52	胡人(酒尊)	陝西省西安市東郊韓森寨段伯陽墓(乾封二年(六六七))出土	一軀	唐・七世紀後半	陝西省	陝西歷史博物館
51	騎馬笠帽女子	陝西省禮泉縣鄭仁泰墓(麟德元年(六六四))出土	一軀	唐・七世紀後半	陝西省	陝西歷史博物館
50	文官	陝西省禮泉縣張士貴墓(顯慶二年(六五七))出土	各一軀	唐・七世紀後半	陝西省	陝西歷史博物館
49	武官	陝西省長武縣靈園鄉郭出土	各一軀	唐・七世紀	陝西省	陝西歷史博物館
48	舞踏胡人	山西省壽陽縣賈家庄北齊墓(河清元年(五六二))出土	一軀	北齊・六世紀後半	山西省	山西省考古研究所
2	宮廷生活					
47	龍	陝西省西安市東郊郭家灘出土	(1) 一個	唐・八世紀	陝西省	西安市文物保護考古所
(2)	鳳凰		(2) 二個			
(3)	鴻		(3) 一個			
(4)	樹木		(4) 一個			

番号	作品名称	出土地・採集地	数量	時代年代	省名	所蔵
70	(1) 碗	陕西省銅川市耀州窯址出土	各一口	唐・九世紀	陕西省	陕西歷史博物館
	(2) 鉢	陕西省銅川市耀州窯址出土	一口	唐・九世紀	陕西省	陕西歷史博物館
71	瓶	山西省大同市城南迎賓東出土	一口	北魏(ヒザンチン)・五世紀頃	山西省	大同市博物館
72	鬮獸文八曲杯	陕西省西安市何家村出土	一口	唐・七世紀	陕西省	陕西歷史博物館
73	獅子唐草文鏤	陕西省西安市何家村出土	一口	唐・七世紀	陕西省	陕西歷史博物館
74	仕女狩獵文八曲把杯	陕西省西安市城建局交出	一口	唐・七世紀	陕西省	西安市文物保護考古所
75	(1) 禽獸草花文三足壺	陕西省西安市東郊西北國棉五廠六五号唐墓(開元六年(七一八)出土	各一口	唐七・八世紀	陕西省	陕西省考古研究所
	(2) 鴛鴦草花文三足壺		各一口	唐七・八世紀	陕西省	陕西省考古研究所
76	龍鳳葡萄唐草文碗	陕西省西安市何家村出土	一口	唐・八世紀前半	陕西省	陕西歷史博物館
77	折柄鏤斗	陕西省西安市何家村出土	一口	唐・八世紀前半	陕西省	陕西歷史博物館
78	盒	陕西省西安市何家村出土	一合	唐・八世紀前半	陕西省	陕西歷史博物館
79	(1) 鴛鴦唐草文盒	陕西省西安市東郊西北國棉五廠住宅小区二九号唐墓(開元二〇年(七三三)出土	(1)一合	唐・八世紀前半	陕西省	陕西省考古研究所
	(2) 花鳥唐草文匙		(2)一柄	唐・八世紀前半	陕西省	陕西省考古研究所
80	雙魚文盤	陕西省西安市西北工業大學出土	一枚	唐・八・九世紀	陕西省	西安市文物保護考古所
81	人物彈琴鶴文四稜盤	陕西省西安市城建局交出	一枚	唐・八・九世紀	陕西省	西安市文物保護考古所
82	团花文唾壺	陕西省西安市灊橋区新築郷出土	一口	唐・九世紀	陕西省	西安市文物保護考古所
83	飛鴻宝相華文碗	陕西省耀泉柳林背陰村出土	一口	唐・九世紀	陕西省	陕西歷史博物館
84	八卦文龜形盒	山西省繁峙县金山鋪郷出土	一合	唐・八・九世紀	山西省	忻州地区博物館
85	花葉文五花形杯	河南省洛陽市墾師佃庄郷太郎廟出土	一口	唐・八・九世紀	河南省	洛陽博物館
86	雙魚文四花形杯及び雙鴻雙魚文荷葉形托	河南省洛陽市伊川杜溝村唐齊國太夫人墓出土	一組	唐・九世紀	河南省	洛陽博物館
87	魚花文帶金具	河南省洛陽市宜陽高村郷王溝村出土	一具	唐・九世紀	河南省	洛陽博物館
88	松樹文把杯	河南省洛陽市墾師縣城関郷老城窖藏出土	一口	唐・五代・九・一〇世紀	河南省	洛陽博物館
89	花文帶飾	陕西省長安泉南里五村寶唐墓出土	一具	唐・七世紀	陕西省	陕西省考古研究所
90	獸首角杯	陕西省西安市何家村出土	一口	唐・八世紀前半	陕西省	陕西歷史博物館
91	唐草文八曲杯	陕西省西安市何家村出土	一口	唐・八世紀前半	陕西省	陕西歷史博物館
92	獸面文腕釧	陕西省西安市何家村出土	一對	唐・八世紀前半	陕西省	陕西歷史博物館
93	龍鳳文佩	陕西省乾县僊宗靖陵(文德元年(八八八)出土	三個	唐・九世紀	陕西省	陕西省考古研究所
94	牛車	山西省翼城县取集	一具	唐・八・九世紀	山西省	山西省博物館

95	瑞獸唐草文八稜鏡	陝西省西安市郊區東郊出土	一面	唐・八世紀前半	陝西省 陝西歷史博物館
96	雙鳳玉相華文鏡	陝西省戶県出土	一面	唐・八世紀前半	陝西省 陝西歷史博物館
97	鳳凰玉相華文八花鏡	河南省洛陽市閩林出土	一面	唐・八世紀	陝西省 洛陽博物館
98	雙鳳雙馬文鏡	陝西省西安市出土	一面	唐・八世紀	河南省 陝西歷史博物館
3 則天武后					
99	則天武后除罪簡	河南省登封市嵩山峻極峰北側出土	一枚	唐・久視元年(七〇〇)銘	河南省 河南博物院
100	節愍太子哀冊	陝西省富平縣節愍太子墓(景雲元年(七一〇)出土)	一組	唐・八世紀初	陝西省 陝西省考古研究所
101	騎射男子	陝西省乾縣懿德太子墓(神龍二年(七〇六)出土)	一驅	唐・八世紀初	陝西省 陝西歷史博物館
102	騎馬狩獵男子	陝西省乾縣永泰公主墓(神龍二年(七〇六)出土)	一驅	唐・八世紀初	陝西省 陝西歷史博物館
103	碗	陝西省乾縣永泰公主墓(神龍二年(七〇六)出土)	一口	唐・八世紀初	陝西省 陝西歷史博物館
104	鼓胴	陝西省西安市東門外鷄市拐以東(大明宮址東城門外)出土	一個	唐・八・九世紀	陝西省 西安市文物保護考古所
105	壺	陝西省西安市大明宮址出土	一口	唐・八・九世紀	陝西省 西安市文物保護考古所
106	花形皿	陝西省西安市北郊火燒壁村出土	三枚	唐・五代・九・一〇世紀	陝西省 西安市文物保護考古所
107	三尊像及び七連仏像塼	陝西省西安市大慈恩寺出土	一個	唐・七世紀	陝西省 西安市文物保護考古所
108	十一面觀音立像龕	陝西省西安市寶慶寺伝来	一基	唐・八世紀初	東京都 東京国立博物館 未出展
109	如來坐像	河南省洛陽市龍門石窟西山伝来	一驅	唐・八世紀前半	河南省 洛陽古代芸術館
110	如來立像	河南省洛陽市龍門石窟東山高平郡王洞伝来	一驅	唐・八・九世紀	河南省 洛陽古代芸術館
111	獸足提梁籠	陝西省扶風縣法門寺塔基地宮(咸通一五年(八七四)出土)	一口	唐・九世紀	陝西省 法門寺博物館
112	鴛鴦玉相華文双耳四花形盆	陝西省扶風縣法門寺塔基地宮(咸通一五年(八七四)出土)	一口	唐・九世紀	陝西省 法門寺博物館
113	人物禽獸文高脚香盒	陝西省扶風縣法門寺塔基地宮(咸通一五年(八七四)出土)	一合	唐・九世紀	陝西省 法門寺博物館
114	蓮弁文六花形香炉	陝西省扶風縣法門寺塔基地宮(咸通一五年(八七四)出土)	一口	唐・九世紀	陝西省 法門寺博物館
115	蓮葉文高脚碗	陝西省扶風縣法門寺塔基地宮(咸通一五年(八七四)出土)	一口	唐・九世紀	陝西省 法門寺博物館
116	羯磨蓮弁文闍伽瓶	陝西省扶風縣法門寺塔基地宮(咸通一五年(八七四)出土)	一口	唐・九世紀	陝西省 法門寺博物館
117	五花形碗	陝西省扶風縣法門寺塔基地宮(咸通一五年(八七四)出土)	一口	唐・九世紀	陝西省 法門寺博物館
118	盤口瓶	陝西省扶風縣法門寺塔基地宮(咸通一五年(八七四)出土)	一口	ビザンチン・三・五世紀?	陝西省 法門寺博物館
119	花葉文盤	陝西省扶風縣法門寺塔基地宮(咸通一五年(八七四)出土)	一枚	唐(イスラム)・九世紀頃	陝西省 法門寺博物館
120	獅子	陝西省扶風縣法門寺塔基地宮(咸通一五年(八七四)出土)	二驅	唐・九世紀	陝西省 法門寺博物館

※ 108 は未出展

參考資料

1	李壽墓石槨線刻画拓本		原品 唐·貞觀四年(六三〇)	陝西省	西安碑林博物館
2	則天武后詩碑拓本		原品 唐·永淳二年(六八三)	河南省	少林寺
3	太宗李世民「晉祠銘」碑拓本		原品 唐·貞觀二〇年(六四六)	山西省	晉祠文物保管所
4	懿德太子墓石槨線刻画拓本	陝西省乾縣懿德太子墓(神龍二年(七〇六))出土	原品 唐·神龍二年(七〇六)	陝西省	西安碑林博物館
5	永泰公主墓誌拓本	陝西省乾縣永泰公主墓(神龍二年(七〇六))出土	原品 唐·神龍二年(七〇六)	陝西省	昭陵博物館
6	永泰公主墓石槨線刻画拓本	陝西省乾縣永泰公主墓(神龍二年(七〇六))出土	原品 唐·神龍二年(七〇六)	陝西省	昭陵博物館
7	大雁塔門楣線刻画拓本		原品 唐·八世紀	陝西省	大慈恩寺大雁塔
8	法門寺衣物帳碑拓本	陝西省扶風縣法門寺塔基地宮(咸通一五年(八七四))出土	原品 唐·咸通一五年(八七四)	陝西省	法門寺博物館
9	法門寺真身誌文碑拓本	陝西省扶風縣法門寺塔基地宮(咸通一五年(八七四))出土	原品 唐·咸通一五年(八七四)	陝西省	法門寺博物館
10	則天武后園遊圖模本 張萱筆		明	北京	中國歷史博物館
11	懿德太子墓 断面図・平面図				
12	永泰公主墓 断面図・平面図				
13	法門寺地宮 断面図				

2 企画展示

(1) 企画展

一定のテーマを設定し、本館の収蔵資料を中心に調査研究を行い、その成果を企画展として展示する。

展覧会名	会期	内容
神戸・淡路・鳴門 近世の画家たち	7月11日(土)～8月30日(日)	明石海峡大橋の開通を記念し、神戸の斎藤雀亭、淡路の黒田泊庵、徳島の鈴木芙蓉をはじめ、明石・姫路・赤穂も含めた各地で江戸時代に活躍した画家たちの作品を紹介し、お互いの地域文化の一端を知りあう機会とした。



図 録

— 画 家 略 伝 —

【神戸】斎藤雀亭 Saito Jakutei 1737?～1812

雀亭こと斎藤節隆は、名を文偉、字を漢章と称す。落款に「崎陽」と記すので長崎出身と思われる。兵庫津の魚棚町に住み、医者を業とした。文化9年2月3日没。兵庫の外墓に円筒形の墓標が建てられたが、それも今は鶴越墓園の無縁墓地に埋もれている。

雀亭の画の師匠は明らかでない。宝暦ごろまで長崎に渡来していた中国人画家・費漢源(ひかんげん、生没年不明)と近い。水墨略画は、黄檗宗の画僧・鶴亭(1722～85)とも近い。出身も同じ長崎で、やはり上方へ移居しており、二人の画号が似ているのも気にかかる。

【淡路】黒田泊庵 Kuroda Hakuan 1742～1812

名を旺、字を仲維という。田旺と署名するものも多い。津名郡下物部村の人。家は鑄造業を営んだ。23歳のとき長崎へ遊学して、熊斐(くまひ、神代繡江、1712～72)の門下に入った。泊庵の着色画をみると、熊斐の影響が強いが、その最大の魅力である奇妙な造形感覚は、黄檗絵画の鶴亭(1722～85)にも近い。

滞在7年にして淡路へ帰ったが、数年後にはふたたび上方や名古屋に遊び、16年間、淡路では誰も居場所を知らなかったという。のち名古屋にいるのがばれて連れ戻された。

【淡路】黙庵 Mokuan ? ~1833

僧名を量空といい、洲本の矢野氏の出身。三原郡八幡村の賀集山護国寺の住職となり、黒田泊庵から絵を学んだ。経山、嵩山、黙々と号した。画風は師匠に似て、しかし泊庵よりも温雅である。護国寺の墓碑に「量空法印 天保四癸巳十月十八日」とあるというから、僧としては高位まで上がった人だ。没年不明。「己孟秋七十翁」の落款をもつ蘇鉄図があるから、それ以上生きたのは確かである。

【淡路】白川芝山 Shirakawa Shizan 1759~1850

あの渡辺崋山を破門したことで「悪者」としてひろく知れ渡っている。しかし、淡路では人気が高く、授業料滞納で退学になったのは崋山の側が問題だ、と考える。

金屋の賀集家に生まれた。本名は賀集芳介。家は代々酒造業を営み、裕福であった。書もうまく、また俳句にも堪能で玉蕉庵と号し、俳画も残しているから、たいへん器用な才人。24歳で京都へ上がり、白川宮主催の席画会で賞賛を受け、白川姓を許されたという。晩年、いったん淡路に戻り5年ほどすごした後、再び京都へ出た。嘉永3年没。

【明石】岡田東虎 Okada Touko 1755~1822

西本町の旅宿・井筒屋の子として生まれる。通称をはじめ信右衛門、のち与一右衛門という。名は方強。藩主から映窓の号をもらい、以後「台賜映窓」などと署名した。絵は、はじめ西宮の勝部如春齋に学び、福原五岳にもつき、のち大阪の狩野派・吉村周山にも学んだという。今回の出品作で見る限り、狩野派の画風が強いようである。俳句もたしなんだ。円山応挙が「明石に岡田東虎あり、狩野派を能くす、侮るべからず」といったというエピソードはともかく、長沢蘆雪が東虎と親しかったのは事実らしい。

【明石】林 半水 Hayashi Hansui ? ~ ?

今回の出品作品に書付があつて「半水、林儀助、播州明石の藩士なり、画を能くす、致年詳かならず」とある。まったく伝不明。文化14年(1817)の序をもつ『知己詩囊』という書物には「半水 明石侯藩 林儀助」が、画家としてのせられている。さらに渡辺崋山の伝記を読むと、半水なる人物が文化12~13年の日記に頻りに登場し、絵手本の貸し借りなどしているから、同世代の画家とわかる。

のち明石藩主・松平齊宜らが崋山の高弟・椿椿山に絵を学んだのも、この縁か。

【徳島】鈴木芙蓉 Suzuki Fuyou 1752~1816

信州伊那郡北方村(長野県飯田市)の出身。名を雍といい、姓名をあわせて「木雍」とサインするものが多い。儒学者としても頭角をあらわす。寛政8年(1796)、45歳にして芙蓉は文人の目標とするべき仕官の道を得た。それが阿波の蜂須賀家であり、徳島との関わりはここから始まる。

ただし、彼の採用は絵師としてであり、政治に参画する儒官としてではなかった。彼は自分の果たせなかった夢を、息子の小蓮(恭)に託したが、小蓮は25歳で早逝した。その4年後、芙蓉は近藤清二郎を養子とし、家督を譲る。清二郎(?~1840)は阿波国黒地村の出身。鈴木鳴門(めいもん)と称し、あとをついて阿波藩お抱え絵師となった。

【尼崎?】三谷東亭 Mitani Toutei ? ~ ?

尼崎の人と思っていたが、寛政7年(1795)序の『当世癡人伝』を読むと、大阪の尼崎町(今の中央区今橋あたり)のまちがいらしい。

画風は中国新渡来の沈南蘋の影響が色濃く、上方ではけっこう早い伝播例となるので貴重。字を田融といたらしい(中国式の姓名ではないようだ)。

【姫路】酒井宗雅 Sakai Souga 1755~1790

姫路15万石の藩主であり、今や世界文化遺産となった国宝姫路城は、かつてこの人の持ち物だった。実の名を酒井忠以という。茶道は松江城主・松平治郷(号不昧)を師とあおぎ、俳号は銀鷺という。絵の方は、長崎渡来の写実的花鳥画を習おうとし、江戸で宋紫石(1715~86、実は江戸の人・楠本雪溪)についての。当節はやりのニューウエーブに興味をもったのである。また、洋風画にも興味があったらしい。宗雅公は、こうした諸芸をきわめて真面目に、尋常ならぬ熱意でこなして、わずか36年の生涯を駆け去った。それが大名たる者の務めだ、とても考えていたのかもしれない。

【姫路】酒井抱一 Sakai Houitsu 1761~1828

抱一こと酒井忠因は、宗雅の弟として、江戸で生まれた。気楽な次男坊であったことから市民文化にとけこみ、市井と大名文化の中間で、すぐれた才能を発揮した。絵は兄と同じく、はじめ狩野高信や宋紫石から学ぶ。また浮世絵師・歌川豊春にも習ったという。さらに尾形光琳（1658~1716）の作品と出会ったことで、抱一のすすむ道は決まった。琳派顕彰にのりだすとともに、みずからも琳派の画家として、光琳の雅びに、粹と軽みを加えた、彼独自の装飾画風を作り上げた。これを世に江戸琳派と呼んでいる。

【姫路】島 琴陵 Sima Kinryō 1782~1862

名は鴨。写実的な花鳥画を得意とする長崎派の画人。姫路では「琴陵さん」と親しまれている。もと南部藩士で、江戸で人を殺してしまい、長崎へ逃げて、そこで絵を学んだと伝える。姫路藩家老で文雅を好んだ高須隼人（書山）の招きで姫路へ来たという。

姫路城の西にある薬師山を、別名「琴丘（琴岡）」という。彼の号はこれをとったもので、船場本徳寺の接客として、このあたりに住んだと想像される。作品に「生与仏同日琴陵」の印を捺すものがあり、誕生日は4月8日であつたらしい。

【赤穂】千葉龍卜 Chiba Ryūboku ?~1800/08

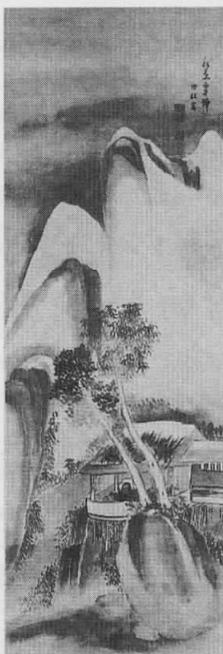
龍卜の本業は生け花・源氏流の家元である。有年の明源寺に生まれ、僧名は了雅。文化5年（1808）に没したと『赤穂市史』に書かれている。京大阪で生け花の修行をし、宝暦7年（1757）銀閣寺で義政の遺像に供花したという。5年後には江戸に下り、精力的な花会興行と出版活動を展開して、またたくまに田沼時代の籠児となった。のちには盆石にも手をひろげたらしい。長崎派ふうの絵も巧みであった。

寛政の改革で、その活動にも翳りがさし、伝承では明源寺に帰ったという。『源氏活花図式』は龍卜が寛政12年（1800）に死去したと記し、明源寺の忌日記録とはくいちがう。

【赤穂】長安義信 Nagayasu Yoshinobu 1788~1868

この人の名は、赤穂では龍卜とは比較にならぬほど有名だ。号の「周得さん」で親しまれている。遺品も西播地方から岡山にかけて、豊富に残されている。

大阪で土佐派の画人・佐野龍雲（土佐光貞の弟子）について、絵を学んだ。文政10年（1827）法橋となり、赤穂に戻って、花岳寺の門前に住んだ。諸派折衷体とも呼ぶべきその技術は、かなり高度なものがある。また、たいへん近代的な絵画感覚を持っていた人だ。明治元年、81歳で没した。墓は赤穂市加里屋の随陽寺にある。



黒田泊庵筆 紅葉雪瑞図



岡田東虎筆 八相涅槃図 宝栄寺蔵

(2) 南蛮紅毛美術企画展示

旧南蛮美術館、および本館収集の資料を中心に、テーマを設定した企画展示を行う。

展覧会名	会期	内容
南蛮美術名品展	9月26日(土)～11月8日(日)	教科書などでよく知られたザヴィエル像・南蛮屏風をはじめ、近年公開の機会が少なかった、都の南蛮寺図・花下群舞図などの南蛮風俗画を含め、南蛮美術の名品を展示した。
エキゾチックEDOアート	11月21日(土)～ 1月15日(金・祝)	所蔵品の中から江戸時代の洋風画を南蛮美術館室に、江戸時代の異国趣味の陶磁器・ガラス器を特別展示室2に展示。江戸時代の西洋趣味を概観した。



ポスター

南蛮美術名品展 出品目録

※は個人コレクション

初期洋風画

1. 聖フランシスコ・ザヴィエル像		江戸時代初期	1	面
2. 泰西王侯騎馬図 (重要文化財)		江戸時代初期	4曲1隻	
3. 四都図・世界図 (重要文化財)		江戸時代初期	8曲1双	
4. 水車のある西洋風俗図※		江戸時代初期	6曲1隻	
5. 師父二童子図・西洋二武人図	のぶかた 伝信方筆	江戸時代初期	2	面
6. 老人読書図※	伝信方筆	江戸時代初期	1	面
7. 達磨図	元禄15年(1702) 雪村道香賛	江戸時代初期	1	幅

南蛮屏風と南蛮風俗画

8. 都の南蛮寺図	かのうそうしゅう 狩野宗秀筆	桃山時代	1	面
-----------	-------------------	------	---	---

(参考出品) 洛中洛外図扇面画帖※	狩野宗秀筆	桃山時代	1帖6図
9. 南蛮屏風 (重要文化財)	狩野内膳筆	桃山時代	6曲1双
10. 南蛮屏風		江戸時代初期	6曲1双
11. 南蛮人交易図		江戸時代前期	1幅
12. 花下群舞図		桃山時代	6曲1双
13. 観能図		江戸時代初期	8曲1隻

南蛮意匠の工芸

14. 蒔絵南蛮人文鞍		慶長9年(1604)	1	背
15. 象嵌南蛮人に永楽通宝銭鐙		桃山～江戸時代初期	1	対
16. 蒔絵南蛮人洋犬文硯箱		桃山～江戸時代初期	1	合
17. 蒔絵南蛮人文箱		桃山～江戸時代初期	1	合
18. 蒔絵鉄砲文大鼓胴		桃山～江戸時代初期	1	個
19. 黒織部沓形茶碗		桃山時代	1	口
20. 天正かるた版木重箱		桃山～江戸時代初期	1	合
21. 蒔絵異国船曳船図煙草盆		江戸時代中期	1	点
22. 南蛮人喫煙図柄鏡		江戸時代初期	1	面
23. 南蛮人散策図柄鏡		江戸時代初期	1	面
24. 南蛮人散策図八稜鏡		江戸時代	1	面

輸出漆器

25. 貝貼り書篋筒		江戸時代初期	1	点
26. 蒔絵螺鈿鮫皮貼り住吉社図鞍袋形箱		江戸時代初期	1	合



12. 花下群舞図 (部分)



13. 観能図 (部分)

エキゾチックEDOアート

—所蔵優品選・絵画と工芸のオランダ趣味—

98年11月21日(土)～99年1月15日(金・祝)

神戸市立博物館

—開催にあたって— 神戸市立博物館エキゾチック・アート・コレクション

神戸市立博物館の美術コレクションの中心は池長^{いげなが}孟^{はしめ}氏の収集になる南蛮・紅毛美術です。そのユニークで優れたコレクションを核として、神戸市立博物館は、収蔵品を補強するべく博物館のテーマに沿って、少しずつ作品収集に努めてまいりました。そのいずれもが、17～19世紀の東西文化交流の貴重な資料となっています。

このたびの展覧会では、そうした収蔵品の中から桃山～江戸時代初期の南蛮美術を除き、江戸時代、18世紀から19世紀にかけての鎖国期に生まれた西洋の影響を受けた絵画、陶磁器、漆器、ガラス器を厳選して紹介します。日本美術におけるオランダ趣味を、絵画、工芸品の中に読みとっていただくとする試みです。江戸時代の「洋風画」の流れを概観することで、日本絵画史の複雑な美意識を読みとることができるでしょう。

これらにあわせて、ヨーロッパの東洋趣味に応じて作られ、長崎から輸出された日本製の磁器、漆器の里帰り作品を紹介、その一方で、江戸時代に逆にヨーロッパから日本にもたらされたガラス器、陶器、染織品を展示します。交流しあう珍奇な商品としての工芸の数々をご覧ください、当時の人々が感じたエキゾティシズムに触れていただければと思います。

I. 長崎の異国趣味

1 長崎図・ブロンホフ家族図	川原慶賀筆	1基2図	1818年(文政元)
2 蘭船図	石崎融思筆	1幅	1822年(文政5)
3 瀬海都城図	伝荒木如元筆	1面	江戸時代・19世紀初期
4 花籠と蝶図	若杉五十八筆	1面	江戸時代・19世紀初期
5 花鳥の阿蘭陀風景図	若杉五十八筆	1面	江戸時代・19世紀初期
6 紅毛ポンポコボン図 (覗きからくり図)	西苦楽筆	1幅	江戸時代・18世紀後期 ～19世紀初期
7 阿蘭陀人之図	長崎製	1面	江戸時代・宝暦頃
8 阿蘭陀女人	長崎製	1枚	江戸時代・18世紀後期

II. 眼鏡^{めがね}絵と浮絵^{うきえ}

9 京洛・中国風景図巻	伝円山応挙筆	1巻4図	1759年(宝暦9)頃
10 三十三間堂通し矢図	伝円山応挙画	1枚	宝暦頃～1795年(寛政7)
11 円山座敷図	伝円山応挙画	1枚	宝暦頃～1795年(寛政7)
12 鎮江樹林	伝円山応挙筆	1面	宝暦頃～1795年(寛政7)
13 青艸湖	伝円山応挙画	1枚	宝暦頃～1795年(寛政7)

14	反射式のぞき眼鏡 ・イギリス製銅版眼鏡絵付き	ヨーロッパ製	1点	18世紀中期 江戸時代に舶載
15	豊春・政美浮絵付き のぞきからくり	歌川豊春 ・北尾政美画	1式	江戸時代 安永～天明ごろ
16	芝居狂言舞台顔見世大浮絵	奥村政信画	1幅	江戸時代・延享頃
17	品川妓楼図		1幅	江戸時代・18世紀後期
18	仮名手本忠臣蔵七段目謀酔の段	鳥居清忠画	1幅	江戸時代・18世紀後期
19	浮絵阿蘭陀雪見之図	歌川豊春画	1枚	江戸時代・18世紀後期
20	浮絵紅毛フランカイノ 湊万里鐘響図	歌川豊春画	1枚	江戸時代・18世紀後期
21	浮絵アルマニヤ珍薬物集之図	歌川豊春画	1枚	江戸時代・18世紀後期
22	アンボイナ奇品室	G.E.ルンフィウス	1冊	1705年
23	新板阿蘭陀浮画 阨日多国尖形高台	歌川国長画	1枚	江戸時代・19世紀初期
24	新板阿蘭陀浮画 亜細亜洲第索禄王瑩墓	歌川国長画	1枚	江戸時代・19世紀初期
25	新板阿蘭陀浮画 楽徳海嶋銅人巨像	歌川国長画	1枚	江戸時代・19世紀初期
26	羅得島湊紅毛船入津之図	歌川国虎画	1枚	江戸時代・天保頃

Ⅲ. 江戸洋風画

27	西洋婦人図	平賀源内筆	1面	江戸時代・18世紀後期
28	蓮図	小田野直武筆	1幅	江戸時代・18世紀後期
29	燕子花にハサミ図	佐竹曙山筆	1幅	江戸時代・18世紀後期
30	異国風景人物図	司馬江漢筆	2幅	江戸時代・18世紀後期
31	三囲景	司馬江漢画	1面	1783年(天明3)
32	広尾親爺茶屋図	司馬江漢画	1面	1784年(天明4)
33	両国橋 TWEELANDBRUK	司馬江漢画	1面	1787年(天明7)
34	異国工場図	司馬江漢筆	1幅	江戸時代・18世紀後期
35	播州舞子浜図	司馬江漢筆	1幅	江戸時代・19世紀初期
36	今戸瓦焼図	亜欧堂田善筆	1幅	江戸時代・19世紀初期
37	ゼルマニヤ廓中之図	亜欧堂田善画	1面	1809年(文化6)
38	大日本金龍山之図	亜欧堂田善画	1面	江戸時代・19世紀初期
39	ファン・ロイエン筆花鳥図摸写	谷文晁筆	1幅	江戸時代・19世紀初期
40	ヒポクラテス像	石川大浪筆	1幅	江戸時代・19世紀初期
41	紅毛婦人図	石川大浪筆	1幅	江戸時代・19世紀初期
42	ヘイステル像	北山寒巖筆	1幅	江戸時代・1800年前後
43	ナポレオン像	安田雷洲筆	1幅	江戸時代・19世紀中期
44	紅毛人風俗図	松尾秀山筆	1双	江戸時代・19世紀中期
45	虫合戦図	春木南溟筆	1幅	江戸時代・19世紀中期

IV. オランダ趣味の工芸

陶磁器

46	色絵帆船に阿蘭陀人文蓋付碗	有田窯	5合	江戸時代・18世紀後期
47	色絵象にインド風俗図壺	有田窯	1合	江戸時代・18世紀後期
48	染付洋文字に阿蘭陀人文火入れ	有田窯	1点	江戸時代・19世紀初期
49	色絵阿蘭陀人文八角皿	有田窯	1枚	江戸時代・19世紀初期
50	染付馬に阿蘭陀人文八角鉢	有田窯	1口	江戸時代・19世紀初期
51	色絵駱駝に阿蘭陀人文鉢	有田窯	1口	江戸時代・19世紀初期
52	染付駱駝に阿蘭陀人文鉢	有田窯	3口	江戸時代・19世紀初期
53	色絵阿蘭陀人立像大皿	有田窯	1枚	江戸時代・19世紀初期
54	染付蒸気船に日本地図大皿	有田窯	1枚	江戸時代・19世紀中期
55	三彩ユーラシア ・アフリカ大陸図皿	志度窯（源内焼）	1枚	江戸時代・18世紀後期
56	三彩南北アメリカ大陸図皿	志度窯（源内焼）	1枚	江戸時代・18世紀後期
57	染付洋文字に獅子図水指	万古焼	1合	江戸時代・18世紀後期
58	染付長崎港図碗	龜山焼	1口	江戸時代・19世紀初期
59	鉄絵阿蘭陀風俗図皿	イギリス製 ・尾形周平絵付	8枚	江戸時代・19世紀初期
60	染付花卉文角形向付	「乾山」刻印銘	6口	江戸時代・17～18世紀
61	染付西洋風景図大皿	京焼系	1枚	江戸時代・19世紀中期
62	染付西洋風景図刀掛	京焼系	1点	江戸時代・19世紀中期

びいどろと和製ギヤマン

63	グラヴェールV.O.C. マーク入り吊り行灯	長崎製	1点	江戸時代・18世紀後期
64	型吹き唐草文ガラス蓋物	長崎製	1合	江戸時代・18世紀後期
65	型吹き黄色唐草文ガラス向付	長崎製	5口	江戸時代・18世紀後期
66	紫色彩絵花卉文瓢形ガラス徳利		1点	江戸時代・18世紀後期 ～19世紀初期
67	つる朝顔形ガラス盃	長崎製	1点	江戸時代・18世紀後期
68	型吹き八重菊文蓋付きガラス碗		3合	江戸時代・18世紀後期
69	びいどろ瓶細工	長崎製	2本	1821年（文政4）
70	ガラス張り八角三重食籠		1点	江戸末期～明治前期
71	切子格子文丸形ガラス三段重		1点	江戸末期～明治前期
72	切子藍被せ栓付ガラス瓶	薩摩系	2点	江戸末期～明治前期
73	切子銅紅被せガラス鉢	薩摩系	1口	江戸末期～明治前期

V. 日本に輸入されたヨーロッパの工芸品

陶磁器

74	染付楼閣山水文大皿	オランダ マーストリヒト窯	1枚	19世紀中期
----	-----------	------------------	----	--------

75 色絵挿花文深皿 オランダ 2枚 19世紀中期
マーストリヒト窯

76 染付東洋風景図手付容器 オランダ 1点 19世紀後期
マーストリヒト窯

ガラス (きやまん)

77 グラヴェール西洋紋章 オランダ製 1点 18世紀
文蓋付ガラス大杯

78 カットガラス台付鉢 イギリス製 1点 19世紀初期

79 金彩花卉文栓付ガラス瓶 オランダ製か 1式 19世紀初期
・脚付ガラス杯揃い

80 金彩紫色花卉文栓付ガラス瓶 オランダ製か 2点 19世紀中期

81 カットガラス丸文長円形深皿 アイルランド製か 1枚 19世紀初期

82 カットガラス金彩蓋付鉢 イギリス製 1合 19世紀初期

染織品

83 花卉文様更紗・緞織縫合半襦袢 ヨーロッパ更紗(19世紀) 1領 仕立：明治時代
・緞織(江戸時代)

84 亀甲に六稜星文縫合更紗下着 ヨーロッパ更紗 1領 仕立：明治時代
(19世紀)

85 白地小花文様更紗下着 ヨーロッパ更紗 1領 仕立：明治時代
(19世紀)

VI. 日本からヨーロッパへ輸出された工芸品

磁器

86 染付芙蓉手牡丹文大皿 有田窯 1枚 江戸時代・17世紀末
～18世紀初期

87 色絵芙蓉手V.O.C. 有田窯 1枚 江戸時代・17世紀末
マーク入り大皿 ～18世紀初期

88 染付婦女逍遥文皿 有田窯 1枚 江戸時代・18世紀初期

89 色絵布袋乳瓶 有田窯 1点 江戸時代・17世紀末
～18世紀初期

漆器

90 蒔絵楼閣山水文筆筒 京都製 1点 江戸時代・17世紀後期

91 蒔絵ドガースバンク海戦図飾り板 長崎製 1枚 1792年(寛政4)

92 蒔絵カディス海戦図飾り板 長崎製 1枚 1792年(寛政4)

93 蒔絵フリーメイソン文箱 長崎製 1点 江戸時代・19世紀後期

94 青貝細工フリーメイソン文箱 長崎製 1点 江戸時代・19世紀後期

95 青貝細工花鳥図筆筒 長崎製 1点 江戸時代・19世紀後期

(3) 古地図企画展示

本館の古地図資料の中心をなす南波コレクション・秋岡コレクションに加え、本館収集の古地図をもとに、テーマを設定した企画展示を行う。

展覧会名	会期	内容
古地図と絵解き展	7月11日(土)～8月30日(日)	夏休み子供向け企画の古地図展として開催。古地図の上に描かれた人物や動植物・船などに込められた意味を解説したり、女ばかり住むという伝説の島「羅利国」などを解説。
日本地図名品展	11月21日(土)～ 1月15日(金・祝)	南波松太郎・秋岡武次郎両コレクションの中から、日本地図の名品を展示。いわゆる「行基図」から伊能忠敬の日本地図までの歩みを、選りすぐりの逸品でたどった。

古地図企画展「古地図と絵解き展」 出品目録

<未知の土地、伝説の島>

① 幻のジパング島

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. M.ベハイム地球儀(複製) | 原品1492年 |
| 2. シルバヌス編プロトマイオス地図帳 | 1511年 |
| 3. 南北アメリカ大陸図 | 1550年頃 |

② 羅利の国

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 4. 行基菩薩説大日本国図 | 江戸時代初期(17世紀前半) |
| 5. 大日本国地震之図 | 江戸時代初期(17世紀前半) |
| 6. 本朝図鑑綱目 | 貞享4年(1687) |
| 7. 伊万里焼円形日本地図大皿 | 江戸時代後期(19世紀前半) |
| 8. 伊万里焼四角日本地図皿 | 江戸時代後期(19世紀前半) |
| 9. 扶桑国之図 | 寛文5年(1665) |
| 10. 日本地図印ろう | 江戸時代後期(18世紀後半) |
| 11. 世界万国日本ヨリ海上里数王城人物図 | 江戸時代末期(19世紀中頃) |

③ 未知の南方大陸

- | | |
|-----------------|----------------|
| 12. オルテリウス世界図 | 1587年 |
| 13. オルテリウス太平洋図 | 1589年 |
| 14. プランシウス世界図 | 1594年 |
| 15. 万国総界図 | 貞享5年(1688) |
| 16. 源内焼世界図皿 | 江戸時代中期(18世紀中頃) |
| 17. 地球万国山海輿地全図説 | 18世紀末期 |

④ ナゾの北海道

- | | |
|--------------------|------------|
| 18. ヤンソン日本・エゾ図 | 1658年 |
| 19. フィッセル改訂ブラウアジア図 | 17世紀中頃 |
| 20. ファン・ケーレンアジア図 | 1680年頃 |
| 21. モル大アジア図 | 1710年頃 |
| 22. 蝦夷国全国 | 天明5年(1785) |

<不思議発見>

23.オルテリウス東インド諸島図	1570年
24.オルテリウススタルタリア図	1570年
25.メルカトルホンディウス日本図	1606年
26.P.カエリウス「ライオンマップ」(裏の表紙に写真)	1617年
27.飛行船入り仏教系世界図	江戸時代後期(19世紀前半)
28.無筆重宝国尽案内	江戸時代末期(19世紀中頃)

<私は誰?何?>

29.オルテリウス『世界の舞台』タイトル頁	1570年
30.ホンディウスアトラスタイトル頁	1620年
31.メルカトル版プトレマイオス世界図	1605年
32.ホンディウス世界図	1630年
33.レランド日本帝国図	1715年
34.ゾイッター日本図	1730年

<登場人物は春・夏・秋・冬、大気・水・土・火>

35.ブラウ世界図	1635年
36.ブラウ世界図	1662年
37.デ・ウイット世界図	1668年
38.デ・ウイット世界図	1680年
39.ファルク世界図	1700年
40.ゾイッターアジア図	1710年頃

日本地図名品展 出品目録

No	資料名	作者等	時代	版種	寸法 (cm)	備考
I. 行基図にみる日本の姿						
1	嘉元3年(1305)日本図		江戸時代写	手書手彩	38.5×134.4	南波コレクション 京都仁和寺に所蔵される現存最古の日本図(西日本部分欠)を江戸時代に模写したもの。
2	拾芥抄		江戸時代初期	木版	27.4×20.9	秋岡コレクション わが国で初めて印刷された日本図を挿入する百科全書。テイセラ日本図と類似。
3	テイセラ日本図	L.テイセラ	1595年	銅版手彩	47.0×55.0	ポルトガルの地図作家テイセラが作成したもの。西洋で初の単独日本図。「行基図」を基にしていると考えられるが、九州の形状は改良されている。
4	行基菩薩説大日本国図		江戸時代初期	木版	80.4×42.3	南波コレクション 東を上にした日本図で、日本周辺の伝説の島も描く。
5	鏡背日本図(北野神社蔵)	木瀬浄阿弥	1600年頃	拓本	119.5×97.8	南波コレクション 加藤清正が、京都の北野神社に奉納したと伝えられる鏡の背面に鑄出された日本図の拓本。
6	伊万里焼日本図皿		文政年製(1818-30)	有田窯	27.3×30.3	池長コレクション
7	伊万里焼円形日本図皿(鶴に方位盤)		天保年製(1830-44)	有田窯	径48.3	「行基図」をあしらった皿。文政年製の日本図皿は希少。興隆は天保年製のもの。
8	日本地図屏風(二曲一隻)		安土桃山時代	手書手彩	59.9×123.8	南波コレクション 「行基図」から一歩進んだ日本図。安土桃山時代の貴重な日本図の一例。
9	新改日本大絵図(扶桑国之図)		寛文2年(1662)	木版	59.1×88.3	南波コレクション 日本の形は「行基図」から一歩脱した形態をとる民間の刊行図。
10	日本地図印籠		江戸時代後期		8.4×8.6×2.0	日本図を装飾として用いた印籠。印籠の表と裏で日本図を描く。

No	資料名	作者等	時代	版種	寸法 (cm)	備考
II. 江戸幕府作成の日本図						
11	扶桑国都水陸地理図(六曲一隻)		江戸時代初期	手書手彩	131.4×182.4	江戸幕府が最初に作成した「慶長日本図」を模写したものとされる。北海道は描かれていない。
12	承応3年御蔵入日本図		承応3年頃(1654)	手書手彩	89.9×270.9	南波コレクション 日本の図形は(No.11)と同様に「慶長日本図」の系統。周囲には幕府に収納される国ごとの石高を記す。
13	寛文日本図		寛文頃(1661-73)	手書手彩	87.8×239.9	南波コレクション 三代将軍家光の「枕屏風日本図」を写したものとされ、諸国の石高を記す。
14	日本輿地細見図(幕府撰正保日本図写)		宝永頃(1704-11)	手書手彩	213.1×277.3	南波コレクション 「正保日本図」の写し。大和川がすでに付けかえられているので、書写年代は宝永頃と推定される。
III. 伊能忠敬が作成した日本図						
15	沿海地図	伊能忠敬	文化元年(1804)	手書手彩	215.1×254.4	南波コレクション 北海道南岸の根室から名古屋までを描いた東日本図。
16	日本輿地図藁	伊能忠敬	文化6年(1809)	手書手彩	120.5×204.0	南波コレクション 忠敬が測量の半ばに、幕府の求めに応じ作成した日本図。未測量の九州は不正確。
17	日本辺界略図	高橋景保	文化6年(1809)	銅版手彩	23.3×106.0	南波コレクション 日本列島をアジアの中に位置づけたもの。北海道の姿は忠敬と岡宮林蔵の探検成果を採り入れている。
18	伊能小図(西日本図)	伊能忠敬	文政4年(1821)	手書手彩	203.5×162.1	南波コレクション
19	伊能小図(蝦夷図)	伊能忠敬	文政4年(1821)	手書手彩	161.6×181.1	南波コレクション 伊能小図は、1/432,000の縮尺で日本を3枚1組で描くが、その内の2枚。東日本部分は欠。
20	日本国地理測量之図	伊能忠敬	江戸時代後期	手書手彩	390.0×425.0	伊能図を編集し、日本全体図としたもの。図中には忠敬の測量成果を数多く表示している。
21	大日本沿海実測録(14冊)	伊能忠敬	明治3年(1870)	木版	各28.5×18.0	
IV. 民間の手になる日本図						
22	新撰大日本図鑑		延宝6年(1678)	木版手彩	69.1×92.5	南波コレクション ヨーロッパに伝わり、ケンペル日本図のもとになったと考えられる日本図。
23	ケンペル日本図	E.ケンペル	J.G.シヨイヒツァー 1727年	銅版手彩	46.6×53.3	出島商館長村医師ケンペルが、作成したもの。ヨーロッパで数多くの類図を生む。
24	本朝図鑑綱目	石川流宣	貞享4年(1687)	木版手彩	59.9×130.8	南波コレクション 浮世絵師流宣が作成した日本図の初版。交通に関する情報が豊富。
25	日本海山潮陸図	石川流宣	元禄4年(1691)	木版手彩	97.0×168.1	南波コレクション 貞享4年図を大型詳細にしたもの。ヨーロッパにも伝来し、レランド日本帝国図を生む。 江戸時代のベストセラー地図のひとつ。
26	レランド日本帝国図	A.レランド	1715年	銅版手彩	53.5×63.5	オランダの東洋学者レランドが作成した日本図。国名を漢字で併記する。

No	資料名	作者等	時代	版種	寸法 (cm)	備考
27	改正日本輿地路程全図	長久保赤水	安永8年(1779)	木版手彩	83.2×134.3	秋岡コレクション 赤水は水戸藩の儒学者。日本図だけでなく世界図や中国図など多くの地図を作成した人物。 本図は刊行日本図として初めて経緯度が入ったもので、「流宣図」に変わって江戸時代後半に人気を博した。
28	源内焼日本図皿		江戸時代中期	志度窯	31.5×31.5	平賀源内が讃岐の志度で作らせたといわれる皿。緯度を用いて日本列島を描く。
29	日本絵図	鋏形蕙斎	江戸時代後期	木版刷彩	39.8×57.4	南波コレクション 蝦夷から朝鮮半島までを鳥瞰図の手法を用いて描いたもの。
30	日本鳥瞰図屏風(六曲一隻)		江戸時代後期	手書手彩	67.0×213.4	南波コレクション 日本列島をある一定の高さから俯瞰して描いたもの。地名表記も非常に豊富。
31	大日本名所一覽	喜齊立祥	江戸時代末期	木版刷彩	35.2×122.3	南波コレクション 二代広重が描く日本列島の鳥瞰図。
32	羽子板型日本図(顕微鏡付)	松田緑山	江戸時代末期	銅版	3.8×1.3	南波コレクション 極小銅版日本図。顕微鏡を通してそれをみる仕組み。

*備考欄の空白は博物館収集資料である。



No.27 改正日本輿地路程全図

(4) ギャラリー

展 覧 会 名	会 期	内 容
神戸ゆかりの芸術家たち展	5月26日(火)～9月24日(木)	金山平三、林重義、田村孝之介の油彩画に加え、林重義のリトグラフ、柳原義達の彫刻など、神戸ゆかりの芸術家の所蔵作品を展示した。
山下摩起展	9月26日(土)～11月19日(木)	日本画の新しい表現と精神世界を求め続けた画家・山下摩起。本展では当館の所蔵品を中心に26点をあつめ、この神戸・有馬ゆかりの画家の足跡を概観した。
神戸ゆかりの芸術家たち展	11月21日(土)～1月21日(木)	金山平三、林重義、田村孝之介、中西勝、西村功の油彩画、柳原義達の彫刻作品を展示した。
神戸の書展	1月23日(土)～3月22日(月)	上田桑鳩、宇野雪村、深山龍洞、安東聖空ら、神戸と深くかかわりながら近代の書道界をリードした人々の作品を展示した。
神戸ゆかりの芸術家たち展	3月24日(水)～6月6日(日)	田村孝之介の作品を中心に柳原義達の所蔵の彫刻をまじえ、神戸ゆかりの芸術家の作品を展示した。

山下摩起展 出品目録

1. 薔薇		紙、グワッシュ	個人蔵
2. 紅梅		紙本著色	当館蔵
3. 夜の梅		紙本墨画	当館蔵
4. 白梅		紙本淡彩	当館蔵
5. 雪竹	昭和32年(1957)	紙本墨画	当館蔵
6. 早春		紙本墨画	当館蔵
7. 蓮池		紙本著色	当館蔵
8. 葡萄		紙本墨画	当館蔵
9. 桃		紙本淡彩	当館蔵

10.	瀧		紙本墨画	当館蔵
11.	溪流	昭和36年(1961)	紙本墨画	当館蔵
12.	鯉	昭和41年(1966)	紙本墨画	当館蔵
13.	水鳥		紙本墨画	当館蔵
14.	瑞鳥		紙本淡彩	当館蔵
15.	鷺	昭和36年(1961)	紙本墨画	当館蔵
16.	金剛力士Ⅰ (四天王寺五重塔彫刻絵)	昭和36年(1961)	紙本墨画	当館蔵
17.	金剛力士Ⅱ (四天王寺五重塔彫刻絵)	昭和36年(1961)	紙本墨画	当館蔵
18.	金剛力士Ⅲ (四天王寺五重塔彫刻絵)	昭和36年(1961)	紙本墨画	当館蔵
19.	多聞天	昭和41年(1966)	紙本著色	当館蔵
20.	不動明王		紙本著色	当館蔵
21.	文殊菩薩		紙本著色	当館蔵
22.	菩薩		紙本著色	当館蔵
23.	菩薩座像	昭和36年(1961)	紙本墨画	当館蔵
24.	如来座像	昭和41年(1966)	紙本淡彩、裏箔	当館蔵
25.	芍薬	大正7年	絹本著色	個人蔵
26.	萩		紙本著色	個人蔵

※山下摩起の新出作品「芍薬」「萩」は特別展示室2で展示しております。

※この展覧会に作品をご出品いただきました所蔵者の方に厚く御礼申し上げます。

ギャラリー

神戸の書展

平成11年(1999)1月23日(土)～3月22日(月)

出品目録

1.	上田桑鳩	明月照積雪	昭和16年(1941)		額装
2.	宇野雪村	命(MYŌ)	昭和57年(1982)	毎日書道展	額装
3.	深山龍洞	昔がたり	昭和35年(1960)	一楽書芸院展	額装
4.	〃	つきの夜	昭和37年(1962)	一東書道会展	額装
5.	〃	与謝野晶子うた	昭和42年(1967)		額装
6.	〃	若山牧水のうた	昭和50年(1975)	和様書作家協会 臨書と展開展	額装
7.	〃	孤独	昭和50年(1975)	日本の書展	額装
8.	〃	芭蕉俳句二句	昭和52年(1977)	日 展	額装
9.	〃	絶筆	昭和55年(1980)	一東書道会展	2曲1隻
10.	安東聖空	波音	昭和44年(1969)	日 展	額装
11.	〃	ひとむらの	昭和49年(1974)	日 展	額装
12.	〃	深山木の	昭和50年(1975)	日 展	額装
13.	〃	さん彩の	昭和51年(1976)	日 展	額装
14.	〃	墨の香や	昭和54年(1979)	現代書道二十人展	額装
15.	〃	やうやくに	昭和55年(1980)	日本の書展	額装
16.	〃	白梅や	昭和55年(1980)	現代書道二十人展	額装

(4) デュオこうべ -アートインフォメーション-

展覧会名	会 期	内 容
中国の青銅器 - 2	4月22日(水)～5月19日(火)	平成6年度に寄贈された、故西村敦男氏の中国の青銅器コレクション(商後期～後漢)の中から、爵・占・鼎など代表的な資料11点を前年度から継続して展示した。
地図皿の世界 - 1	5月20日(水)～6月16日(火)	18世紀後半の源内焼から明治時代にいたる地図皿の歴史をたどり、様々な形態や大きさ、世界図や日本図など多様な地図皿を展示した。
地図皿の世界 - 2	6月17日(水)～7月14日(火)	
ガラスと染付 - 1	7月15日(水)～8月18日(火)	所蔵品の中から明治初期のガラスと中国・日本の染付磁器を選んで展示。涼味と洗練を工芸で概観した。
ガラスと染付 - 2	8月19日(水)～9月15日(火)	
和 鏡 - 1	9月16日(水)～10月20日(火)	平安時代以後に独自の文様の発達をとげる和鏡、桃山時代には円形鏡に柄を付けた柄鏡が出現する。このような化粧道具の1つである鏡の文様の変遷を中心に、鎌倉時代から江戸時代の和鏡15点(復元鏡を含む)を紹介した。
和 鏡 - 2	10月21日(水)～11月17日(火)	
神戸はじめ物語 - 1	11月18日(水)～12月15日(火)	開港以後、神戸に根付いた外来文化のうち、西洋料理を伝えたホテルや清涼飲料水など、“食”の‘はじめ’に関する資料を写真パネルで紹介した。
神戸はじめ物語 - 2	12月16日(水)～1月19日(火)	
吉祥のうつわ - 1	1月20日(水)～2月16日(火)	所蔵品の中から中国磁器、青銅器、日本陶磁を選び、その吉祥文様を解説を加えながら展示した。
吉祥のうつわ - 2	2月17日(水)～3月16日(火)	
大和路の瓦 - 1	3月17日(水)～ [4月14日(水)]	平成7年に故柳田義一氏が蒐集した資料が、当館に寄贈されました。その中には、中国や朝鮮半島のものを含め、約70点の古瓦の資料が含まれています。今回は、このうち大和地方から出土したとされる、飛鳥時代から鎌倉時代の瓦を15点展示した。

3 学習室・図書室

(1) 学習室

学習室は、「見る・触る・考える」という来館者の主体的な行為を導くように構成している。常設展示で十分に展示・表現できない分野を補足するための資料を準備し、自由に手で触り、動かし、その事物の感触を味わい、楽しみながら、学習するなど工夫しており、これにより、本館の基本テーマや神戸の歴史に親しみやすくしてある。次の3つのコーナーが設けられている。

見るコーナー

博物館で資料展示が困難な、動きのある祭りや生産物の工程を示すもの、また建築物や、空からの都市景観、神戸の歴史などをビデオディスクを使って映像で紹介している。

これらは、リクエスト型のテレビで解説も日本語・英語いずれでも聞けるようにしてあり、各自が自由に見たいものを数秒で検索できるようにしている。

また、立体写真は、航空写真を少しずらして写してあり、両目で見ると立体的に見ることができ、神戸全域の地形を把握することができる。写真パネルでは、昭和初期と平成2年の神戸市内15ヶ所の定点比較ができる。

触るコーナー

常設展示の原始・古代部門に展示されている縄文時代、弥生時代、古墳時代の土器の模型を配置し、自由に触り、土器の感触を直接体験できるようにしている。

また、国宝桜ヶ丘出土の6号銅鐸のレプリカ（複製）にも触れ、銅鐸の音色を楽しむことができる。壁面に描かれた縄文・弥生時代の生活想像画のパノラマは、古代人の暮らしを身近に感じてもらおうというものである。

考えるコーナー

ここ数年老朽化などの為に何かと不都合が多かった「考えるコーナー」の機器であったが、本年度12月より内装とともにコンピューター方式に一新した。地階「作業室1」に編集機を設置、1階学習室「考えるコーナー」には端末機6台を設置し、LANで接続、各端末機は独立して操作できるようになった。端末機ごとに椅子2脚を準備、操作はタッチパネルで行い、音声はスピーカーで聞ける。部屋は壁紙やカーペットを白っぽい色のものに張り替え、照明はライト数を増やすなどして、明るく清潔な感じを演出した。

コンピューターソフトは、開館以来「考えるコーナー」の為に製作してきた『5つの扉』を活用した。『5つの扉』は、当館の資料等を使って制作したVTR番組。1問が約2分程度あり、5問で1コースとしたクイズ番組である。今回はそれらの一部を再編集して、5番組制作した。

(2) 図書室

神戸に関する書籍、東西文化交流に関する書籍、考古に関する書籍、南蛮・紅毛美術に関する書籍の4分野を中心に、雑誌・辞典・豪華本・全集など本館の基本テーマに関するものを収集している。

館内の展示部門の基礎的理解を深めていきたい人、専門的に探求しようとする人達のために気安く利用できる約5400冊を揃えた開架式の図書室である。

4 普及事業

・博物館独自の事業

(1) 夏休み土器づくり教室	7.31~8.1	成形	104人
	8. 8	焼成	40人
(2) 博物館たんけん隊	7.25		108人
(3) ミュージアム講座			
10.15「有馬の縁起と絵解き」		学芸員 問屋真一	128人
11.12「幕末・明治の銅版画—知られざるマイクロアート」		学芸員 塚原 晃	106人
12.17「絵図から地図へ—江戸時代の地図のあゆみ」		学芸員 小野田一幸	113人
1.18「神戸発のメディア—小磯良平の表紙絵と挿絵」		小磯記念美術館学芸員 金井紀子	107人
2.18「唐代の政治と文化—則天武后誕生までを中心に」		学芸員 国木田明子	99人
3. 4「中世の住宅—箱木千年家の発掘調査から」		学芸員 中村善則	103人
(4) 学校団体オリエンテーション			

幼稚園	1園	40人
小学校	64校	4,882人
中学校	43校	2,964人
高校	34校	3,263人
大学	13校	547人
専門学校	5校	238人
盲養護学校	3校	38人
(計)	163校	11,972人)

・共催事業

(1) 歴史たんけん隊	7.29/8. 6		144人
(2) シタール演奏会	10. 3		65人
(3) 邦楽サロン	12. 5	須磨琴	160人
	12. 6	地 歌	100人
	12.12	清 元	41人
	12.19	大和楽	143人
	12.26	長 唄	93人
	1.16	常盤津	52人
	1.24	新 内	106人

・午後のシャンソン

	3. 7	鈴木潔子	198人
	3.14	あべひろこ	161人
	3.21	森 潔	123人
	3.22	川崎照代	156人
	3.27	荒尾一夫	208人
	3.28	のりお朋子	161人

・映画祭

	10.15		496人
	10.17		477人
	10.18		120人
	10.19		151人

・その他

	1.21		30人
--	------	--	-----

合計 16,065人

・平成10年度事業一覧

	常設展示室1～5	特別展示室1	南 蛮 美 術 館	特別展示室2	ギャラリ－	普 及 事 業	
4月	日本と外国との文化交流のようすを神戸に焦点をあてながら展示	〈特別展〉大英科学博物館展 3/21(土)～5/17(日) 51日間 76,252人					
5月							
6月		〈特別展〉MOA美術館名品展 5/30(土)～6/28(日) 26日間 38,807人				神戸ゆかりの 芸術家たち展	
7月		〈企画展〉 神戸・淡路・鳴門 近世の画家たち	〈特別展〉 夏休み子ども博物館 －コメはじめ物語－	〈古地図企画展〉 古地図と絵解き展	5/26(火)～ 9/24(木)		博物館たんけん隊 (7/25)
8月		7/11(土)～8/30(日) 44日間 9,503人					歴史たんけん隊 (7/29, 8/6)
9月		燻蒸					夏休み 土器づくり教室 (7/31・8/1 ・8)
10月		〈南蛮企画展〉 南蛮美術名品展	〈特別展〉有馬の名宝 －蘇生と遊興の文化－		山下摩起展	ミュージアム講座 (10/15, 11/12, 12/17, 1/28, 2/18, 3/4)	
11月		9/26(土)～11/8(日) 38日間 10,986人			9/26(土)～ 11/19(木)		
12月		〈古地図企画展〉 日本地図名品展	〈南蛮企画展〉 エキゾチックEDOアート －絵画と工芸の名品－		神戸ゆかりの 芸術家たち展		
1月		11/21(土)～1/15(金)			11/21(土)～ 1/21(木)		
2月		〈特別展〉宮廷の栄華 唐の女帝・則天武后とその時代展 1/23(土)～3/22(月・祝) 51日間 81,905人				神戸の書展 1/23(土)～ 3/22(日)	
3月							

特別展開催日数 201日、開館日数 290日

・刊行物

平成10年度の刊行物

特別展図録	有馬の名宝－蘇生と遊興の文化－	2,000円
特別展図録	夏休み子ども博物館ガイドブック	非売品
企画展図録	神戸・淡路・鳴門 近世の画家たち	1,400円
図録	南蛮美術セレクション	2,000円
館蔵品目録	美術の部No.15 別車博資浮世絵コレクション I	200円
館蔵品目録	歴史の部No.15 写真・絵葉書IV	200円
研究紀要	No.15	500円
年報	No.14 平成9年度	500円
博物館だより	No.57(平成9年4月)～No.60(平成10年1月)	

刊行物一覧

研究紀要

No.	発行年度	内 容
1	58('83) 500円	ポルトガル地図学史上における日本地図の変遷ウィロウ・パターンの起源と変遷について－18世紀輸出陶磁史の一視点－ 航路図屏風考 貝貼り書筆筒
2	59('84) 600円	狩野内膳考 江戸時代初期の日本図 安田雷州筆「赤穂義士報復図」と若干の銅版画作品をめぐって
3	60('85) 品切	東播系中世須恵器生産の成立と展開－神出古窯址群を中心に－ 播磨大歳山遺跡1－縄文土器－ 新収南蛮屏風について
4	61('86) 800円	ヴィテレーウ号積載の美奢手磁器について－17世紀初頭におけるV.O.C.交易－ 南波コレクション中の刊行諸国図について 十六～十七世紀初期の摂津国兵庫津史料について－木垂井家文書の紹介－
5	62('87) 500円	一人のイギリス人の残したアルバムから－明治20年代前半の神戸外国人居留地の側面－ 渡辺鶴洲家襲蔵粉本の研究
6	63('88) 450円	市街地に消えた古墳 I－念仏山古墳－
7	元('89) 300円	播磨の古瓦－赤松啓介氏採集品より－ 渡辺鶴洲研究資料補遺
8	2('90) 300円	「石峯寺経塚」遺物の再検討 五輪塔形曳覆曼陀羅について－中世版木資料からの考察を中心に－
9	3('91) 300円	江戸時代後期における輸出漆器の資料 神戸市立博物館所蔵頭椎太刀の保存処理 透過試験による頭椎太刀の観察
10	4('92) 300円	『伊能図』に関する若干の考察 鳩谷天愚孔平伝－司馬江漢周辺の一奇人－
11	5('93) 500円	A.H.グルーム1－在日50年に及ぶ1人のイギリス人の足跡－ J. ブラウの1645/46年版世界地図について 石峯寺如法大般若経について
12	7('95) 500円	「大日本国地震之図」の資料紹介 阪神・淡路大震災による被害と復旧
13	8('96) 500円	神戸市立考古館史稿 神戸市立博物館所蔵経筒の材質について 銅鑄製経筒の保存処理 P. カエリウス1609年版世界地図をめぐって 播州村上天文書について－特別展「鎖国・長崎貿易の華」補遺－
14	9('97) 500円	外国人と土地所有権 怪鳥カズワル江戸を歩く－寛政元年度来のヒクイドリー 柳田義一氏蒐集 互経資料について
15	10('98) 500円	中国の西湖景の日本と浮絵－阿英「閑話西湖景」洋片」発展史略」をめぐって－ 貞秀＝玉蘭齋ノート－地図および地図的作品への手がかりとして－ 神戸市立博物館における学校との連携事業 初代玄々堂松本保居の銅版画

展覧会図録

開催年度	展覧会名	単価
57('82)	海のシルク・ロード 南波松太郎氏収集古地図の世界	2,000 品切
58('83)	神戸の文化財 びいろど・ぎやまん展 古地図に見る世界と日本	1,200 品切 品切
59('84)	眼鏡絵と東海道五拾三次展 はるばるとオランダ古地図展 更紗の世界展	1,200 品切 品切
60('85)	中国五千年の秘宝展－中国天津市文物展－ 桃山時代の祭礼と遊楽	品切 品切
61('86)	ニューヨーク・メトロポリタン美術館特別出品 西洋の風景 狩人の夢－オーストラリア・アボリジニの世界－	1,700 1,300
62('87)	ニューヨーク・パブリック・ライブラリー所蔵 日本絵画名作展 神戸をはじめ物語展 明治のガラス展－びいどろからガラスへ－	品切 品切 品切
63('88)	ジャワ更紗展 中世を旅する聖たち展－一遍聖人と時宗－ 卑弥呼の鏡展 アイルランド・チェスター・ビーティ・コレクション日本絵画名作展 神戸ゆかりの巨匠たち展	1,500 品切 品切 1,500 品切
元('89)	松方コレクション展 秋岡古地図コレクション名品展 小磯良平展	2,000 品切 品切
2('90)	THEびいどろ展－江戸時代のガラス・粋と美－ 隠元禅師と黄檗宗の絵画展 石峯寺展	1,900 品切 品切
3('91)	南蛮見聞録－桃山絵画にみる西洋との出会い－	品切
4('92)	銅鐸の世界－地の神への「いのり」－ 中世の摺経展	品切 400
5('93)	花と鳥たちのパラダイス－江戸時代長崎派の花鳥画－ 太山寺の名宝展	2,000 2,000
6('94)	鎖国・長崎貿易の華－ギヤマン・更紗・金唐革－ 受贈記念上川庄二郎コレクション－明治鉄道繪巻展	品切 品切
7('95)	没後30年 川西英展	300
8('96)	オルセー美術館展ガイドマップ 司馬江漢百科事展－生誕250年江戸時代のマルチタレント	品切 2,200
9('97)	日中歴史海道2000年展 日蘭交流のかけ橋展	2,000 2,000
10('98)	神戸・淡路・鳴門 近世の画家たち コメをはじめ物語・古地図と絵解き展 有馬の名宝－蘇生と遊興の文化－	1,400 非売品 2,000

図 録

発行年	図 録 名	単価
57(82)	常設展示あんない	品切
57(82)	国宝 桜ヶ丘 銅鐸・銅戈	600
57(82)	南蛮美術館図録	500
57(82)	東山魁夷・中国の旅展	品切
60(85)	館蔵名品図録	品切
63(88)	博物館総合案内	800
1(89)	松方コレクション西洋美術総目録	—
3(91)	館蔵名品図録	2,300
6(94)	古地図セレクション	2,000
8(96)	源平物語絵セレクション	2,000
10(98)	南蛮美術セレクション	2,000

年 報

No.	内 容	価格	No.	内 容	価格
1	57,58年度	700	8	2年度	500
2	59年度	500	9	3年度	500
3	60年度	700	10	4年度	500
4	61年度	600	11	5年度	500
5	62年度	800	12	6年度	500
6	63年度	品切	13	7,8年度	800
7	元年度	900	14	9年度	500

館 蔵 品 目 録

No.	発行年	地 図 の 部	価格	美 術 の 部	価格	考 古・歴 史 の 部	価格
1	59(84)	南波コレクション 世界図・日本図	200	南蛮美術	100	古鏡	100
2	60(85)	南波コレクション 分国図・地方図・郡村図	200	黄檗美術長崎派長崎版画	400	引札	300
3	61(86)	南波コレクション 諸国図・都市図	300	江戸時代諸派	200	小学校教科書	300
4	62(87)	南波コレクション 江戸図・京都図・大坂図	300	浮世絵版画 I 江戸系	500	神戸市関係絵地図	300
5	63(88)	南波コレクション 外国関係図・北海道関係図	200	浮世絵版画 II 江戸系補遺・上方系 大坂系・雑系 石版画	400	古文書 I 藻川家文書・上津上村関係 文書	400
6	1(89)	南波コレクション 道中関係図・寺社関係図・ その他	150	銅版画	300	写真・絵葉書 I	300
7	2(90)	新収外国製古地図	200	地図 文書 I 博覧会展覧会・横 浜・浪花・神戸博覧会展覧会・ 横浜・浪速・神戸資料綴・開化 雑絵・御固・外国人物図等・中 華船破損救助感謝状綴・輸出 茶商標・略蛇図書綴・図書	200	考古資料 I	200
8	3(91)	秋岡コレクション 世界図・日本図・江戸図・ 都市図・諸国図等	200	近代絵画	200	写真・絵葉書 II	200
9	4(92)	秋岡コレクション 天文暦学関係図・暦	200	文書 II 川村家文書・村上家(阿 蘭蛇宿)文書・川島家文書	200	引札 II	200
10	5(93)	秋岡コレクション 外国製地図・外国製図書	200	工芸品	200	神戸市関係絵地図 II	200
11	6(94)	秋岡コレクション 地理学関係書・測量関係書 ・漢籍(天文・地理・測量等)	200	文書 III 村上家文書・その他貿易文書	200	古文書 II 八田家文書・岡田家文書・ 木村家文書・中村関係文書 ・山路家文書・山口家文書	200
12	8(96)	秋岡コレクション 道中関係図・周辺地域図 (小笠原・漂流・航海・ 北海道)その他	200	文書 IV 林子平関係文書・絵図・ 版画・古文書・図書原稿 類・その他	200	拓本・石造品・古鏡 II	200
13	9(97)	新収蔵古地図	200	文書 V 本木家文書邦文資料・同欧 文資料(『諸雑書集』)	200	写真・絵葉書 III	200
14	10(98)			村上金次郎コレクション 楠正成および太平記関係資料	200	古文書 III 兼吉家文書	200
15	11(99)			別車博資浮世絵コレクション 江戸・東京版行の浮世絵資料	200	写真・絵葉書 IV	200

収蔵資料

1 新収蔵資料

(1) 平成10年度受贈資料

資料名	数量	寄贈者
デラカンパ家旧蔵アルバム	2冊	松尾一郎
デラカンパ氏関係写真	9枚	松尾一郎
南満州鉄道株式会社株券	4枚	松尾一郎
デラカンパ氏愛用双眼鏡	1点	松尾郁子
花卉文様更紗・緞織縫合半襦半	1領	平田治子・平田澄子
亀甲に六稜星文縫合更紗下着	1領	平田治子・平田澄子
白地小花文様更紗下着	1領	平田治子・平田澄子
福田眉仙筆「蓬萊仙峽」	1幅	三菱商事株式会社神戸支店
西田真人筆「倒壊」	1面	西田真人
西田真人筆「白い壁」	1面	西田真人
西田真人筆「明暗」	1面	西田真人
西田真人筆「風の音」	1面	西田真人
西田真人筆「虚ろな窓」	1面	西田真人
西田真人筆「瓦礫の街（小下絵）」	1枚	西田真人
西田真人筆「黒いアーケード（小下絵）」	1枚	西田真人
西田真人筆「虚ろな窓（写生）」	1枚	西田真人
島田義治氏個人アルバム	3冊	戸崎文子
荒尾親成氏旧蔵資料 （文書類・絵地図・写真・絵葉書・芝居番付等）	86件 253点	荒尾和成
古墳時代後期提瓶（舞子古墳群出土）	1点	秋田豊子
Swire Japan Kansai 資料 （International Hospital of Kobe 1961-1963, C. N. Co. Overseas 1948-1958, 他）	17冊	阿川四郎
梶田半古筆「五十年前湊川図」	1面	大仁 勇
西洋婦人図ガラス絵	1面	森 茂

(2) 平成10年度購入資料

ア. 絵画作品

河村若芝筆	拾得図	1 幅
真村蘆江筆	菊に猫図	1 幅
洞楊谷筆	虎図	1 幅
広渡湖秀筆	騰鯉図	1 幅
藤田錦江筆	菊に叭々鳥図	1 幅
藤塚式部編 宋紫石挿絵	坪碑考証	1 冊
三代黒川亀玉筆	牡丹に白頭翁図	1 幅
佚山筆	篆隸唐詩卷	1 卷
室田霞亭筆	山水図	1 枚
司馬江漢筆	播州舞子浜図	1 幅
森琴石筆	山水図	1 幅
森琴石筆	山水花卉雜画帖	1 帖 ¹² 図
円山応震筆	金魚玉図	1 幅
歌川芳員画	大物浦難風之図	3 枚続
北為画	摂州大物浦平家怨霊頭図	3 枚続
歌川国芳画	義経弓流之図	3 枚続
歌川芳虎画	加賀国安宅之関にて弁慶勸進帳読図	3 枚続
重宣画	難波の梅	3 枚続
歌川国芳画	佐藤忠信勇戦図	3 枚続
歌川芳幾画	内大臣平重盛幼君補佐之図	3 枚続
山下摩起筆	薔薇	1 面

イ. 工 芸 品

景德鎮窯	染付楼閣山水文皿	12枚
景德鎮窯	色絵菊文碗皿	12客
オランダ製	染付異国風景図皿	20枚
オランダ製	染付銅版転写小皿	40枚
イギリス製	手付コンボート	1 点
イギリス製	染付蓮花文小皿	10枚
イギリス製	色絵果実文鉢	1 点
イギリス製	茶地異国風景図皿	1 枚
フランス製	色絵フランス風俗図皿	14枚
オランダ製	異国風景図皿	6 枚
オランダ・イギリス製	皿各種	9 枚
イギリス製	青縁皿	12枚
イギリス製	青縁深皿	10枚
	緑色ガラス角瓶	1 点
	ねじり手付ガラス水注	1 点
	型吹き緑色梅形ガラス向付	6 口
	山水文ガラス絵入り漆蓋碗	5 合
ヨーロッパ製	ガラス瓶	3 本
イギリス製	カットガラス栓付瓶	1 点
	ランプ火屋・笠	2 点
	プレスガラスコップ	10点
	金彩花卉文脚付ガラス小杯	9 点
	プレスガラスコップ	3 点
	黄地形附草花文様羅紗陣羽織	1 領

ウ. 古地図資料

カエリウス	ライオンマップ	1枚
春樹堂	箱館全図	1枚
橋本玉蘭斎（貞秀）画図	横浜明細全図	1枚
S. ミュンスター	ヨーロッパ王政地図	1舗

エ. 歴史資料

	摂津国絵図之内（西北部）	1枚
	花熊村民系録	40巻
	兵庫津寺社方絵図	1舗
	神戸花香美新聞	2枚
	有馬小湯女式拾人発句	1点
	英国交際儀式 完	1冊
	A. J. ガワーの住居の庭 写真	1枚
	個人アルバム（イギリス人）	1冊
	個人アルバム（フランス人）	2冊
	従天和元酉年給地給米継目相続帳	3冊
	摂津国菟原郡深江村地籍図	1舗
	トア・ホテルのパンフレット	1枚
	摂津国菟原郡八幡村庄屋文書	26点

オ. 書籍資料

鉄道省編 吉田初三郎挿絵	鉄道旅行案内	1冊
C. アラルト	世界の諸都市と衣装	1冊
G. アダムス	星学原始之書	1冊
古家実三他	伯耆国古瓦拓集	1点

カ. 複製資料

	桜ヶ丘11号銅鐸複製	1口
	桜ヶ丘1号銅戈複製	1口
	桜ヶ丘2号銅戈複製	1口
	桜ヶ丘3号銅戈複製	1口
	桜ヶ丘4号銅戈複製	1口
石崎融思筆	唐館蘭館図絵巻	2巻

2 指定文化財等一覧

指定区分	指定年月日	指定番号	資料名称	員数	時代
国 宝	昭和45. 5. 25	考第 34号	桜ヶ丘銅鐸・銅戈群	21口	弥生時代中期
重要文化財	昭和28. 3. 31	絵第1257号	泰西王侯騎馬図	4曲1隻	江戸時代
重要文化財	昭和32. 2. 19	絵第1390号	織田信長像（古溪宗陳賛）	1 幅	桃山時代 天正11年（1583）
重要文化財	昭和43. 4. 25	絵第1625号	四都図・世界図	8曲1双	江戸時代初期
重要文化財 （附指定）	昭和45. 6. 17 （昭和56. 6. 5）	建第1771号	旧小寺家厩舎設計図他	68点	明治43（1910） ※旧小寺家厩舎の附属指定
重要文化財	平成 7. 6. 15	絵第1938号	南蛮屏風（狩野内膳筆）	6曲1双	桃山時代
重要文化財	平成 9. 6. 30	絵第1957号	相州鎌倉七里ヶ浜図 （司馬江漢筆）	2曲1隻	寛政 8 年（1796）
重要美術品	昭和 9. 9. 1		西洋二武人図・師父二童子図	2 面	江戸時代初期
重要美術品	昭和 8. 10. 31		聖フランシスコ・ザヴィエル像	1 面	江戸時代初期
重要美術品	昭和23. 4. 27		伝福岡県内経塚出土遺物	10点	平安時代 永久5年（1117）
登録文化財	平成10. 9. 2	第28-0026号	神戸市立博物館 （旧横浜正金銀行神戸支店）	1 棟	昭和11年（1935）

3 資料補修

資料名	数量	備考
昇外義筆 丸山木立	1 枚	裏打補修 額装
昇外義筆 山桜	1 枚	裏打補修 額装
昇外義筆 桜	1 枚	裏打補修 額装
昇外義筆 鮎	1 枚	裏打補修 額装
昇外義筆 小菊	1 枚	裏打補修 額装
長谷川小信錦絵（複製）	10枚	マット装
坤輿全図	8 幅の内 4 幅	本紙・表装等補修
斎藤雀亭筆 山水図・菊図	2 幅	本紙補修 表装替
昇龍図（渡辺鶴洲家襲蔵粉本）	1 枚	本紙補修 軸装
稲に雀図（渡辺鶴洲家襲蔵粉本）	1 枚	本紙補修 軸装
三陽開泰図（渡辺鶴洲家襲蔵粉本）	1 枚	本紙補修 軸装
霊桃双鶴図（渡辺鶴洲家襲蔵粉本）	1 枚	本紙補修 軸装

樹下鹿図 (渡辺鶴洲家襲蔵粉本)	1 枚	本紙補修 軸装
岩石図 (渡辺鶴洲家襲蔵粉本)	1 枚	本紙補修 軸装
三仙図 (渡辺鶴洲家襲蔵粉本)	1 枚	本紙補修 軸装
春深古棧図 (渡辺鶴洲家襲蔵粉本)	1 枚	本紙補修 軸装
人物像 (渡辺鶴洲家襲蔵粉本)	1 枚	本紙補修 軸装

4 資料の特別利用

(1) 館外貸出

貸出先	覧会名	開催期間	点数	資料名
奈良県立美術館	日本美術と鹿	10. 4.11- 5.10	4	桜ヶ丘4号銅鐸 花樹鳥獸時絵螺鈿洋櫃 桃鹿巖浪双鶴図 (広渡湖秀筆)
正筆会	正筆会70周年役員記念展	10. 5.13- 5.18	1	みなそこ (安東聖空書)
京都文化博物館	京都の江戸時代	10. 4.17- 5.17	2	京洛俯瞰図 (伝園山応挙筆) うきゑ京中一目細見図
毎日新聞社 (上野の森美術館・京都市美術館)	現代の書50年	10. 7. 8- 7.30	2	てる月の (安東聖空書) 命 (Myo) (宇野雪村書)
高知県立歴史民族博物館	からくり・夢と科学の世界	10. 7.17- 9.23	21	直視式のぞき眼鏡 (肉筆眼鏡絵3点付) 反射式のぞき眼鏡 (眼鏡絵付) のぞきからくり拡大複製反射式のぞき眼鏡複製 反射式のぞき眼鏡 (フレデリック・カズナーヴ銅版画つき) 遠眼鏡美人 (山東京伝) 風流さや絵 西洋美人ず鞘絵 阿蘭陀萬時計引札 阿蘭陀一流水からくり興業引札 自動噴水器 測量器 気砲 「気砲期」 印籠時計 神戸人形 (太鼓叩き) 神戸人形 (鯛さばき)
憲政記念館	日本議会政治の歩み	10. 4. 4- 4.23	7	合名会社鈴木商店の法被 のれん「辰」 絵葉書 (5枚)
東京都江戸東京博物館	伊能忠敬	10. 5.19- 6.21	8	沿海地図 日本輿地図藁 伊能小図 (以上伊能忠敬) 行基菩薩説大日本国図 大日本国絵図 (石川流宣) 改正日本輿地路程全図 (長久保赤水) 日本辺界略図 (高橋景保)
吹田市立博物館	北摂キリシタン文化	10. 4.29- 5.31	4	聖フランシスコ ザヴィエル像 南蛮屏風 都の南蛮寺図 (狩野宗秀筆)
日本経済新聞社 (長野県信濃美術館・山口県立萩美術館・日本橋高島屋)	北斎—東西の架け橋	10. 4.18- 7.20	20	阿蘭陀画鏡江戸八景 (9枚) 新板浮絵忠臣蔵 (11枚) (以上葛飾北斎画)
文化庁 (ワシントン・ナショナル・ギャラリー)	江戸	10.11.15-11. 2.15	2	朝鮮通信使来朝図 (羽川藤永筆) 相州鎌倉七里浜図 (司馬江漢筆)

貸出先	覧会名	開催期間	点数	資料名
須賀川市立博物館	江戸の和蘭人 亜欧堂田善	10. 4.25- 5.24	13	江戸名所図 コロンブス謁見図 今戸瓦焼図 (以上亜欧堂田善画・筆)
一東書道会	郷土の書家 深山龍洞	10. 5.17- 6. 9	30	万葉長歌 高千穂 酒をほむる歌 梅 あはぢがた いろはうた 比庵のうた しら雪 万葉長歌並びに反歌 松蟬 李白の歌 そら 定家の歌 良寛の歌 昔がたり 歌一首 よしの 万葉長歌 猫の子 古今和歌集卷十七 朝忠集抄 和泉式部集第二抄 清正集抄 たのしみ帖 高光集抄草稿第二作品 (以上深山龍洞書)
神戸海洋博物館	常設展示	10. 4. 1- 3.31	1	平清盛像 (西村公朝作)
日本具象彫刻10人展実行委員会 (北海道立旭川美術館・三重県立美術館・郡山市立美術館・愛媛県立美術館)	日本の具象彫刻10人展	10. 5.16-11. 3.21	1	高瀬さんの首 (柳義達原作)
福山市立福山城博物館	阿蘭陀伊万里とびいどろきやまん展	10. 4. 4- 5.10	288	型吹き唐草文ガラス蓋物 型吹き黄色唐草文ガラス向付 紫色彩絵花卉文瓢形ガラス徳利 つる朝顔形ガラス盃 型吹き八重菊文蓋付きガラス碗 型吹き渦巻文ガラス深皿 型吹き青緑色ガラス鉢 藍色ねじり脚付きガラス杯 グラヴェール花卉文ガラス絵望遠鏡 (赤) グラヴェール花卉文ガラス絵望遠鏡 (緑) グラヴェール阿蘭陀船文ガラス入り鼈甲櫛 ガラス張り八角三重食籠 切子格子文ガラス蓋物 切子格子文丸形ガラス三段重 切子格子文角形ガラス三段重 切子格子文脚付ガラス杯 切子格子文紡錘形台付ガラス杯 切子藍被せ栓付ガラス瓶 切子銅紅被せガラス鉢 切子藍被せガラス蓋付小壺 南シナ海引き揚げ磁器一括 (M. ハッチャー・コレクション) 色絵呉須手魚文天下一銘大皿 色絵呉須手鳳凰文大皿 色絵呉須手帆船に魚文大皿 (以上漳州平和窯) カットガラス台付鉢 カットガラス丸文長円形深皿 カットガラス格子文蓋物 (以上アイルランド製か) 染付西洋風景図長円形大皿 染付イギリス風景図皿付蓋物 カットガラス格子文角形皿 カットガラス金彩蓋付鉢 カットガラス台付鉢 カットガラス手付水差し カットガラス栓付瓶 金彩藍色ガラス碗 (以上イギリス製) 鉄絵阿蘭陀風俗図皿 鉄絵寿老人図皿 (以上イギリス製・尾形周平絵付) 染付芙蓉手樹下人物文大皿 (イラン製) 染付牡丹に宝尽し手付水注 染付藻魚文碗 染付芙蓉手水禽文皿 褐釉手付水注 ビューター皿 (以上ヴィテ・レーウ号積載) 彩絵阿蘭陀人文緑色ガラス角瓶 緑色ガラス角瓶 グラヴェール西洋紋章文蓋付ガラス大杯 金彩 カットガラス皿 (以上オランダ製) 金彩花卉文栓付ガラス瓶・脚付ガラス杯揃い 金彩栓付ガラス瓶 金彩紫色花卉文栓付ガラス瓶 (以上オランダ製か) 染付山水文小碗 (コーリィ窯) 染付芙蓉手挿花文皿 オランダ・染付皿各種 オランダ・色絵皿各種 (以上デルフト窯) 白磁長大皿 (フランス

			<p>製) アムステルダム市章髹德利(ベルギー製か) 色絵挿花文深皿 染付楼閣山水文大皿 染付西洋人物 図盃 染付西洋人物図德利(以上マーストリヒト窯) 染付帆船図皿(伊賀焼) 色絵阿蘭陀人文火入れ (奥田頼川) ガラス燭台(欧米製) 染付花卉に鯉文 盃洗(「乾斎」銘) 染付花卉文角形向付(「乾山」刻 印銘) 色絵阿蘭陀写し火入れ(「乾山」銘) 染付唐 草文茶入(「乾亭」銘) 染付長崎港図碗 染付洋文字 文鉢(以上亀山焼) 染付蘭字文江戸町皿(亀山焼か) 染付阿蘭陀人文風鎮 染付花鳥文四方向付 染付阿 蘭陀人文八角火入れ 染付に紫釉青海波文水注 染付 西洋風景に騎馬人物文皿 染付西洋風景図大皿 染付 花卉に洋文字文盃 染付花卉文盃台 染付西洋風景図 盃洗 染付西洋風景図刀掛 色絵西洋風景図二段重 染付西洋風景図皿(以上京焼系) 染付兔文稜花形皿 染付荒磯文鮑形向付 染付琵琶形向付 色絵蓮鷺文 六角皿 色絵山水文乳瓶 染付芙蓉手宝尽し文乳瓶 染付芙蓉手挿花文大皿 染付芙蓉手王義之看鷺図皿 逍遥文皿 色絵婦女逍遥文皿 染付オランダ風景図皿 (以上景德鎮窯) 三彩ユーラシア・アフリカ大陸図皿 三彩南北アメリカ大陸図皿(以上源内焼) 色絵玉 葉集形菓子器(古清水) 染付芙蓉手挿花文皿(三田 窯) 髹德利(讃窯道八) 染付洋文字に獅子図水指 (沼波弄山) 染付花卉文焜炉(仁阿弥道八) 色絵う んすんかるた香合(仁清印) 西洋婦人文急須(青木 木米) 染付異国風景図角皿(超入銘) 色絵龍鳳凰 文深皿 色絵挿花文髹皿 色絵牡丹文乳瓶 染付鳳凰 文乳瓶 色絵布袋乳瓶 染付芙蓉手牡丹文大皿 染付 芙蓉手花鳥文大皿 色絵芙蓉手挿花文皿 染付芙蓉手 V.O.C.マーク入り大皿 色絵芙蓉手V.O.C.マーク入 り大皿 染付婦女逍遥文皿 色絵婦女逍遥文皿 染付 オランダ風景図皿 色絵鍋島萩文向付 色絵杉文脚付 菊形皿 色絵帆船に阿蘭陀人文蓋付碗 色絵象にイン ド風俗図壺 染付洋文字に阿蘭陀人文火入れ 染付洋 文字に阿蘭陀人文鉢 色絵阿蘭陀人文蓋付碗 色絵阿 蘭陀人文八角皿 染付阿蘭陀人文瓶 染付龍に阿蘭陀 人文十角向付 染付阿蘭陀人に唐人文八角鉢 染付阿 蘭陀人文八角向付 染付阿蘭陀人文八角鉢 染付阿蘭 陀人文八角向付 色絵阿蘭陀人文六角向付 染付松に 阿蘭陀人文蓋付碗 染付遠眼鏡に阿蘭陀人文皿 染付 馬に阿蘭陀人文八角鉢 染付帆船に阿蘭陀人文鉢 染 付唐人に阿蘭陀人文皿 染付象に阿蘭陀人文鉢 染付 駱駝に阿蘭陀人文鉢 色絵駱駝に阿蘭陀人文鉢 色絵 阿蘭陀人立像大皿 色絵帆船に阿蘭陀人文風鎮 染付 蒸気船に日本地図大皿 染付出島風景図角形皿(以上 有田窯) 染付遠眼鏡に阿蘭陀人文皿(有田窯系)</p>
<p>名古屋市博物館・サン トリー美術館・東武美 術館</p>	<p>日本の心 富士の美</p>	<p>10. 7.11-11. 1.17</p>	<p>7 日本鳥瞰図屏風 横浜開港見分図(真虎筆) 夏富士 図(宋紫石筆) 東海道名所一覽(葛飾北斎画) 三 国第一山の図(歌川貞秀画) 駿州柏原富士図(司馬 江漢筆) 富士詣独案内(歌川貞秀画)</p>

貸出先	覧会名	開催期間	点数	資料名
国際交流基金（神奈川県立美術館）	モボ・モガ展1910-35	10. 5.17- 8.30	1	街（川西英画）
MOA美術館	近世日本の美—東西交流の精華—	10. 5.15- 6.17	143	泰西王侯騎馬図 四都図・世界図 西洋二武人図 師父二童子図 達磨図 老師父像 万国人物図 南蛮人交易図 南蛮人蒔絵鞍 南蛮人図蒔絵文箱 鉄砲蒔絵大鼓胴 天正かるた版木重箱 黒織部沓形茶碗 象嵌十字紋俵型鉢 長崎唐蘭館図（伝渡辺秀石筆） 長崎唐蘭館図巻（高川文筌筆） 紅毛人図（松井元仲筆） 阿蘭陀人の図阿蘭陀女人 HOLLANDER HOLLANDER HOLLAN 文化十酉年六月廿八日入津 阿蘭陀船持渡牝象乙匹 KAMEEL・阿蘭陀人持渡駱駝 Kaswaars・駄鳥 阿蘭陀婦人の図 阿蘭陀船入津ノ図 唐美人・紅毛人狩獵図（伝小田野直武筆） 円窓牡丹図（佐竹義躬筆） 紅毛童子図（田代忠国筆） 西洋婦人図（平賀源内筆） 異国風景人物図（司馬江漢筆） 異国工場図（司馬江漢筆） 芥子に洋犬図（薰九如筆） ファン・ロイエン筆花鳥図模写（谷文晁筆） 西洋風俗図（松尾秀山筆） オランダ人形図（吉田元陳筆） 新板阿蘭陀浮画 楽徳海嶋銅人巨像（歌川国長画） 羅得島港紅毛入津之図（歌川国虎画） 朝比奈島遊び（橋本貞秀画） 染付牡丹に宝尽し文手付水注（中国景德鎮窯） 染付芙蓉手牡丹文大皿（有田窯） 染付婦女逍遥文皿（景德鎮窯） 色絵婦女逍遥文皿（有田窯） 染付芙蓉手V.O.C.マーク入り大皿（有田窯） 色絵芙蓉手V.O.C.マーク入り大皿（有田窯） 染付オランダ風景図皿（景德鎮窯） 染付オランダ風景図皿（有田窯） 色絵布袋乳瓶（有田窯） 色絵龍鳳文深皿（有田窯） 貝貼書筆筒 住吉神社図蒔絵螺鈿鮫皮貼り鞍袋形洋箱 貝貼小櫃（インドあるいはスリランカ製）蒔絵カディス海戦図飾板（長崎笹屋製）蒔絵西洋人肖像プラーク（長崎製）蒔絵西洋人肖像大プラーク（長崎製）色絵象にインド風俗図壺 色絵帆船に阿蘭陀人文蓋付碗 色絵阿蘭陀人文六角向付 色絵阿蘭陀人文蓋付碗 染付洋文字に阿蘭陀人文鉢 染付洋文字に阿蘭陀人文火入 染付龍に阿蘭陀人文十角向付 染付馬に阿蘭陀人文八角鉢 染付阿蘭陀人文六角向付 染付阿蘭陀人文八角鉢 色絵駱駝に阿蘭陀人文鉢 染付阿蘭陀人文瓶 色絵阿蘭陀人文八角皿 染付西洋紋章皿 色絵阿蘭陀人文立像大皿（以上有田窯） 三彩アメリカ大陸図大皿（志度窯、源内焼） 三彩ユーラシア・アフリカ大陸図皿（志度窯、源内焼） アムステルダム市章ひげ徳利（ベルギーあるいはドイツ製）ひげ徳利（讃窯道八） 染付阿蘭陀人に西洋風景図八角火入（京焼系） 色絵阿蘭陀人文火入れ（奥田頼川作） 染付花鳥文四方向付 染付西洋風景に騎馬人物文皿 染付花卉に西洋風景図大皿 染付西洋風景図大皿 色絵異国風景図二段重 染付花卉に洋文字文鉢 染付褐釉花卉文水滴 染付西洋風景図盃洗（以上京焼系） 型吹き唐草文ガラス蓋物（長崎製） 藍色ねじり脚付ガラス杯 つる朝顔形ガラス盃（長崎製） 蒔絵ビーズ飾り煙草盆（長崎製）

貸出先	覧会名	開催期間	点数	資料名
				グラヴェール阿蘭陀船文ガラス入り鼈甲櫛（長崎製か） 切子藍被せ栓付ガラス瓶（薩摩系） 切子紅被せガラス鉢（薩摩系） 和製望遠鏡（黒） 和製望遠鏡（赤） 彩絵緑色阿蘭陀人文角形ガラス瓶 緑色ガラス角瓶（オランダ製） 色絵皿各種（オランダ デルフト窯） 色絵挿花文深皿（オランダ マーストリヒト窯） 染付楼閣山水文大皿（オランダ マーストリヒト窯） 更紗尽し掛物 緑地天使文様更紗（インド製） 白地草花縞文様更紗下着
白河市教育委員会（白 河市歴史民俗資料館）	定信と画僧白雲	10.11.1-11.30	7	磐城紀行図巻 東海道紀行図巻 鉄拐仙人図 富嶽山頂図（以上白雲筆） 木曾棧道図扇面板木 逸嘗血脈証書
島根県立八雲立つ風土 記の丘	神庭荒神谷と加茂岩倉	10. 7.18- 8.30	10	桜ヶ丘1号・3号銅鐸 同4号・5号・6号銅鐸複製 伝福岡県浮羽郡出土広形銅戈 茨木市東奈良遺跡出土銅鐸鑄型（複製） 気比1号銅鐸（複製） 韓国入室里出土朝鮮式銅鐸（複製） 韓国大田市出土朝鮮式銅鐸（複製）
和歌山市立博物館	雑賀衆と織田信長	10.10.24-11.23	1	織田信長像
伊丹市立博物館	西国街道その2 伊丹 から須磨へ	10. 7.18- 8.30	5	浪花組道中記 早引き浪花講定宿図会 浪花講定宿帳 浪花講看板 京より明石迄道中絵巻
仙台市博物館	漂流 一江戸時代の異 国情報一	10. 9.18-11. 8	43	万国絵図・人物図屏風 長崎唐蘭館図（伝渡辺秀石筆） 長崎唐館交易図巻（渡辺秀詮筆） ブロンホフ家族図（石崎融思筆） ドゥーフ像（川原慶賀筆） 長崎港図（川原慶賀筆） 唐蘭館図巻（高川文筈筆） 駝鳥・火食鳥図（清躬筆・大槻玄沢賛） オランダ人形図（吉田元陳筆） 蝦夷人物図聯（高田屋嘉兵衛奉納） 幕末風俗図巻 犀図 阿蘭陀船図説（林子平画） 魯西亜船之図 ヲロシヤ人 魯西亜船並人物之図 ヲロシヤ人の図（クルーゼンシュテルン） 魯西亜整儀写真鑑（川原慶賀画） Serhentine（司馬江漢筆） ZITenHUYS（司馬江漢筆） 明州津（伝円山応挙筆） 青艸湖（伝円山応挙筆） 新板阿蘭陀浮画・阪日多国尖形高台（歌川国長画） 新板阿蘭陀浮画・楽徳海嶋銅人巨像（歌川国長画） 二十四孝童子鑑・曾参（歌川国芳画） 二十四孝童子鑑・唐夫人（歌川国芳画） 三国妖狐図会・南天竺万国王班足太子怪力（歌川国芳画） 三国奴狐図会・華陽夫人采姫が眼を射て班兄王をなぐさむ（歌川国芳画） 和漢準源氏・乙女（歌川国芳画） 浮絵阿蘭陀国東南湊図（歌川豊春画） 浮絵阿蘭陀雪見之図（歌川豊春画）〔外国人図〕のうち魯西亜（歌川芳虎画） 万国人物尽・魯西亜婦人（歌川芳虎画） 万国名勝尽競之内・亜墨利加華盛頓府（歌川芳虎画） 中国鳥瞰図（葛飾北斎画） 紅毛男女額絵（蹄齋北馬画） 三都之内大坂疋田唐物（魚屋北溪画）
たばこと塩の博物館	航路アジアへ！	10.10.10-11.29	178	染付楼閣山水文皿 色絵花卉文手付碗皿 染付牡丹に

貸出先	覧会名	開催期間	点数	資料名
				宝尽し文手付水注（ヴィテ・レーウ号積載） 南シナ海引き揚げ磁器一括 色絵呉須手魚文天下一銘大皿 色絵龍鳳文深皿（柿衛門様式） 色絵挿花文髹皿（有田窯） 色絵山水文乳瓶（景德鎮窯） 染付芙蓉手挿花文大皿（景德鎮窯） 染付芙蓉手王義看鷲図皿（景德鎮窯） 染付芙蓉手V.O.C.マーク入り大皿（有田窯） 会社社員の行進 紙・版画 オランダ東インド会社造船所 オランダ東インド会社造船所 セイロンのスパイスコレクション 東インド会社艦載砲 V.O.C.マーク入りクレーパーイブボウル V.O.C.マーク付き船員用チェスト ヴィテ・レーウ号積載錫製皿 錫製スプーン 青銅製締金 IHD文字付き錫製スプーン 錫製リング付きナイフの木製柄 黒檀製ナイフの柄 ヴィテ・レーウ号積載の褐色髹德利 ホランダニア号積載のワインボトル ヴィテ・レーウ号積載染付芙蓉手水禽文皿 ヴィテ・レーウ号積載染付魚藻小椀 ヘルデルマルセン号積載色絵山水女手付椀（ピールジョッキ） OIC文字真鍮コンパス ラストドラヘル号積載真鍮コンパス破片 新大陸国（ミュンスター）アジア図（オルテリウス） 東アジア図（オルテリウス） 太平洋図（オルテリウス） 東インド地域図（ブラウジャワ島図（ヤンソニウス） モルッカ諸島図（ブラウ） 東インド地域図（ドンカー） アジア図（日本〜フィリピン地域） アジア図（ボルネオ〜ニューギニア） アジア図（セイロン〜スマトラ地域） アジア図（インド地域） V.O.C.マーク入りコイン類
神戸市立小磯記念美術館	没後10年 小磯良平展	10. 9.12-11. 8	1	池長孟氏肖像（小磯良平筆）
神戸市立小磯記念美術館	神戸洋画 戦後の再出発	10. 7. 2- 9. 6	11	古道具屋 斑入り椿 瀬戸内海朝陽 元町初夏 船窓 船室 露台（以上川西英画） 湯殿 海の幸（以上田村孝之介筆）
北海道立函館美術館・豊橋市美術博物館	山下りんとその時代	10. 8.15-10.18	6	台湾生蕃少猫里西長伊措及其随員等之像 馬（以上中丸精十郎画） 親愛ノ姉稚児喜ビノ図 なよたけ 児島高德駐句之図（以上岡村政子画） 家庭用イコン
三木市教育委員会（三木市文化会館展示室）	邪馬台国のころの三木周辺	10. 8.19- 8.26	1	桜ヶ丘5号銅鐸複製
和歌山県立近代美術館	意味とイメージ	10.10.17-11.23	1	勧学夜景図（前田吉彦筆）
京都文化博物館	京の絵師は百花繚乱	10.10. 2-11.10	3	双鶴図（大友月湖筆） 駱駝図（窪田雪鷹筆） 京城画苑
野洲町立歴史民俗資料館	銅鐸を造る	10.10.10-11.15	4	桜ヶ丘2号・3号銅鐸 鳥取県泊銅鐸（複製） 三田市平方遺跡出土小銅鐸鑄型（複製）
産経新聞大阪本社（日本橋高島屋・なんば高島屋）	司馬遼太郎の世界-19 世紀の青春群像	10.10.29-11. 2.16	1	高田屋嘉兵衛書状

貸出先	覧会名	開催期間	点数	資料名
神奈川県立近代美術館	玄々堂とその一派展	10. 8.29-10.11	207	江の島図 伐木図(無題)(井上九臯) 大仏三十三間堂夜矢数全景(井上九臯) 新鑄里数早見東海道五十三駅一覽図原版皿(岡田春燈齋) 東京芸子松子(亀井至一) 大阪天保山勝景図 大坂八軒家 天神橋 大坂道頓堀芝居図 大坂浮瀬大坂新清水 大坂西照庵庭景(以上橋本澄月) 天下七奇之図三種他(松田緑山・龍山) 極細銅版画貼交 東京品川洋廻漕蒸気入津之図 東京筑地保亭留館庭中之図 東京神田上水御茶水真写図 東京佃島遠望商船入津川蒸気出帆 京名所貼交帖 諸国名所貼交帖 撰津箕面山瀑布之図 東山銀閣寺(以上松田緑山) 鴨川砂持図(松田緑山か) 雑貼交帖(松田緑山・松本保居) 吳天地旋渾輪之図・重術ヲ以テ諸天之高遠ヲ量ル図 地球図略説 天竺錫蘭島靈鷲山図 花魁道中(無題) 地球図略記 京名所貼交帖(以上松本保居) 西洋国大船の図 外国船図 市街戦争図(無題) 西洋王侯図(無題) 地球万国全図 京名所 洛那智正東山 若王子御社境十二景之内万春醉花台 天竺錫蘭島靈鷲山図 樂那智正東山 若王子御社境十二景之内瀧真写 洛西島原出口柳 四条川原夕涼之図 以顕微鏡觀雪見図前・以顕微鏡觀雪花図後 京名所貼交帖(以上松本保居か) 雑貼交帖(伝松田緑山) 異国風景(伝松本保居) 羅得島之港蘭船入津図 浪速堂島米市図 浪華高津宮 浪花四ッ橋図 浪花阿蘭陀池和光寺 撰州天王寺庚申堂(以上玄心堂舎山) 常盤御前(無題)(高橋由一か) 日吉丸(無題)(高橋由一か) 初代玄々堂像(高橋由一筆) 今世西洋英傑伝(三棚惇 松田緑山) 鹿兒島戦争之図(山本芳翠) 芝中御蔭之松真景(志田松翠(大山翠 松)) 下嵯峨虚空藏法輪寺 大仏三十三間堂大矢数 都花月名所清水台下 洛東華頂山之春山門遠景之真図 三条大橋御高札場ヨリ洛東遠望之図 芝三緑山僧上寺山内風景 自芝愛宕山茶亭品川海眺望之図 自築地沖保亭留館遠望之図(以上松田龍山) 名和長重負帝登船上山図 村上義光復錦旗之図 弘安四年鑿元兵於筑海図(以上石井重賢) 重訂解体新書銅版全図 太陽真形図(無題) 月輪真形図(無題) 普門示現施無畏之図(以上中伊三郎) 虹・日ヲ背立シ水ヲ噴テ虹ノ象ヲ觀ル顕微鏡ヲ以テ雪花ヲ見ル図(中川信輔) 大日本帝国古今風俗 寸蔭漫稿(渡辺幽香) 洛陽東山名勝風景 華洛西山名所風景 登世谷山一望天橋之図 雑貼交帖(以上梅川夏北) 異国風景(無題)(松田龍山か) 觀五星図 大日本豊秋津州略全図 京名所 水辺古城図(無題・下絵) 西洋婦人図(無題・下絵) 滝図(無題・下絵) 洛東若王子写生(下絵) 西洋画写 日輪太陽真形 月輪大陰真形 日月写真図題箋(以上伝松本保居)
鈴鹿市考古博物館	鹿と古代人	10.10. 1-11. 8	3	桜ヶ丘4号銅鐸(複製) 同5号銅鐸 伝香川県出土銅鐸(複製)
さいたま川の博物館	水のデザイン	10.10.24-10.11.29	2	桜ヶ丘1号銅鐸 気比3号銅鐸(複製)

貸出先	覧会名	開催期間	点数	資料名
泉佐野市教育委員会 (歴史館いずみさの)	絵図は語る	10.10.17-10. 1. 8	1	正保和泉国絵図
城陽市教育委員会(城陽市歴史民俗資料館)	絵図が語るふるさと の 景観	10.10.24-12.13	3	源内焼四角日本地図皿 伊万里焼円形日本地図大皿 伊万里焼四角日本地図皿
名古屋城管理事務局	天の兎・地の兎	10.12.19-11. 1.17	3	白鷺追兎図(戸田忠翰筆) 雪中兎図(村上華岳筆) 兎相撲図(安達吟光)
徳島市立考古資料館	遺物が語る弥生人の顔	10.11.21-12.23	2	桜ヶ丘4号・5号銅鐸(複製)
神戸新聞社文化事業部 (そごう神戸店)	兵庫の絵画100年展	10.11. 3-10.11. 9	6	電車の通る街 古道具屋 旧栄町風景(以上川西英画) 太山寺晚秋(別車博資筆) 青い敷物の裸婦(田村 孝之介筆) レンガ塀と異人館(小松益喜筆)
長崎県教育庁文化課 (長崎県立美術博物館)	唐絵目利と同門	10.11.12-12. 6	32	石崎元章筆韃靼人騎馬図 石崎元徳筆松竹梅図・郡仙 星祭図 上杉九郎次筆釈迦三尊像・膳鯉図・鷺図 木 下文之助双鶴図 篠島元琪筆韃靼人騎馬図 渡辺秀乾 筆蓮図 渡辺秀実福濟寺板絵・象図・天台雁塘図・唐 美人図・達磨図・漁楽図・海鶴遐齡図・群仙星祭図・ 三聖図・双鶴図・黄甲伝臚図(蟹図)・老松図・独釣 図・綺杖羅漢図 渡辺秀詮筆双鯉図(以上渡辺鶴洲家 襲蔵粉本) 鳥類写生図(諸家粉本) 天神図 諸葛 孔明図(以上小原慶山筆) 倚杖羅漢図(陳賢筆)
川崎市民ミュージアム	大ザビエル展	11. 1.15- 3.14	7	四都図・世界図屏風 万国総図人物図屏風 花下群舞 図屏風 聖フランシスコ・ザヴィエル像(複製) 都 の南蛮寺図(複製)
一東書道会	深山龍洞展	11. 1. 3- 1.11	32	山家集・羈旅歌 小町集・高道集 枕草子 古今和歌 集卷十七 朝忠集抄 紫式部集抄 斎宮集抄 清正集 抄 万葉長歌 高千穂 酒をほむる歌 海恋し 万葉 海の歌二首 梅 はるのその しら雪 万葉長歌並び に反歌 松蟬 つきのさす そら 子に贈る母の歌 たのしみ帖 朧月 海 比庵のうた 古今和歌集卷八 清正集草稿 鳴戸観潮 伝教大師うた よしの 万 葉長歌 猫の子(以上深山龍洞書)
西宮市大谷記念美術館	もうひとつの美術史と 額縁	11. 2.20- 3.22	9	三都名物の内大坂疋田唐物(魚屋北溪) 紅毛油画名 所尽(歌川国貞) 江戸両国ヨリ立川ヲ見ル 芙蓉不 及美人粧(以上溪斎英泉) 西遊旅譚 隠退書画会引 札(以上司馬江漢) 地球儀を持つ西洋人物像(遠藤 田一筆) 花鳥図ガラス絵(荒木如元) さかづきを 持つ女ガラス絵
神戸市文化財課(埋蔵 文化財センター)	むかしのアクセサリー	11. 3.27- 6. 6	2	ヘソボ塚石釧(複製) 東求女塚車輪石(複製)

(2) 特別利用

1. 館外貸出

年 度	件 数	貸出先	貸出点数
3	45	52	542
4	44	58	318
5	54	71	392
6	49	55	278
7	28	36	291

年 度	件 数	貸出先	貸出点数
8	36	47	421
9	53	59	311
10	45	55	1,136

2. 特別利用

		57～62年度		63年度		元年度		2年度		
許 可 件 数		1,419 ※		443		430		448		
資 料 内 訳		件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	
	熟 覧	201	1,431	56	447	23	246	46	378	
	模 造	12	25	4	8	4	6	3	5	
	撮 影	映画テレビ	83	335	43	171	24	131	34	119
		写 真	203	1,257	64	475	52	213	40	257
	掲 載 許 可	1,169	3,136	266	779	290	606	289	746	
	原 版 使 用	751	2,729	212	705	220	587	240	853	
	紙 焼 付 与	110	536	40	138	38	121	31	92	
	そ の 他	25	78	30	140	25	86	36	90	
	合 計	2,554	9,527	715	2,863	676	1,996	719	2,540	

		3年度		4年度		5年度		6年度		
許 可 件 数		598		592		574		410		
資 料 内 訳		件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	
	熟 覧	21	262	35	295	42	277	24	232	
	模 造	7	10	5	5	4	5	2	4	
	撮 影	映画テレビ	56	198	59	237	51	229	27	148
		写 真	31	299	53	462	44	198	25	169
	掲 載 許 可	427	1,228	411	1,194	367	747	272	560	
	原 版 使 用	361	973	334	927	312	879	181	496	
	紙 焼 付 与	29	151	48	373	27	83	21	265	
	そ の 他	39	263	54	320	74	265	47	101	
	合 計	971	3,384	999	3,813	921	2,683	599	1,975	

		7年度		8年度		9年度		10年度		
許 可 件 数		366		479		486		525		
資 料 内 訳		件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	
	熟 覧	11	169	33	182	41	304	44	254	
	模 造	2	2	1	1	0	0	2	3	
	撮 影	映画テレビ	4	9	13	31	14	45	10	70
		写 真	11	109	30	155	23	110	30	229
	掲 載 許 可	314	701	368	1,040	380	987	517	921	
	原 版 使 用	195	480	229	807	276	831	288	814	
	紙 焼 付 与	8	15	9	101	12	75	17	195	
	そ の 他	21	86	56	147	52	226	42	151	
	合 計	566	1,571	739	2,464	798	2,578	950	2,637	

※の件数は昭和60年以降の合計

入館者数

1 経年

(単位：人)

区分	年度	昭和 61まで	62	63	平成 元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	開館日数													
開館日数	特別展	565	164	138	217	128	177	149	185	123	—	222	193	201
	常設展	684	125	146	69	157	108	135	180	99	64	62	87	89
	計	1,249	289	284	286	285	285	284	365	222	64	284	280	290
入館者数	特別展	391,129	106,840	93,177	278,962	104,831	155,037	165,150	619,896	85,429	—	581,931	147,368	206,298
	常設展	135,567	23,572	37,136	13,944	40,321	25,335	35,016	49,622	22,587	13,483	9,858	9,729	13,052
	普及事業	26,179	9,333	11,881	8,427	10,891	10,856	9,244	8,081	6,059	1,821	4,009	3,592	4,570
1日平均	計	552,875	139,745	142,194	301,333	156,043	191,228	209,410	677,599	114,075	15,304	595,798	160,689	223,920
	特別展	692	651	691	1,285	819	876	1,108	3,351	695	—	2,621	764	1,026
	常設展	198	188	249	202	257	235	259	276	228	211	159	112	147
	計 (普及事業 を含む)	443	484	501	1,054	548	671	737	2,394	514	239	2,098	574	772

(単位：人)

2 年齢・階層別

区分	9年度まで (特別展)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	10年度計
		26 (26)	21 (18)	25 (24)	26 (18)	26 (26)	19 (4)	27 (27)	24 (7)	23 (-)	23 (8)	24 (24)	26 (19)	26 (201)
一般	287,371	—	250	50	339	—	760	—	2,842	3,306	1,290	—	978	9,815
高大生	36,830	—	57	3	67	—	189	—	268	338	182	—	48	1,152
小中生	85,420	—	82	143	197	—	259	—	713	221	66	—	91	1,772
シルバード	6,549	—	14	2	5	—	185	—	39	26	32	—	10	313
小計	416,170	—	403	198	608	—	1,393	—	3,862	3,891	1,570	—	1,127	13,052
一般	2,237,230	19,833	32,261	32,657	2,362	4,314	887	5,096	2,091	—	6,381	28,583	35,811	170,276
高大生	222,709	2,119	3,905	857	206	462	38	389	52	—	182	902	1,039	10,151
小中生	224,297	3,578	4,260	1,953	518	1,482	115	1,538	142	—	88	877	889	15,440
シルバード	45,519	534	737	1,210	82	77	81	432	125	—	693	3,060	3,400	10,431
小計	2,729,755	26,064	41,163	36,677	3,168	6,335	1,121	7,455	2,410	—	7,344	33,422	41,139	206,298
普及事業	110,373	—	—	—	234	162	—	193	1,517	650	295	99	1,420	4,570
合計	3,256,298	26,064	41,566	36,875	4,010	6,497	2,514	7,648	7,789	4,541	9,209	33,521	43,686	223,920

入館者数/日	795	1,002	1,979	1,475	154	250	132	283	325	197	400	1,397	1,680	772
--------	-----	-------	-------	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-------	-----

3 特別展

展覧会名 会期 (日数)	大英科学博物館展 3.21～5.17		MOA美術館名品展 5.30～6.28		夏休み子ども博物館 — コメはじめ物語— 7.11～8.30		有馬の名宝 9.26～11.8		唐の女帝・則天武后 とその時代展 1.23～3.22		計 (210)	
	入館料	(51)	入館料	(26)	入館料	(44)	入館料	(38)	入館料	(51)		
一般	個人	1,200	18,172	1,000	5,684	600	3,199	800	2,633	1,100	42,469	72,157
	団体	900	3,013	750	558	450	300	600	539	900	3,127	7,537
	前売	1,000	9,440	850	17,699	500	33	700	101	1,000	2,521	29,794
	計		30,625		23,941		3,532		3,273		48,117	109,488
高大生	個人	850	1,988	700	446	400	618	550	273	800	1,792	5,117
	団体	650	3,239	550	390	300	44	400	117	600	93	3,883
	前売	750	1,348	600	54	350	3	450	8	700	226	1,639
	計		6,575		890		665		398		2,111	10,639
小中生	個人	450	2,655	300	545	250	925	300	143	400	557	4,825
	団体	300	1,250	200	555	150	33	150	400	200	28	2,266
	前売	350	1,609	250	62	200	14	200	—	300	11	1,696
	計		5,514		1,162		972		543		596	8,787
シルバード	個人	600	1,462	500	1,255	300	159	400	638	550	7,153	10,667
	計		44,176		27,248		5,328		4,852		57,977	139,581
ミュージアム・カード			1,613		1,205		600		802		2,374	6,594
無料			30,463		10,354		3,575		5,332		21,554	71,278
合計			76,252		38,807		9,503		10,986		81,905	217,453

入館者数 / 日	1,495	216	289	1,606	1,035
----------	-------	-----	-----	-------	-------

日誌

- 平成10年 4月4日 ・記念講演会「イギリスの産業革命」(角谷栄氏)
- 18日 ・記念講演会「明石海峡大橋ができるまで」(北川信氏)
- 29日 ・ゴールデンウィーク期間中19時まで開館時間延長(～5/5)
- 5月17日 ・特別展「大英科学博物館展」終了
- ・特別イベント「サイエンスショー」(毎週日曜、第2・4土祝17回実施)
- 26日 ・ギャラリー「神戸ゆかりの芸術家たち展」開催(～9/24)
- 30日 ・特別展「MOA美術館名品展」開催(～6/28)
- 6月14日 ・記念講演会「黄金と雅」(藤浦正行氏)
- 7月11日 ・夏休みこども博物館特別展「コメはじめ物語」開催(～8/30)
- ・夏休みこども博物館企画展「古地図と絵解き展」開催(～8/30)
- ・企画展「神戸・淡路・鳴門近世の画家たち」開催(～8/30)
- 17日 ・神戸まつり期間中19時まで開館時間延長(～7/20)
- 25日 ・夏休みこども博物館関連イベント(～8/8)
- ① 7/25 博物館たんけん隊(小学生3・4年生30人)
- ② 7/29・8/6 歴史たんけん隊(小学生5・6年生と中学生60人)
- ③ 7/31・8/1 土器づくり教室(小学生5・6年生と中学生60人)
- ④ 8/8 土器焼き教室(上記参加者 於:自然の家)
- 8月4日 ・博物館実習生受入〔①8/4～8/8(15人)、②8/18～8/22(16人)、9/1～9/5(15人)〕24大学46人
- 9月26日 ・特別展「有馬の名宝」開催(～11/8)
- ・企画展「南蛮美術名品展」開催(～11/8)
- ・ギャラリー「山下摩起展」開催(～11/19)
- 10月8日 ・神戸市立博物館協議会開催(10年度第1回)
- 11日 ・特別展「有馬の名宝展」関連行事
- 有馬デー有馬籠・人形筆実演と有馬太鼓・入初め式出演(2回目10/25)
- 15日 ・ミュージアム講座「有馬の縁起と絵解き」
- 17日 ・特別講演会「秀吉と有馬」(渡辺武氏)
- 11月6日 ・神戸・音楽の展覧会(ポスト・モダン、ネオ・モダン)
- ・「トライやるウィーク」受入 11日 本多聞中学生25人、垂水中学生11人
- 17日 筒井台中学生2人、長峰中学生80人
- 12日 ・ミュージアム講座「幕末・明治の銅版画」
- 15日 ・神戸100年映画祭(アニエス・ヴァルダ監督来館)(2回目11/17)
- 21日 ・企画展「エキゾチック EDOアート」開催(～1/15)
- ・企画展「日本地図名品展」開催(～1/15)
- 12月5日 ・邦楽サロン(～1/24まで計7回)
- 11日 ・「ルミナリエ」開催中19時まで開館時間延長(～12/25)
- 17日 ・ミュージアム講座「絵図から地図へ」
- 平成11年 1月21日 ・公開講演会「古代史をどう学ぶか」(門脇禎二氏)
- 23日 ・特別展「唐の女帝・則天武后とその時代展」開催(～3/22)
- ・ギャラリー「神戸の書展」開催(～3/22)
- 28日 ・ミュージアム講座「小磯良平の表紙画と挿絵」
- 2月18日 ・ミュージアム講座「唐代の政治と文化」
- 3月4日 ・ミュージアム講座「箱木千年家の発掘調査から」
- 7日 ・午後のシャンソン(3/7～3/28まで計7回)
- 12日 ・講演会「唐の歴史と文化」(～3/13)
- 12日 「唐史の世界」(一海知義氏)、「唐の女性たち」(井波律子氏)
- 13日 「唐と日本の金銀器」(菅谷文則氏)、「中国とその文明」(井上隆史氏)
- 18日 ・神戸市立博物館協議会(10年度第2回)
- 24日 ・ギャラリー「神戸ゆかりの芸術家たち展 I」開催(～6/6)

予 算

(単位 千円)

項 目	年 度	2	3	4	5	6	7	8	9	10
資 料 購 入 費		80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	0	10,000	10,000	10,000
資 料 整 理 費 等		93,407	23,087	23,087	24,317	22,456	13,369	22,221	19,712	18,303
特 別 展 等 開 催 費		85,550	81,916	110,400	295,390	108,085	23,666	168,146	112,520	89,313
普 及 事 業 費		20,925	22,596	22,635	21,486	21,041	16,916	19,203	19,280	21,722
光 熱 水 費		36,000	36,000	36,000	34,920	32,854	26,663	29,623	28,447	28,447
施 設 管 理 費 等		76,455	79,222	83,594	83,578	85,459	77,770	86,411	87,531	88,605
事 務 費 等		17,042	17,407	17,939	26,979	23,391	22,060	14,898	14,094	13,805
合 計		409,379	340,228	373,655	566,670	373,286	180,444	350,502	291,584	270,195

博物館協議会

平成10年度

会 長

高 尾 一 彦 神戸大学文学部名誉教授 (学識経験)

副会長

吉 村 元 雄 関西学院大学文学部教授 (")

委 員

岡 本 武 利 神戸市立小学校教育研究会社会科部長 (湊小学校長) (学校教育)

前 北 正 康 神戸市立中学校教育研究会社会科部長 (筒井台中学校長) (")

山 崎 由 人 神戸市立高等学校教育研究会地歴部会長 (六甲アイランド高等学校長) (")

前 田 薫 神戸青少年団体連絡協議会顧問 (社会教育)

土 井 芳 子 神戸市立婦人団体協議会名誉会長 (")

石 丸 誠 一 神戸市PTA協議会副会長 (")

嶋 田 輝 男 神戸労働者福祉協議会会長 (")

神 木 哲 男 中京大学経済学部教授 (学識経験)

田 辺 征 夫 奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部長 (")

田 端 泰 子 京都橘女子大学教授 (")

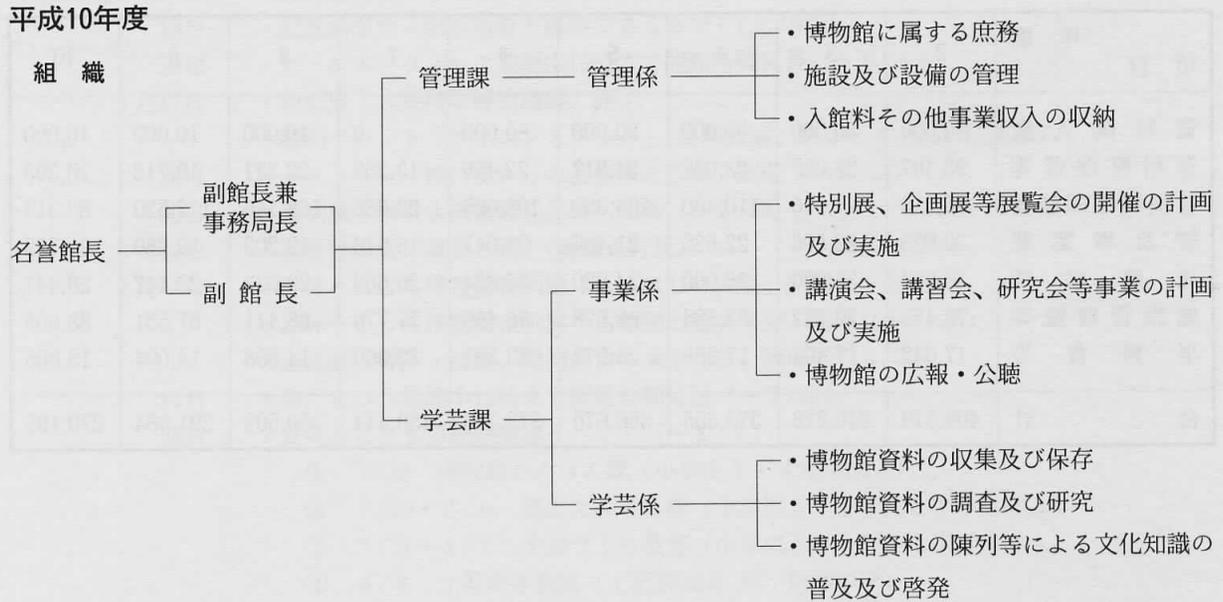
百 橋 明 穂 神戸大学文学部教授 (")

松 平 進 甲南女子大学近松研究所長 (")

森 田 恒 之 国立民族学博物館教授 (")

組織・職員

平成10年度



職員

名誉館長 宮崎辰雄
副館長兼事務局長 藤村邦夫
副館長 崎山昌廣

管理課

管理課長 岡部幸雄
管理係長 岡部管理課長事務取扱
事務職員 山中健
" 宮津時夫

学芸課

学芸課長 洲脇一郎
事業係長 角南金平

主査 岡泰正(美術)
指導主事 鋤田和見(近代美術)
" 磯辺次雄(歴史)
事務職員 前田佳世
学芸員 問屋真一(歴史)
" 国木田明子(文化人類)
" 高久智広(歴史)
学芸係長 中村善則(考古)
学芸員 田井玲子(歴史)
" 勝盛典子(")
" 三好唯義(地理)
" 成澤勝嗣(美術)
" 前田佳久(考古)
" 塚原晃(美術)
" 小野田一幸(地理)

職員の異動

10. 4. 1 中島勝彦(管理課長) 転出 10. 4. 1 岡部幸雄(管理課長) 交通局より転入
10. 4. 1 川本菊雄(管理係長) 転出 10. 4. 1 角南金平(事業係長) 東灘区役所より転入
10. 4. 1 船江国夫(事業係長) 転出 10. 4. 1 岡泰正(主査) 昇格
10. 4. 1 高久智広(学芸課) 採用

神戸市立博物館年報 No.15

—平成10年度—

発行年月日 平成12年3月31日
編集・発行 神戸市立博物館
〒650-0034 神戸市中央区京町24番地
TEL (078)391-0035
印刷 有限会社 興文社

神戸市広報印刷物登録 平成11年度第363号
(広報印刷物規格A-6類)